

アドベンチャートラベル・ワールドサミット 北海道・日本 開催の記録



アドベンチャートラベル・ワールドサミット北海道実行委員会

ATWS2023 を終えて

アドベンチャートラベル・ワールドサミット
北海道実行委員会会長

北海道知事 鈴木 直道



アジアで初めてのリアル開催となった「アドベンチャートラベル・ワールドサミット北海道・日本（ATWS2023）」を、多くの皆様から多大なる御支援と御協力を賜り、成功裏に終えることができました。

これもひとえに、パートナー企業の皆様をはじめ、大会の準備や運営にご協力をいただいた皆様、温かいおもてなしの心で迎えていただいた道民の皆様のご協力の賜物であり、心より感謝申し上げます。

ATWS 開催に当たっては、2020 年に官民連携による実行委員会を設立し、準備を進めてきました。新型コロナウイルス感染症の影響により、バーチャル開催となった「ATWS2021」が参加された方々から高く評価いただいたことで、「ATWS2023」の開催に結びつけることができました。

世界 64 の国と地域から多くの皆様にご参加いただき、体験ツアーやオープニングセレモニーなどの機会を通じて、北海道・日本の魅力を直接体験いただくことができたことを大変うれしく思っています。

また、本道がアドベンチャートラベルの有望な地域であることが国内外に発信され、商談会や海外メディアとの交流会などを通じて、参加された皆様との貴重なネットワークが構築されたことは、これからの本道観光の柱として期待しているアドベンチャートラベルの推進にとって大きな一歩となりました。

当実行委員会と ATTA は、サミット閉幕にあたって発表した「共同ステートメント」において、このたびの成果を活かし、世界において、北海道及び日本のアドベンチャートラベルの地位を確立していく決意をお示しました。

私たちは、「ATWS2023」で踏み出した歩みをさらに加速させ、北海道・日本のアドベンチャートラベルの発展に向けて取り組んでまいりますので、今後とも、ご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

目次

1. ATWS2023 開催に至るまで

(1) ATWS2023 開催の趣旨・目標	5
①ATWS2023 開催の趣旨.....	5
②ATWS2023 の目標	5
(2) ATWS 開催に至るまでの経緯	6

2. ATWS2023 開催までの準備

(1) 実施体制	8
①実行委員会の設立	8
②実行委員会における業務遂行体制—WG・統括会議	10
(2) イベント開催前の準備	11
①PSA コース選定	11
②DOA コース選定	12
③メディア・バイヤー招待者選定	13
(3) ATTA との調整	13
①ATWS2022 視察（スイス・ルガーノ）	14
②Site Visit	14

3. ATWS2023 実施概要

(1) 開催概要・スケジュール	15
①開催概要	15
②スケジュール	15
(2) 具体のプログラム	16
①アドベンチャー	16
i プレサミット・アドベンチャー（PSA）	16
ii デイ・オブ・アドベンチャー（DOA）	21
②大会本体	27
9月10日（日）	27
■到着時対応	27
■イベントチェックイン.....	28
9月11日（月）	29
■ウェルカムレセプション.....	29
9月12日（火）	30
■オープニングセッション.....	31
■プレスカンファレンス.....	32
■プレナリー・テーマ別分科会・ラウンドテーブル.....	34
■オープニングセレモニー.....	36
9月13日（水）	38

■マーケットプレイス.....	39
■プレナリー・各テーマ別分科会・ラウンドテーブル.....	40
9月14日（木）.....	41
■メディアコネクト.....	42
■プレナリー・各テーマ別分科会・ラウンドテーブル.....	42
■クロージングセッション・ハンドオフ.....	44
■クロージングカクテルアワー.....	44
③会期を通じて行った取組.....	45
i 北海道ラウンジの設置.....	45
ii 北海道・日本のアピール.....	47
■ランチ・軽食.....	47
■会場内の装飾.....	48
■ミニ講座・パフォーマンス・ミニツアー.....	49
iii 会場外における参加者歓迎の取組.....	53
■ウェルカム飲食店.....	53
④会期後に行った取組（ポストサミット・アドベンチャー）.....	54
⑤開催に際して留意した事項ーサステナビリティへの配慮.....	57
i アドベンチャー.....	57
ii 会場運営.....	57
iii 食事.....	57
iv オータムフェストにおける取組.....	58

4. ATWS2023 への評価

（1）はじめに.....	59
（2）ATTA FINAL REPORT.....	60
①主要評価・指標.....	60
②参加者の日本への印象等.....	60
③PSA 及び DOA.....	61
④北海道の持続可能性への取組.....	61
⑤食事.....	62
⑥バイヤー向けアンケートによる今後の需要予測.....	62
（3）PSA・DOA 参加者アンケート調査.....	63
①アンケート調査のねらい・実施概要.....	63
②調査内容.....	64
i PSA 参加者 アンケート設問.....	64
ii DOA 参加者 アンケート設問.....	65
③結果概要.....	66
（4）ラウンジ来訪者アンケート調査.....	67
①アンケート調査のねらい・実施概要.....	67
②調査内容.....	67

③結果概要	69
(5) ラウンジ出展者アンケート調査	71
①調査のねらい・概要	71
②出展ツアーオペレーター向け調査	71
i 調査対象（出展ツアーオペレーター）	71
ii 調査内容	71
iii 結果概要	73
③出展デスティネーション向け調査	74
i 調査対象（出展デスティネーション）	74
ii 出展デスティネーション向け調査内容	74
iii 結果概要	76

5. ATWS2023 開催に際しての取組・得た協力

(1) 地域団体の参加—地域参加メニュー	77
(2) 企業・団体からの協賛（スポンサー）・協力	81
①パートナー企業の募集	81
②快適な滞在への協力（学生ボランティア・株式会社 JTB）	86
③オープニングセレモニーへの協力（国税庁・札幌商工会議所）	86

6. 総括

(1) ATWS2023 の成果	87
①実行委員会による取組とその評価	87
②ATWS2023 を開催したことによる効果	89
(2) 今後の AT 推進に向けた取組	90
①ATWS2023 を通じて見出された課題とその対応	90
②共同ステートメント	92

7. その他資料

(1) ATWS2023 期間中の報道	94
(2) オフィシャルメディアによる発信	101
(3) 各種規程	103
(4) ロゴ	121
(5) 主要委託契約	126
(6) 関係ウェブサイト	127

1. ATWS2023 開催に至るまで

(1) ATWS2023 開催の趣旨・目標

①ATWS2023 開催の趣旨

観光は北海道の主要産業のひとつであり、その重要性はコロナ後も変わらないどころかむしろ増している。今後の北海道の観光を考える上で、「身体的活動」を通じて「自然」「文化」を体験する旅行形態であるアドベンチャートラベル（AT）は、豊かな自然や食、アイヌ文化や縄文文化をはじめとする独自の文化を有する北海道という地の魅力を活かすものであり、その振興は非常に重要である。

そこで、アドベンチャートラベル・ワールドサミット北海道実行委員会（以下「実行委員会」という。）の構成機関は、世界の AT 市場に向けて、AT デスティネーションとしての北海道の魅力を示し、さらに多くの旅行者を呼び込むべく、連携して、世界最大の AT の商談会である Adventure Travel World Summit（ATWS）の誘致に向けて取り組んできた。

誘致に成功した結果、2021 年の ATWS はアジア初の ATWS として北海道で開催される予定であったが、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、バーチャルでの開催となった（「Adventure Travel World Summit Virtual - Hokkaido, Japan」（以下「ATWS2021」という。）。ATWS2021 ではオンラインでセミナーや討論会、北海道の映像の放映に加え、商談会やメディアの交流会を行ったが、ATWS の大きな特色の一つである開催国におけるエクスカージョンの実施は叶わなかった。

しかしながら、ATWS2021 参加者からの北海道への評価・北海道訪問に向けた期待は高かったことから、ATWS2023^{*}の開催地が北海道に決定した。

^{*}英語正式名称は「ADVENTURE TRAVEL WORLD SUMMIT Hokkaido Japan」、実行委員会が定めた統一表記は「アドベンチャートラベル・ワールドサミット北海道・日本」「ATWS2023」であるところ、本報告書では「ATWS2023」を用いる。

②ATWS2023 の目標

ATWS2023 の目標は、北海道・日本の認知度を向上させ、その魅力を広く世界にアピールすること、それにより今以上に AT 旅行者を呼び込み、北海道・日本の AT を推進することであった。北海道における AT の推進は、今後の北海道観光全体の振興、ひいては日本全体の観光の発展に資すると期待される。またアジアで初めて ATWS が実地で開催されるこの機を捉え、北海道内、また日本国内における AT の認知度の向上にも取り組んだ。

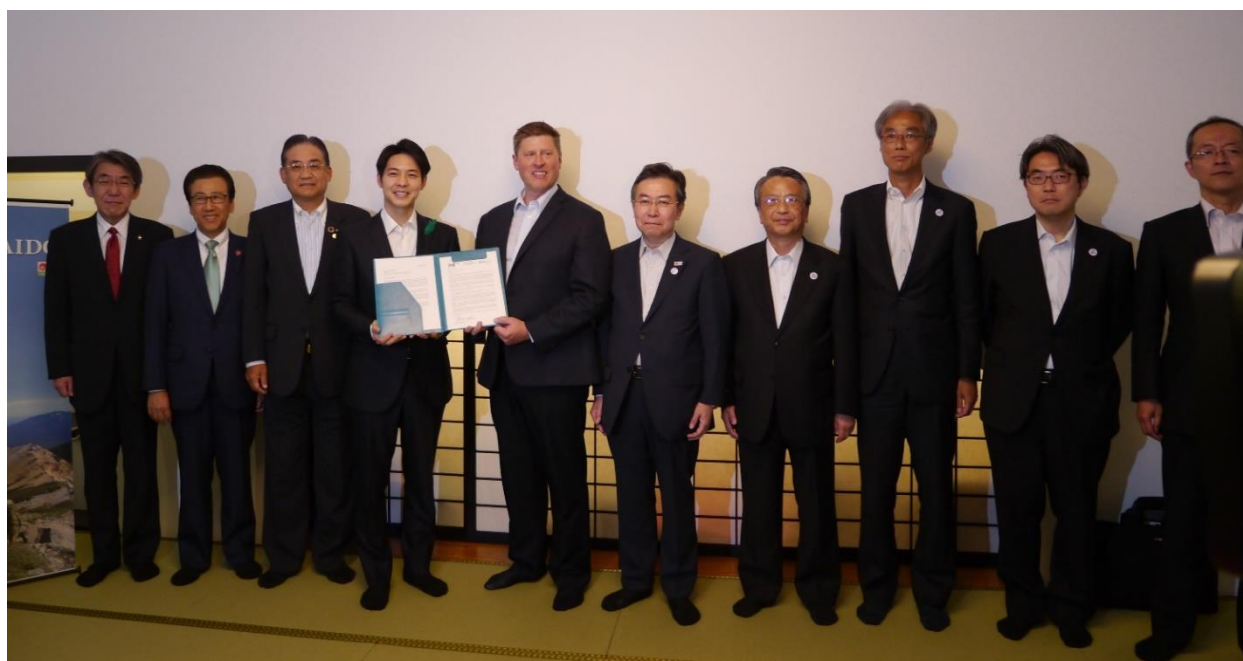
本サミットのテーマ「調和」は、北海道・日本の魅力を端的に示す語として実行委員会が推薦し、ATWS の主催団体である Adventure Travel Trade Association（ATTA）により選定されたものである。このテーマに則り、様々な要素が「調和」する北海道・日本の魅力を世界各国・各地域からの参加者にアピールするとともに、北海道・日本の関係者が「調和」の精神のもとに協力し、実行委員会が中心となって取組を進めた。

(2) ATWS 開催に至るまでの経緯

2016	9月19日～22日	ATWS アラスカ初出展 【参画実行委員会構成機関：札幌市国際観光誘致事業実行委員会（札幌市）、釧路市、北海道運輸局】
2017	9月11～17日	ATTA シャノン・ストーウェル CEO 等による日本初視察 （道東ファムトリップ） 【主催：北海道経済産業局】
	9月18日	札幌市において Adventure Connect※を開催 ※地域における機運醸成のための ATTA 公式イベント 【主催：北海道経済産業局（株）JTB 総合研究所との共同開催】
	9月27日～28日	釧路市において Adventure EDU※を開催 ※ガイド、地域を対象にした ATTA 公式教育プログラム 【主催：北海道運輸局（プライムロードひがし北・海・道実行委員会との共同開催）】
	10月16日～19日	ATWS サルタ／アルゼンチン出展 【参画実行委員会構成機関：釧路市、北海道運輸局、北海道経済産業局、北海道アドベンチャートラベル協議会（以下「HATA」という。）】
2018	9月18日	札幌市において Adventure Connect を開催 【主催：北海道運輸局、北海道経済産業局（株）JTB 総合研究所との共同開催】
	10月15日～18日	ATWS トスカナ／イタリア出展 【参画実行委員会構成機関：北海道観光振興機構、札幌市国際観光誘致事業実行委員会（札幌市）、釧路市、北海道運輸局、北海道経済産業局、HATA】
	10月29日	ATWS 北海道誘致可能性研究会 設置 【ATWS 北海道誘致可能性研究会構成機関：北海道、北海道観光振興機構、北海道運輸局、北海道経済産業局】
2019	2月7日	ATTA から Request for Proposal※が提示される ※ATWS 開催地選定に当たっての募集要項
	2月25日～3月5日	道東・札幌市周辺において Adventure Week※を開催 【主催：北海道経済産業局】 ※AT の有力なメディア・バイヤーを対象とした ATTA 公式の大型招請事業
	3月11日	アドベンチャートラベル・ワールドサミット 2021 北海道誘致準備会（以下「準備会」という。）設置 【準備会構成機関：北海道、北海道観光振興機構、札幌市、釧路市、北海道運輸局、北海道経済産業局】
	5月23日	ATTA に Request for Proposal 回答書を提出（ATWS 誘致表明） 北海道知事、北海道観光振興機構会長、札幌市長、釧路市長、北海道運輸局長、北海道経済産業局長、観光庁長官、JNTO 理事長から回答書・招請レターを手交
	9月16日～19日	ATWS ヨーテボリ／スウェーデン出展 【参画した実行委員会構成機関：北海道、北海道観光振興機構、札幌市、釧路市、北海道運輸局、北海道経済産業局、HATA、JAL、ANA】
	10月25日	ATTA シャノン・ストーウェル CEO が G20 観光大臣会合に参加。 赤羽国土交通大臣、鈴木北海道知事と会談
	10月26日～29日	ATTA シャノン・ストーウェル CEO 等による公式視察
	11月5日	ビッドペーパー（立候補提案書類）提出

2020	1月24日	ATWS2021 北海道開催の内定発表
	4月17日	アドベンチャートラベル・ワールドサミット 2021 北海道実行委員会設立（準備会は解散）
	12月4日	ATWS2021 公式発表
2021	5月6日	ATWS2021 のバーチャル開催が決定
	9月6日	実行委員会の名称を「アドベンチャートラベル・ワールドサミット北海道実行委員会」に変更
	9月20日～23日	ATWS2021 開催 ※最終日に ATWS2023 開催地に北海道が内定した旨発表された
2022	2月9日	ATWS 2023 Hokkaido/Japan 公式発表
	10月3日～6日	ATWS ルガーノ／スイス出展
	12月26日	実行委員会内にワーキンググループ（WG）と統括会議を設置
	11月8日～12日	Site Visit（ATTA からの開催地事前視察）対応
2023	4月～6月	プレサミット・アドベンチャー（PSA） 募集
	5月9日～11日	Adventure ELEVATE（ポートランド メイン州／アメリカ）出展
	6月～7月	デイ・オブ・アドベンチャー（DOA） 募集
	9月4日～10日	PSA 催行
	9月11日～14日	ATWS2023 開催（初日・9月11日は DOA 催行）
	9月15日～18日	ポストサミットアドベンチャー事業催行
	9月20日	実行委員会と ATTA との共同ステートメント発表

※実行委員会設立前の ATWS（2016～2019）出展については、現実行委員会構成団体における参画団体を参考記入した。



令和元年（2019年）5月23日 Request for Proposal 回答書を ATTA シャノン・ストーウェル CEO に提出

2. ATWS2023 開催までの準備

(1) 実施体制

① 実行委員会の設立

ATWS の開催に向け、開催地として必要な準備及び支援を行うことを目的に、北海道、公益社団法人北海道観光振興機構、北海道運輸局、北海道経済産業局、札幌市、釧路市、経済界や観光業界などの関連団体などで構成する「アドベンチャートラベル・ワールドサミット 2021 北海道実行委員会」を令和2年（2020年）4月17日に設立した。

アドベンチャートラベル・ワールドサミット 2021 北海道実行委員会には重要な事項について議論する総会及び総会に付議すべき必要な事項の協議を行う幹事会を設けた。また顧問を置き、必要に応じて様々な視点から意見や助言を受けることとした。

令和3年（2021年）9月6日に開催した令和3年度第4回総会において、名称を「アドベンチャートラベル・ワールドサミット北海道実行委員会」に変更した。

○委員

所 属	職 名	備 考
北海道	知事	会長
公益社団法人北海道観光振興機構	会長	筆頭副会長
札幌市	市長	副会長
釧路市	市長	副会長
帯広市	市長	副会長
稚内市	市長	副会長
旭川市	市長	副会長
国土交通省北海道運輸局	局長	副会長
経済産業省北海道経済産業局	局長	副会長
北海道経済連合会	会長	監事
北海道経済同友会	代表幹事	監事
一般社団法人北海道商工会議所連合会	会頭	
北海道商工会連合会	会長	
北海道アドベンチャートラベル協議会	会長	
一般社団法人北海道体験観光推進協議会	代表理事	
日本航空株式会社	執行役員 北海道支社長	
全日本空輸株式会社	札幌支店・支店長	
株式会社AIRDO	代表取締役社長	
北海道エアポート株式会社	代表取締役社長	
北海道旅客鉄道株式会社	代表取締役社長	
一般社団法人北海道バス協会	会長	

一般社団法人日本旅行業協会	北海道支部長	
一般社団法人全国旅行業協会	北海道支部長	

○顧問

所 属	職 名	備 考
観光庁	長官	
独立行政法人国際観光振興機構（J N T O）	理事長	
国土交通省北海道開発局	局長	
環境省北海道地方環境事務所	所長	
林野庁北海道森林管理局	局長	
国土交通省東京航空局	局長	

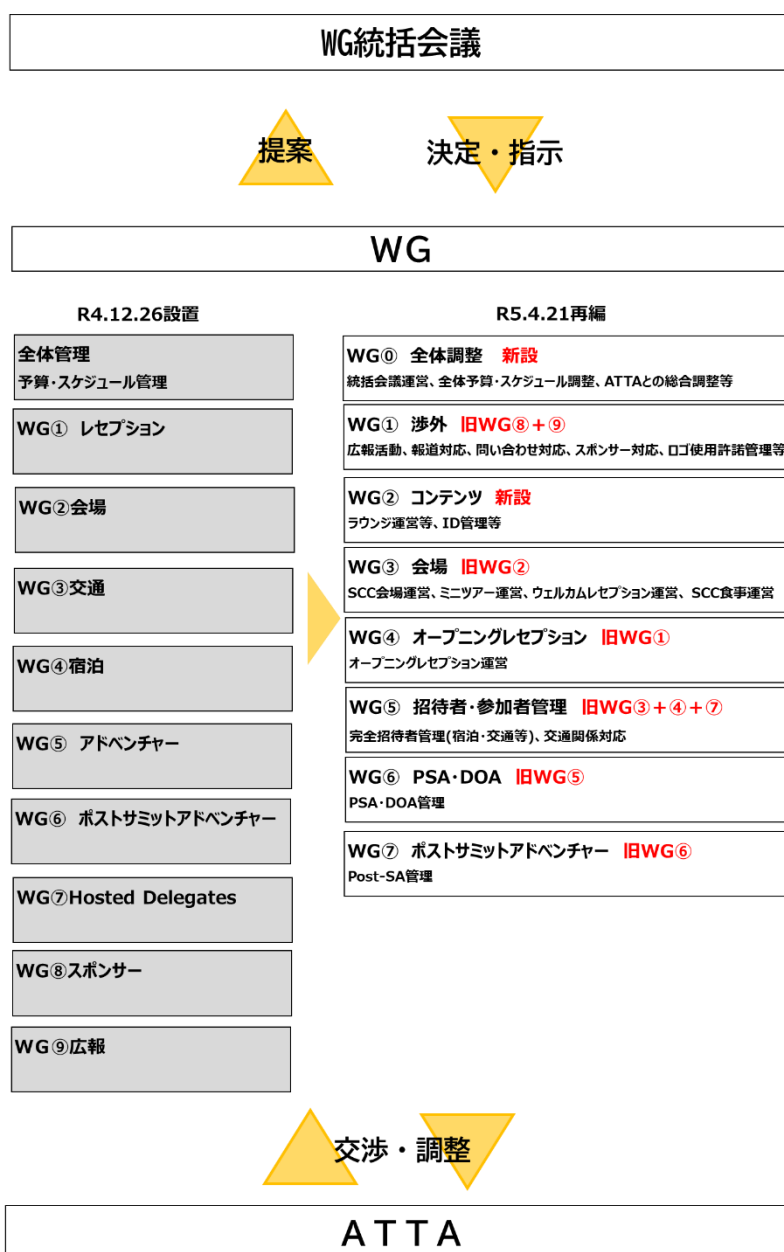
○幹事

所 属	職 名	備考
北海道	経済部観光局アドベンチャートラベル担当局長	幹事長
公益社団法人北海道観光振興機構	事務局長	
札幌市	経済観光局観光・MICE 推進部観光地域づくり担当部長	
釧路市	産業振興部観光振興担当部長	
帯広市	経済部観光交流室長	
稚内市	建設産業部長	
旭川市	観光スポーツ交流部長	
国土交通省北海道運輸局	観光部長	
経済産業省北海道経済産業局	総務企画部長	
北海道経済連合会	常務理事	
北海道経済同友会	専務理事事務局長	
一般社団法人北海道商工会議所連合会	常務理事	
北海道商工会連合会	専務理事	
北海道アドベンチャートラベル協議会	会長	
一般社団法人北海道体験観光推進協議会	専務理事	
日本航空株式会社	北海道支社事業部部長	
全日本空輸株式会社	札幌支店・支店長	
株式会社A I R D O	営業部長	
北海道エアポート株式会社	営業開発本部観光開発部部長	
北海道旅客鉄道株式会社	営業部インバウンドグループ課長	
一般社団法人北海道バス協会	常務理事	
一般社団法人日本旅行業協会	北海道事務局事務局長	
一般社団法人全国旅行業協会	北海道支部事務局長	

②実行委員会における業務遂行体制—WG・統括会議

令和4年（2022年）12月、ATWS2023開催に向けた準備を機動的かつ効果的に進めるため、業務ごとに9つのワーキンググループ（WG）とWG統括会議を設け、実行委員会事務局員（北海道、（公社）北海道観光振興機構、北海道運輸局、北海道経済産業局、札幌市等）を偏りなく配置した。その後、準備の進捗状況及び新たに増えた業務の内容を踏まえ、令和5年（2023年）4月21日にWGの再編を行った。

各WGは、所管する事業内容の検討、内外との調整、ATTAとの交渉などの実務を行い、WG統括会議では、各WGからの提案に基づく事業実施の意思決定及び各WGに対する指示を行った。また、ATTAアンバサダーである高田茂氏（鶴雅リゾート株式会社取締役 アドベンチャートラベル事業部長、（一社）日本アドベンチャーツーリズム協議会理事）をアドバイザーとして迎え、事業内容について助言を受けながら進めた。



(2) イベント開催前の準備

①PSA コース選定

プレサミット・アドベンチャー (PSA) のコース選定については、令和2年(2020年)より、当初は ATWS2021 に向けて準備を開始した。道内コースにおいては、はじめに公募で PSA 取扱ツアーオペレーター5社を選定し、PSA の募集を行った。コース選定にあたっては ATTA より示されたツアー造成基準に従い、特に「ストーリー性」「サステナブル対応」「地域との関わり」に重点をおき、AT 有識者を交えたメンバーによる審査を経て道内 15 コースを選定した。

道外コースにおいては各地域を管轄する広域連携 DM0 を窓口としてコースを募集し、道内コースと同様に ATTA の定める基準に合致する7コースを選定した。その後、最終的には ATTA による審査・承認を経て道内及び道外で全 22 コースの PSA が確定した。ATWS2021 バーチャル開催を経て一部コースの行程変更を行い、改めてリアル開催となった ATWS2023 にて PSA として催行した。

PSA コース確定までの流れ

2020	6月	公募により道内 PSA 取扱旅行会社(5社)を選定
	10月	PSA 募集(1次～3次審査)実行委員会にて道内 15 コースを選定
	12月	道外 PSA 募集(1次～2次審査)実行委員会にて道外 7 コースを選定
	12月	ATTA による PSA 22 コースの審査開始
2021	3月	ATTA により PSA 22 コースの審査承認
	9月	ATWS2021 にて PSA 22 コースを映像で紹介(Virtual Adventure)
2022	4月	道内・道外各1コースの追加募集(採択済コースより辞退が発生したため)
	6月	道内 PSA 1 コースを追加採択
	8月	道外 PSA 1 コースを追加採択
	11月	PSA 追加採択した2コースの ATTA による審査及び承認 (ATWS2023 で催行する全 PSA22 コースの確定)

PSA コース選定時の審査項目

コースにおける地域ならではのストーリー/地域理解が深まるツアー設計か/コース上における文化施設や休憩所などの配置状況/ATTA の提唱する5つの体験価値への該当/環境への負荷を最小化するための取組/地元産品の活用や地域の雇用創出など地域経済への貢献するための工夫/ツアー商品として継続的に顧客に提供する体制の構築/個客の嗜好やスキルに応じた組み立てやオプションの設定状況/地域住民との交流など双方向性のある体験・アクティビティ/当該地域でしか体験できないユニークコンテンツ/アクティビティや体験におけるチャレンジングな要素の有無/全体の行程と内容、必要な携行品や装備、事前に取得すべき個客情報等の整備/免責事項を適切に整理し、顧客に説明することができるか/応急処置に関するスキル・知識が十分にあるか/ツアー催行中に予想される事故や怪我に適切な医療品等が用意されているか/外国人の利用に対応できる豊富なサイズのギアやウェアの貸し出しの可否/悪天候時の代替案の有無/MIC 及び免責事項に関し英語の説明資料が

用意されているか/自己や災害発生時に英語で対応方法の説明や指示ができるか/英語で自然歴史、見所等を説明できるか

催行コース確定に至るまでの ATTA との主な協議項目

- ・ シンプルなツアータイトル（アクティビティと地域を明確にしたタイトルとする）
- ・ ストーリーに合致したアクティビティであることをしっかり説明する
- ・ 十分なアクティビティ情報の記載（所要時間、難易度、移動距離、ギアのサイズ など）
- ・ 食事内容の記載（具体的な食事内容、メニュー選択の有無、特別食の対応可否の記載 など）
- ・ アクティビティ強度の補完（ハイライトとなるアクティビティの強度が足りない場合等の補正）
- ・ その他、英文日程表の英語の校正（誤った文法、不適切な表現の是正 など）

②D0A コース選定

デイ・オブ・アドベンチャー（D0A）においても、PSA と同様に令和2年（2020年）よりツアー選定を開始した。公募によるツアーオペレーター選定を経てコース募集を行い、ATTA より示されたツアー造成基準に従い実施コースの選定を行った。D0A 選定にあたり「ストーリー」「サステナビリティ」を重点項目とするのは勿論のこと、他にも1日ツアーならではの要素として「ギア品質」「アクティビティ安全性」「雨天時の代替案」といった項目も重点要素とした上で審査及び選定を行った。

D0A コース確定までの流れ

2020	6月	公募により D0A 取扱旅行会社（16社）を選定
	10月	D0A 募集（1次～3次審査）実行委員会にて 32 コースを選定
	12月	ATTA による D0A 32 コースの審査開始
2021	4月	ATTA により D0A 29 コースの承認
	9月	ATWS2021 にて D0A 29 コースを紹介（Digital Brochure）
2022	4月	D0A の追加募集（採択済コースより辞退が発生したため）
	6月	D0A 6 コースを追加採択
	11月	追加採択した D0A 6 コースの ATTA による審査及び承認 （ATWS2023 で催行する全 D0A31 コースの確定）

D0A コース選定時の審査項目

コースにおける地域ならではのストーリー/地域理解が深まるツアー設計か/コース上における文化施設や休憩所などの配置状況/ATTA の提唱する5つの体験価値への該当/環境への負荷を最小化するための取組/地元産品の活用や地域の雇用創出など地域経済への貢献するための工夫/ツアー商品として継続的に顧客に提供する体制の構築/個客の嗜好やスキルに応じた組み立てやオプションの設定状況/地域住民との交流など双方向性のある体験・アクティビティ/当該地域でしか体験できないユニークコンテンツ/アクティビティや体験におけるチャレンジングな要素の有無/全体の行程と

内容、必要な携行品や装備、事前に取得すべき個客情報等の整備/免責事項を適切に整理し、顧客に説明することができるか/応急処置に関するスキル・知識が十分にあるか/ツアー催行中に予想される事故や怪我に適切な医療品等が用意されているか/外国人の利用に対応できる豊富なサイズのギアやウェアの貸し出しの可否/悪天候時の代替案の有無/MIC 及び免責事項に関し英語の説明資料が用意されているか/自己や災害発生時に英語で対応方法の説明や指示ができるか/英語で自然歴史、見所等を説明できるか

催行コース確定に至るまでの ATTA との主な協議項目

- ・ シンプルなツアータイトル（アクティビティと地域を明確にしたタイトルとする）
- ・ 十分なアクティビティ情報の記載（所要時間、難易度、移動距離、ギアのサイズ など）
- ・ 移動手段の是正（移動時間を片道2時間程度に抑えるべく、バスから列車利用への変更 など）
- ・ 食事内容の記載（具体的な食事内容、メニュー選択の有無、特別食の対応可否の記載 など）
- ・ その他、英文日程表の英語の校正（誤った文法、不適切な表現の是正 など）

③メディア・バイヤー招待者選定

実行委員会では、PSA・DOA のツアー行程の審査だけでなく、招待者の審査・選定を行った。

ATTA との契約に基づき、実行委員会が渡航費などの費用を全額負担する招待者（以下「完全招待者」という。）、PSA のみ無料で提供を受ける招待者（以下「PSA 招待者」という。）のうち、メディア・バイヤーについては、ATTA の協力の下、当時の WG⑦ Hosted Delegates（（1）②参照）にて審査・選定を行った。

完全招待者・PSA 招待者となることを希望するメディア・バイヤーを ATWS2023 のサイト上で募集したところ、メディア・バイヤー合わせ 347 名の応募があった。これらの候補のうちから完全招待者・PSA 招待者の選定にあたっては、WG 内の採点に加え、ポストサミットアドベンチャー実施自治体、道外 PSA 実施 DM0、また JNTO の協力を得て JNTO 海外事務所からも選定について意見を聴取した。

審査の結果、完全招待者として、ATTA の契約の通りメディア 30 名、バイヤー 20 名を選定した。PSA 招待者については契約上に数の定めがなかったため、ATTA と協議し、完全招待者 49 名（メディア 30 名、バイヤー 19 名）、PSA 招待者 64 名を選定した。

（3）ATTA との調整

令和 4 年（2022 年）4 月より ATWS2023 に向け、ATTA と定期的なオンラインミーティングを行い、進捗状況の確認や開催についての意見交換を行った。以降、ATWS2022 までは月 1 回、ATWS2022 後は月 2 回、ATWS2023 開催の直前は毎週と徐々に頻度を上げ、細やかな情報共有に努めた。

また、同年 10 月にはスイス・ルガーノで開催された ATWS2022 に参加し、実行委員会幹部と ATTA 幹部との意見交換、ATWS2023 に向けた北海道のアピール等を行った。

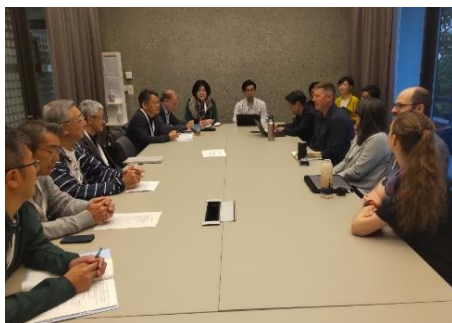
さらに、翌月 11 月には ATTA が「Site Visit」として札幌を訪れ、ATWS2023 の会場やレセプション会場の候補地等を視察し、開催時の対応方針を検討した。

①ATWS2022 視察（スイス・ルガーノ）

令和4年（2022年）10月3日（月）～6日（木）、スイス・ルガーノで開催された ATWS2022 において、大会運営の視察や ATTA との意見交換を行うとともに、クロージングセッションで ATWS2023 が日本で開催されることを PR した。



Japan Lounge での PR



ATTA との幹部ミーティング



クロージングでの PR・ハンドオフ

②Site Visit

令和4年（2022年）11月8日（火）～12日（土）実施。ATTA から、ケーシー・ハニスコ President、ハンナ・ピアソン アジア・太平洋地域ディレクター、ウェズレイ・ジューグラー Senior Manager Events、國谷 裕紀 Business Manager for Asia の4名が来訪した。

ATTA 4名と実行委員会は、大会会場、新千歳空港から札幌まで及び札幌市内から会場へのアクセス、チェックインや D0A 集合場所、レセプション会場候補地、招待者が宿泊するホテル等を視察し、対応方針や課題について整理した。

北海道らしさを演出するレセプション会場として大倉山はどうかという提案や、北海道らしい食事の提供について助言を受けた。



3. ATWS2023 実施概要

(1) 開催概要・スケジュール

①開催概要

会 期	令和5年（2023年）9月11日（月）～14日（木）
会 場	札幌コンベンションセンター ほか
主 催	Adventure Travel Trade Association (ATTA)
ホ ス ト	ATWS 北海道実行委員会
テーマ	調和 —— Harmony —— 「自分より他人を思いやる心」を表す言葉としてよく使われる。この言葉には様々な意味があるが、自分という小さな存在を超えて、地域や自然環境といった“私たち”を大切にしようという思いが込められている。

②スケジュール

日 程	内 容
9月4日(月)～ 9月10日(日)	・プレサミット・アドベンチャー (PSA)全22コース (道内15、道外7) ・チェックイン
9月11日(月)	・デイ・オブ・アドベンチャー (DOA) 全31コース ・ウェルカムレセプション
9月12日(火)	・オープニングセッション／基調講演／分科会／ラウンドテーブル ・プレスカンファレンス ・オープニングセレモニー
9月13日(水)	・マーケットプレイス ・基調講演／分科会／ラウンドテーブル
9月14日(木)	・メディアコネクト ・基調講演／分科会／ラウンドテーブル ・クロージングセッション ・クロージングカクテルアワー／アフターパーティ
9月15日(金)～ 9月18日(月)	・ポストサミットアドベンチャー全4コース

(2) 具体のプログラム

① アドベンチャー

i プレサミット・アドベンチャー (PSA)

ATWS2023 本大会開始前に行う複数日のエクスカースョンで、主にバイヤー（海外の旅行会社等）やメディアが参加した。

北海道内 15 コース、道外 7 コース（東北、長野、静岡、四国、阿蘇、屋久島、沖縄）において実施し（2（2）①参照）、総参加者数は 173 名だった。

<北海道開催分>

No.	ツアータイトル	ツアー概要	
1	大雪山周遊 ～5 泊 6 日ハイキングツアー Around Daisetsuzan 6 Day Hiking Tour	催行地域／日数	大雪山／6 日
		メインアクティビティ	登山
		参加者	9 名
		催行事業者	(株)北海道宝島旅行社
2	洞爺湖有珠山ジオパーク&黒松内ローランド・アドベンチャー Live in Harmony with Volcanoes	催行地域／日数	洞爺・黒松内／5 日
		メインアクティビティ	トレッキング
		参加者	10 名
		催行事業者	(株)北海道宝島旅行社
3	日高 "アイヌ" アドベンチャー Hidaka Ainu Adventure	催行地域／日数	日高／5 日
		メインアクティビティ	トレッキング
		参加者	11 名
		催行事業者	(株)JTB
4	マチネシリトレッキング・ワイルドサイクリング Discover the Volcanoes of East Hokkaido (cycling /trekking)	催行地域／日数	阿寒・川湯／5 日
		メインアクティビティ	トレッキング&サイクリング
		参加者	10 名
		催行事業者	(株)JTB
5	洞爺湖から日本海へ 4 泊 5 日サイクリングツアー Lake Toya to the Japan Sea 5 Day Cycling Tour	催行地域／日数	洞爺湖～余市／5 日
		メインアクティビティ	サイクリング
		参加者	9 名
		催行事業者	(株)北海道宝島旅行社
6	「地の果て・シリエトク（知床）」を目指す サイクリングツアー Cycling Tour aiming for the end of the earth, Sirietoku (Shiretoko)	催行地域／日数	網走～知床／5 日
		メインアクティビティ	サイクリング
		参加者	6 名
		催行事業者	(株)北海道宝島旅行社

No.	ツアータイトル	ツアー概要	
7	日本文化伝承の北前船、道南の要所を巡る サイクリングツアー A Cycling Tour of Southern Hokkaido - Enjoy Japanese Culture Brought by the Kitamaebune -	催行地域／日数	函館、知内～江差／4 日
		メインアクティビティ	サイクリング
		参加者	7 名
		催行事業者	近畿日本ツーリスト(株)
8	日本最北の地を目指して 上川・宗谷 カヌーとサイクリング Experience Northern Japan by Canoeing & Cycling in Kamikawa and Soya	催行地域／日数	旭川～稚内/5 日
		メインアクティビティ	カヌー、サイクリング
		参加者	7 名
		催行事業者	ANA X (株)
9	火山が造った箱庭・大沼カヌーツーリング ～カヌー&農山漁村交流 4 日間～ The First Land of Cultural Interaction / Hiking, Canoeing and Cultural Activities	催行地域／日数	大沼／4 日
		メインアクティビティ	カヌー
		参加者	7 名
		催行事業者	(株)北海道宝島旅行社
10	日本最北の離島 4 泊 5 日ハイキングツアー Japan's Far North 5 Day Hiking Tour	催行地域／日数	利尻・礼文／5 日
		メインアクティビティ	シーカヤック
		参加者	7 名
		催行事業者	(株)北海道宝島旅行社
11	大雪山国立公園唯一の自然湖 「然別湖カヤック&トレッキング」 Kayak the Sacred Lake of Shikaribetsu in Central Hokkaido And Explore its Natural Beauty	催行地域／日数	然別湖／5 日
		メインアクティビティ	カヤック、トレッキング
		参加者	8 名
		催行事業者	(株)日本旅行北海道
12	源流から海へ ラフティングとカヌーで巡る 水の循環エコツアー Central Hokkaido Adventure - Explore the length of the Mukawa River	催行地域／日数	鶴川／5 日
		メインアクティビティ	ラフティング
		参加者	11 名
		催行事業者	(株)JTB
13	ザ ワイルドフライフィッシング イン イースト北海道 Fishing in the Wilderness of East Hokkaido	催行地域／日数	知床、標津、阿寒／6 日
		メインアクティビティ	フィッシング
		参加者	3 名
		催行事業者	(株)JTB
14	道東の三国立公園を巡る 6 泊 7 日ワイルドライフツア ー Japan's Far East - 7 Day Wildlife & Adventure Tour	催行地域／日数	屈斜路、知床／7 日
		メインアクティビティ	野生動物観察
		参加者	9 名
		催行事業者	(株)北海道宝島旅行社
15	女性による女性のための SDGs 文化交流体験 ～下川・西興部・滝上～ SDGs & Cultural Interaction by Women, for Women - Northern Hokkaido 4-day tour	催行地域／日数	下川、西興部、滝上/4 日
		メインアクティビティ	文化体験
		参加者	7 名
		催行事業者	(株)北海道宝島旅行社

<道外開催分>

No.	ツアータイトル	ツアー概要	
16	みちのく潮風トレイルハイクでめぐる三陸海岸 Michinoku Coastal Hiking Trail - 7 Days A Model of Resilience and Nature Regeneration	催行地域／日数	東北／7日
		メインアクティビティ	ハイキング、シーカヤック、サイクリング
		参加者	9名
		催行事業者	(株)みちのりトラベル東北
17	長野の古道を歩いて過去への旅へ Take a Trip to the Past along Nagano's Ancient Roads	催行地域／日数	長野／7日
		メインアクティビティ	トレッキング
		参加者	10名
		催行事業者	奥ジャパン(株)
18	静岡アドベンチャー ～富士山のある雄大な里～ Shizuoka Adventure - The Majestic Home of Mount Fuji	催行地域／日数	静岡／6日
		メインアクティビティ	ハイキング、サイクリング、シーカヤック、フィッシング
		参加者	8名
		催行事業者	コード合同会社
19	訪れるべき四国を代表する海と山と川をEバイクで巡る旅（5泊6日） The Best of Shikoku by E-bike and SUP - 6 Days	催行地域／日数	四国／6日
		メインアクティビティ	サイクリング、SUP
		参加者	7名
		催行事業者	四国ツアーズ(株)
20	世界遺産のミステリーアイランド・屋久島でトレッキング & ウォーターアクティビティを目指す Explore the life in mythical volcanic mountain & cycling in KYUSHU 9	催行地域／日数	九州 屋久島／6日
		メインアクティビティ	登山、リバーカヤック
		参加者	6名
		催行事業者	(株)JTB
21	神話の火山での生活と九州のサイクリングを楽しむ旅 Trek and Water activities in the World heritage mystery island, YAKUSHIMA	催行地域／日数	九州 阿蘇／6日
		メインアクティビティ	サイクリング
		参加者	5名
		催行事業者	(株)JTB
22	亜熱帯の島、沖縄を体感するサイクリング & ウォーキング 6-day Cycling and Walking across Subtropical Okinawa & Introduction to Karate	催行地域／日数	沖縄／6日
		メインアクティビティ	サイクリング、ウォーキング、異文化体験
		参加者	7名
		催行事業者	(株)JTB沖縄



©Hassen/ATTA



©Hassen/ATTA

PSA5：洞爺湖から日本海へ 4泊5日サイクリングツアー



©Hassen/ATTA



©Hassen/ATTA

PSA8：日本最北の地を目指して 上川・宗谷 カヌーとサイクリング



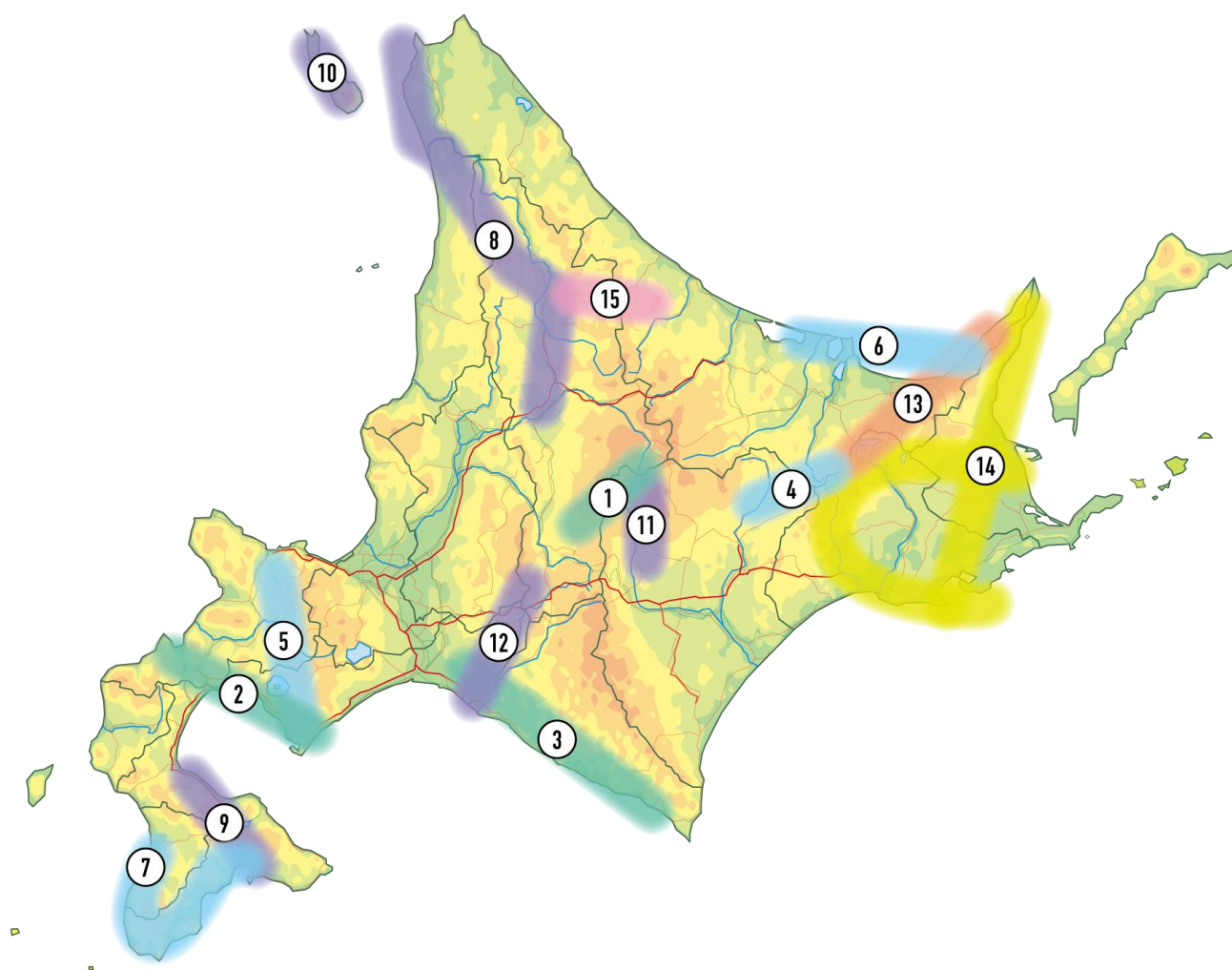
©Hassen/ATTA



©Hassen/ATTA

PSA12：源流から海へ ラフティングとカヌーで巡る水の循環エコツアー

<北海道開催分：開催地域図>



<主なアクティビティ>

■：登山・トレッキング

■：ウォーターアクティビティ

■：野生生物観察

■：サイクリング

■：フィッシング

■：文化体験

※PSA 各コース行程は、ATTA のウェブサイト（右二次元コード）から確認できる。



ii デイ・オブ・アドベンチャー (DOA)

本大会初日である令和5年(2023年)9月11日に、本大会の会場である札幌を起点とした日帰りのエクスカージョンとして DOA を実施した。

DOA には ATWS2023 の参加者全員が参加可能で、北海道内 31 コースを実施し(2(2)②参照)、総参加者数は 547 名に上った。

No.	ツアータイトル	ツアー概要	
1	アイヌの伝統・歴史・文化を学ぶ カムイヌプリ軽登山ツアー Hike the Mountain of God "Kamui Nupuri" and learn about the Ainu	催行地域	白老、登別
		メインアクティビティ	軽登山
		参加者	20 名
		催行事業者	(株)日本旅行北海道
2	硫黄山登山と温泉体験でニセコの豊かな自然を体感する The Beauty of Niseko's Nature: Hot Spring and Sulfur Mountain Experience	催行地域	ニセコ
		メインアクティビティ	登山
		参加者	13 名
		催行事業者	名鉄観光サービス(株)
3	天上の湿原 雨竜沼湿原 秘境トレッキング Uryunuma-Shitsugen "Wetland in the Sky" Hike	催行地域	雨竜
		メインアクティビティ	トレッキング
		参加者	20 名
		催行事業者	(株)JTB
4	夕張の歴史変遷トレッキングツアー ～「炭鉱」から「食と観光」へ～ Hiking through the Historical Transition from "Coalmine" to "Tourism" of Yubari City	催行地域	夕張
		メインアクティビティ	トレッキング
		参加者	10 名
		催行事業者	(株)日本旅行北海道
5	小樽近郊の酒造りのルーツを辿る！ 狗山トレッキングツアー Tracing the Origin of SAKE Making in Otaru - Mt. Tengu Hiking Tour	催行地域	小樽
		メインアクティビティ	トレッキング
		参加者	46 名
		催行事業者	(株)日本旅行北海道
6	大雪山国立公園・黒岳ロープウェイとトレッキング Daisetsuzan National Park Autumn Forest Walk & Cable Car Ride	催行地域	上川
		メインアクティビティ	軽トレッキング
		参加者	14 名
		催行事業者	大雪山ツアーズ(株)

No.	ツアータイトル	ツアー概要	
7	三笠ジオパークで北海道の開拓史を体感する ガイドウォーキングツアー Historical Walking Tour in Mikasa Geopark	催行地域	三笠
		メインアクティビティ	ウォーキング
		参加者	15 名
		催行事業者	東武トップツアーズ(株)
8	ゼロカーボンパーク支笏湖 苔の回廊ハイキングと クリアカヤック Lake Shikotsu: Zero Carbon Park, Hiking "Koke no Kairou" the Corridor of Moss, and Clear-bottomed Kayaking	催行地域	千歳
		メインアクティビティ	ハイキング、クリアカヤック
		参加者	17 名
		催行事業者	(株)ノース・スター・トラベル
9	十勝岳ジオパーク・アドベンチャー ハイク&バイク in 富良野 Furano Geo Adventure Bike & Hike	催行地域	上富良野
		メインアクティビティ	ハイキング、サイクリング
		参加者	14 名
		催行事業者	アルパインツアーサービス(株)
10	港町小樽で海と断崖の絶景トレッキング Trekking in Otaru, a Historic Herring Fishing Port: Seaside Cliffs& Ancient Legends	催行地域	小樽
		メインアクティビティ	トレッキング
		参加者	13 名
		催行事業者	(株)エソシカ旅行社
11	ニセコ サイクリング&トレッキング Cycling & Trekking in Niseko	催行地域	ニセコ
		メインアクティビティ	サイクリング、トレッキング
		参加者	23 名
		催行事業者	ANAX(株)
12	石狩の自然、歴史、サケ文化をサイクリングで体感 Exciting Cycling – Revel in Ishikari's Nature and History with All Your Senses!	催行地域	石狩
		メインアクティビティ	サイクリング
		参加者	15 名
		催行事業者	近畿日本ツーリスト(株)
13	北海道開拓から続く歴史と産業をめぐる 北広島サイクリング Ride! Eat! Kitahiroshima! Visit fascinating historical sites passed down from Hokkaido's pioneer frontier days.	催行地域	北広島
		メインアクティビティ	サイクリング
		参加者	16 名
		催行事業者	近畿日本ツーリスト(株)
14	札幌市南区の開拓歴史を巡る サイクリングと軽登山ツアー Sapporo South District Cycling and Light Mountain Climbing Tour - In Search of Pioneering History	催行地域	札幌
		メインアクティビティ	サイクリング、軽登山
		参加者	15 名
		催行事業者	近畿日本ツーリスト(株)

No.	ツアータイトル	ツアー概要	
15	美唄サイクリングツアーと北海道最古の酒造を訪ねる旅 Discover Sorachi through Cycling, Sculptures and Sake	催行地域	美唄
		メインアクティビティ	サイクリング
		参加者	16 名
		催行事業者	(株)JTB
16	都会の近くで発見！ウトナイ湖の大自然満喫ツアー Take a Leave from the City and Wonder into the Great Nature of Lake Utonai	催行地域	苫小牧
		メインアクティビティ	サイクリング
		参加者	6 名
		催行事業者	(株)日本旅行北海道
17	【ルスツ～洞爺湖畔】MTB ツーリング ロングコース 【Rusutsu～Lake Toya】 Mountain Bike Touring Long Course	催行地域	ルスツ、洞爺湖
		メインアクティビティ	マウンテンバイク
		参加者	20 名
		催行事業者	(株)エイチ・アイ・エス
18	JOMON を感じる清流千歳川 A journey along the crystal-clear Chitose River through the Japanese Prehistoric Jomon Period	催行地域	千歳
		メインアクティビティ	リバーカヌー
		参加者	12 名
		催行事業者	(株)ノース・スター・トラベル
19	積丹ブルーを体感！ マリンアドベンチャー & 絶景ハイキング Discover Shakotan Blue: marine adventure with superb views	催行地域	泊
		メインアクティビティ	シーカヤック、シュノーケリング
		参加者	15 名
		催行事業者	(株)JTB
20	「鮭」の目線で 札幌・豊平川沿いをサイクリングし、 上流の定山溪でカヌー！ Cycling & Canoeing along the Toyohira River	催行地域	札幌
		メインアクティビティ	サイクリング、カヌー
		参加者	28 名
		催行事業者	東武トップツアーズ(株)
21	ニセコ・サステナブル・ライフスタイル～自然食&カヌー～ Niseko's Sustainable Lifestyle: Natural Food Experience & Canadian Canoe Tour	催行地域	ニセコ
		メインアクティビティ	カヌー
		参加者	19 名
		催行事業者	名鉄観光サービス(株)
22	大雪山国立公園唯一の自然湖 「然別湖カヤック又はリバーウォッチング」 Take a Journey through the Sacred Lake, Lake Shikaribetsu and Meet its Unique Habitat	催行地域	然別湖
		メインアクティビティ	カヤック
		参加者	17 名
		催行事業者	(株)日本旅行北海道

No.	ツアータイトル	ツアー概要	
23	ニセコ 尻別川ラフティングツアー Rafting in Shiribetsu River, Niseko	催行地域	ニセコ
		メインアクティビティ	ラフティング
		参加者	37 名
		催行事業者	ANAX(株)
24	羊蹄山麓での水との共生 The Life Bringing Water of Mt. Yotei: Rafting Tour and Soba Making Experience	催行地域	ニセコ
		メインアクティビティ	ラフティング、ハイキング、文化体験
		参加者	19 名
		催行事業者	名鉄観光サービス(株)
25	十勝川で日本の伝統的なテンカラ釣り Traditional Japanese Tenkara fishing in the Tokachi River	催行地域	新得
		メインアクティビティ	フィッシング
		参加者	18 名
		催行事業者	(株)デスティネーション十勝
26	アイヌとゆく歴史散策： 日帰りガイド付き先住民文化ツアー Time Travel with the Ainu - 1 Day Hiking & Culture Tour	催行地域	旭川
		メインアクティビティ	異文化体験、軽ハイキング
		参加者	14 名
		催行事業者	(一社)大雪カムイミントラ DMO
27	白老アイヌ文化体験とポロトの森ハイキング Experience Ainu Cultural in Shiraoi and Hiking at Poroto Forest	催行地域	白老
		メインアクティビティ	異文化体験、ハイキング
		参加者	22 名
		催行事業者	ANAX(株)
28	今と昔を歩く札幌中心部のアイヌ文化ガイドツアー Ainu Culture Walking Guided Tour through Central Sapporo	催行地域	札幌
		メインアクティビティ	異文化体験
		参加者	10 名
		催行事業者	(株)エゾシカ旅行社
29	白老町でのアイヌパッチワークと文化交流体験 Ainu Crafts and Culture in Shiraoi Town	催行地域	白老
		メインアクティビティ	文化交流
		参加者	10 名
		催行事業者	(株)ジャルパック
30	岩宇地区 100 年変わらない山と海の暮らしツアー Gan-wu: 100 Years of Living in Harmony with Mountain and Sea	催行地域	共和、岩内
		メインアクティビティ	地域交流
		参加者	21 名
		催行事業者	(株)JTB

No.	ツアータイトル	ツアー概要	
31	渡り鳥の視点で旅する石狩川 ～空知ラフティングとグライダー～ Rafting and Gliding in Sorachi: Ishikari River Travels - Taking a Vantage Point of Migratory Birds	催行地域	滝川
		メインアクティビティ	グライダー、ラフティング
		参加者	12 名
		催行事業者	北海道中央バス(株) シービーツアーズカンパニー



D0A8：ゼロカーボンパーク支笏湖 苔の回廊ハイキングとクリアカヤック



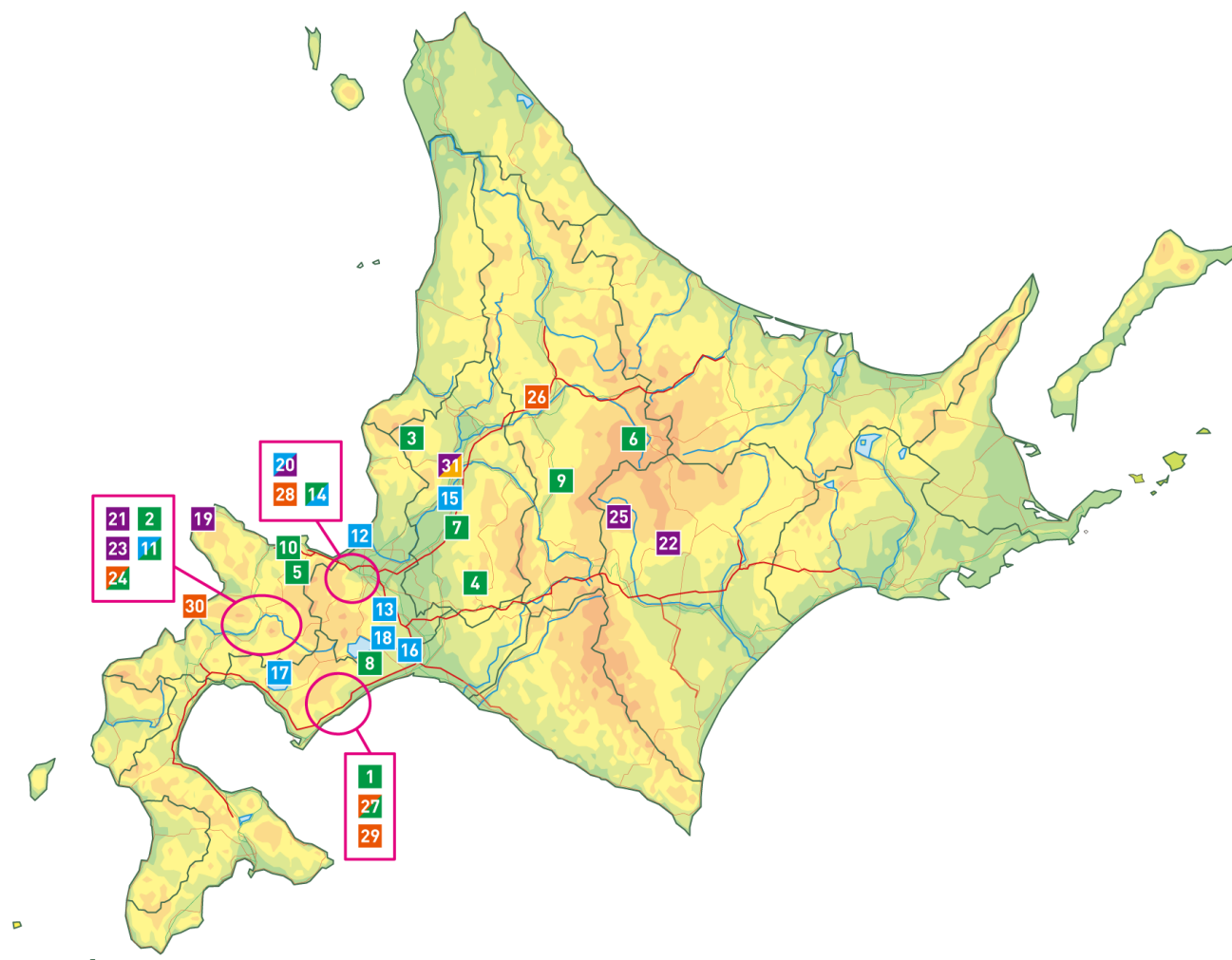
D0A10：港町小樽で海と断崖の絶景トレッキング



©Hassen/ATTA
D0A23：ニセコ 尻別川ラフティングツアー

©Hassen/ATTA

<DOA 開催地域図>



<主なアクティビティ>

■ : 登山・トレッキング等

■ : ウォーターアクティビティ

■ : グライダー

■ : サイクリング

■ : 文化体験・地域交流

※DOA 各コース行程は、ATTA のウェブサイト（右二次元コード）から確認できる。



②大会本体

9月10日（日）

多くの参加者は9月10日に札幌に移動し、イベントチェックインを行って翌日11日のDOAの参加に備えた。実行委員会では、新千歳空港における参加者の歓迎対応や、札幌市内でのイベントチェックイン対応を行った。

■到着時対応

札幌国際大学観光ビジネス学科の学生ボランティア17名・教授2名の協力を得て、新千歳空港到着口にて参加者への歓迎対応を行った。

当日は浴衣やATロゴマークをあしらった特製Tシャツを着用した学生ボランティアが、道外PSAの参加者など搭乗する便が把握可能である59名の参加者を中心に到着口にて出迎え、学生ボランティア自ら考案、制作したオリジナル手ぬぐいや折り紙ペンダントなどの贈り物を手渡し歓迎の意を伝えた。

また、北海道エアポート株式会社の協賛により、デジタルサイネージを活用するなどATWS2023の機運醸成に取り組んだ。具体的には、新千歳空港センタープラザ内の大型ビジョンにおいてAT動画の放映及び天吊りバナーの設置、国際線到着ロビー及び連結施設の縦型サイネージにおけるAT動画放映、国内線ターミナルでのATWS2023のポスター掲出を行った。加えて、稚内、釧路、函館、旭川、帯広の各空港においてもポスター掲出を行った。

これらを通じ、北海道を訪れる参加者へ歓迎の意思や日本におけるATの機運の高まりを印象づけることができた。また、学生と参加者の交流機会を設けたことにより、将来観光を担うであろう学生に対し貴重な体験を提供することができた。



■イベントチェックイン

PSA 参加者以外も含め、ATWS2023 の参加者のほとんどはこの日に北海道に到着した。参加者は大通ビッセ（札幌市中央区）の1階に設けたチェックインスペースに来場し、ATWS2023 のバッジ（参加証）を受け取った。

チェックインスペースは10日16時～19時の時間帯で設けたが、この時間帯にバッジを受け取れない参加者に対しては、11日（月）のウェルカムレセプション会場内、12日（火）の札幌コンベンションセンターにてチェックインを行った。



9月11日（月）

9月11日はD0Aを実施した。D0A参加者は、大通公園、JR札幌駅及び中島公園の3カ所に集合し、大型バスやJR等を利用して道内各地に出発した（D0Aのコース詳細は（1）①ii参照）。

同日夕刻から、D0Aから帰ってきた参加者がスムーズに参加できるよう配慮しつつ、ウェルカムレセプションを開催した。

■ウェルカムレセプション

11日夕方、さっぽろテレビ塔1階屋外の「2023 ピコレ秋のワインフェア」会場にて、ウェルカムレセプションを開催した。参加者は、北海道産ワインや、ヴィーガン対応のピンチョス等の食事とともに、参加者どうし久々の再会に抱き合ったり喜んで親交を深めたりと、リラックスしたひとときを過ごした。

あわせて、参加者に、ウェルカムレセプションの後や ATWS2023 での札幌滞在期間に、札幌・北海道の食を存分に楽しんでもらう機会を提供するため、同期間に大通公園で開催されていた「さっぽろオータムフェスト」（開催期間：9月8日（金）～30日（土）、開催場所：大通公園）の実行委員会の協賛を受け、同イベントで利用できる1,000円分のクーポンの配布を行い、多くの参加者に ATWS2023 のイベント外でも札幌・北海道の食を楽しむ機会を提供した。



©Hassen/ATTA



©Hassen/ATTA



9月12日（火）

9月12日は札幌コンベンションセンターで行われるイベントの初日であり、まずは、オープニングセッションとして午前9時からのプレナリーが行われた。プレナリーでは関係者の挨拶やテーマの説明に続き、ATTAのシャノン・ストーウェル CEO による基調講演が行われた。

その後は、メディアに対し、実行委員会と ATTA 幹部が北海道・日本の AT について説明するプレスカンファレンスのほか、各テーマによる分科会等が開催された。

18 時からは会場を移し、大倉山ジャンプ競技場でオープニングセレモニーが行われた。

9月12日タイムテーブル

時 間	会 場	種 別	内 容
08:00~08:45	小ホール	オリエンテーション	ATTA COMMUNITY ACTIVATION
09:00~10:30	大ホール B	プレナリー	KEYNOTE: WELCOME + THE STATE OF THE ADVENTURE TRAVEL INDUSTRY
10:30~11:00	ロビー	休憩	NETWORKING BREAK
11:00~12:00	Room102	文化体験	ART WORKSHOP: SHODO CALLIGRAPHY
11:00~12:30	小ホール	分科会	MAKING DESTINATION SUSTAINABILITY NON-NEGOTIABLE
	Room 108	分科会	ASIA PACIFIC ADVENTURE TRAVEL MARKET TRENDS & INSIGHTS
	Room 204	分科会	CHŌWAGPT: ACHIEVING SALES & MARKETING HARMONY WITH AI AND HUMAN CONNECTION
	Room 206	分科会	INQUIRIES ON INCLUSIVE TOURISM
	Room 101	ラウンドテーブル	ADVENTURE ACCELERATOR: FAMILY BUSINESS - EXECUTION & SUCCESSION
12:30~13:30	中ホール	食事	LUNCH
13:30~14:30	Room102	文化体験	ART WORKSHOP: SHODO CALLIGRAPHY
13:30~15:00	Room108	分科会	ASIA PACIFIC ADVENTURE TRAVEL MARKET TRENDS & INSIGHTS
	Room107	分科会	THE COLLABORATIVE & SUSTAINABLE FUTURE OF ASIA-PACIFIC ADVENTURE TOURISM
	Room204	分科会	CHŌWAGPT: ACHIEVING SALES & MARKETING HARMONY WITH AI AND HUMAN CONNECTION
	Room206	分科会	INQUIRIES ON INCLUSIVE TOURISM
	Room207	分科会	CLIMATE LEADERS WORKSHOP: REDUCING TRAVEL'S EMISSIONS THROUGH BUSINESS TRANSFORMATION AND TECHNOLOGY
	小ホール	分科会	MAKING DESTINATION SUSTAINABILITY NON-NEGOTIABLE

時 間	会 場	種 別	内 容
13:30~15:00	Room101	ラウンドテーブル	ADVENTURE ACCELERATOR: NAVIGATING RISK & CRISIS MANAGEMENT
	さっぽろ 大地公園	屋外プログラム	SHORT GUIDED BICYCLE RIDE WITH SPECIALIZED ※
15:00~15:30	ロビー	休憩	NETWORKING BREAK
15:30~16:30	大ホール B	プレナリー	KEYNOTE: FINDING INNER CHŌWA THROUGH REWILDING
18:00~21:00	大倉山ジャン プ競技場	レセプション	OPENING CEREMONY

※13:30~の「SHORT GUIDED BICYCLE RIDE WITH SPECIALIZED」は悪天候により中止となった。

(注)

- ・プレナリー＝参加者全員が集まって行われる全体会。
- ・分科会＝任意参加。参加者は自分の興味のあるテーマに参加することができる。
- ・ラウンドテーブル＝1人の発表者と数名の参加者がテーブルを囲み、発表者のテーマに即して自由に意見を交換する場。

■オープニングセッション

9時から札幌コンベンションセンター大ホールで開始されたオープニングセッションは、本サミットのメイン MC を務めた ATTA アンバサダーである高田健右氏（鶴雅リゾート株式会社営業部副部長、日本アドベンチャーツーリズム協議会 Global Marketing Director）の登場からスタートした。日本に広く浸透しているラジオ体操を会場全員で行った後、JNT0 のプレゼンテーションとして蒲生篤実理事長が挨拶したのち、斉藤鉄夫国土交通大臣のビデオメッセージを放映した。

そののち、釧路市出身の箏奏者、橋本みぎわ氏の演奏にあわせて札幌市在住の書道家、水間臥猪^{がちよ}氏が本サミットのテーマである「調和」を力強く^{きごう}揮毫するパフォーマンスを実施した。



会場全体で行ったラジオ体操

©Hassen/ATTA



JNTO 蒲生理事長 ©Hassen/ATTA



斉藤国土交通大臣のビデオメッセージ



書道パフォーマンスを行った書道家・水間 臥猪氏 ©Hassen/ATTA



箏奏者・橋本 みぎわ氏 ©Hassen/ATTA

■プレスカンファレンス

日 時 9月12日(火) 10:40~11:40

場 所 札幌コンベンションセンター 特別会議場

登壇者 ATWS 北海道実行委員会 筆頭副会長 小金澤 健司(北海道観光振興機構)

ATWS 北海道実行委員会 幹事 水口 猛(北海道運輸局)

ATTA CEO シャノン・ストーウェル

ATTA アジア・太平洋地域ディレクター ハンナ・ピアソン

参加報道機関数 37社

内 容 実行委員会からの挨拶及び説明、ATTAによる説明、質疑応答、写真撮影

【日本・北海道からの挨拶概要】

(実行委員会 小金澤筆頭副会長((公社)北海道観光振興機構 会長))

- ・関係者の思いが叶い、ATWS2023を北海道でリアル開催できることに大きな喜びを感じる。多くの関係者の協力に感謝。
- ・北海道はポテンシャルが高いと言われてきたが、もっと活かしていくべき。今回のATWS2023開催は、その大きな契機。
- ・観光の高付加価値化、オーバーツーリズムの解消、サステナブル観光の推進、日本・北海道

が抱える課題の解決のためには、AT の浸透が大きな鍵。

- ・サミット参加者とのネットワークを大事にしながら、AT を浸透させ、根付かせていきたい。

【これまでの経過・開催意義の説明】

(実行委員会 水口幹事（北海道運輸局観光部 部長）)

- ・ATWS2016 に参加して以来の経緯を説明。
- ・ATWS は『理念の共有』と『ビジネス機会の提供』の双方に深く配慮されたイベント。
- ・また ATWS では、他のイベントと異なり、参加者同士が競争相手としてではなく、ともに課題解決にあたる。このため、今回は全ての関係者がパートナーであるという考えに立ち、ATWS2023 開催を準備することができた。
- ・また、PSA 等を提供した国内事業者が繋がる機会であり、今後の連携が期待できることも今回開催の意義。
- ・ATTA には、観光庁や JNTO と良好な関係を築いたうえで、2 名の ATTA アンバサダーを北海道に配置するなど、日本の AT 推進をリードしていただいたことに感謝。引き続き良好な関係を維持し、日本・北海道における AT の発展に取り組みたい。



【ATTA による説明】

(ATTA シャノン・ストーウェル CEO)

- ・北海道には AT にとって大切な要素である『文化』『自然』『アクティビティ』が豊富。今回の PSA や DOA で、その種類の豊富さと質の高さが示された。
- ・環境保護が日本の人々にとっていかに重要であるかが確認でき、とても勇気づけられた。
- ・アイヌ文化など日本の豊かな文化遺産にも、大きな焦点が当てられている。
- ・日本の農村地域は、人里離れた静かな場所に興味を持つアドベンチャートラベラーに有益。
- ・AT は、その場所で本当に時間を過ごし、その地の本質や精神、そして素晴らしいものを吸収することで、人々の旅のあり方を変える重要性を有する。

(ATTA ハンナ・ピアソン アジア・太平洋地域ディレクター)

- ・今大会のテーマ『調和』は、個を超えたものへ、コミュニティ全体へもっと目を向けることを思い出させてくれる言葉。サステナブルな生態系、地域社会、経済のためにどうすべきかを模索する現在、プログラム中にテーマが散りばめられ、このテーマが参加者や組織にとって何を意味するのかを考えるきっかけになることを期待。
- ・ATWS の開催はゴールではなく、アドベンチャートラベラーを歓迎する準備ができたことと合図を送ること。ガイド向け研修を全国レベルで実施し、さらなるレベルアップを図ってほしい。
- ・ATWS がもたらす無形のものこそ最も価値がある。同じ情熱を持つ人々が仲間として繋がり、北海道・日本で得たものを携えてそれぞれが帰国し、世界各国で AT の提唱者となることこそ

が、波及効果としての意義。

- ・北海道・日本は、アジアの他のデスティネーションにとって非常に高いハードルを設定した。後に続く国々にインスピレーションを与え、模範を示している。



©Hassen/ATTA

■プレナリー・テーマ別分科会・ラウンドテーブル

9月12日に開催されたプレナリー・テーマ別分科会・ラウンドテーブルの詳細は以下のとおり。



- 分科会
MAKING DESTINATION SUSTAINABILITY NON-NEGOTIABLE
(11:00~12:30/13:30~15:00)
ツアーオペレーターやデスティネーション向けのワークショップ。観光をより持続可能なものにするため、観光客に責任ある選択を促す実践的な方法について、2人の専門家が講演した。



- 分科会
ASIA PACIFIC ADVENTURE TRAVEL MARKET TRENDS & INSIGHTS
(11:00~12:30/13:30~15:00)
アジア初の開催となった ATWS2023 の機会を捉え、アジアの AT の専門家 3 人が、アジアの AT 旅行者の志向（雰囲気、期待するもの、テクノロジーがどのように彼らの経験を形作るのか、持続可能性をどのように評価しているか）や、今後のアジアの AT 市場の取り込みについて講演した。



- 分科会
CHŌWAGPT: ACHIEVING SALES & MARKETING HARMONY WITH AI AND HUMAN CONNECTION
(11:00~12:30/13:30~15:00)
最先端の AI テクノロジーとこれまでの人と人との繋がりを融合させた効率的な顧客獲得戦略について議論するとともに、先進的なツールの活用可能性や、AI 等を活用している同業他社からの学びを通じ、自然・地域社会・生態系を持続可能とするための省察について議論した。

	<p>●分科会 INQUIRIES ON INCLUSIVE TOURISM (11:00~12:30/13:30~15:00) アクセシブル・ツーリズム（障害者や高齢者など、移動やコミュニケーションにおける困難さに直面する人々のニーズに応えながら、誰もが旅を楽しむことを目指す取り組み）の市場機会は大きく、またこのような旅行形態を求める旅行者はデスティネーションを持続可能にするために求められているものでもあるが、一方で業界はそのニーズに十分に答えられていないことから、課題と解決策についてパネルディスカッションを行った。</p>
	<p>●ラウンドテーブル ADVENTURE ACCELERATOR: FAMILY BUSINESS - EXECUTION & SUCCESSION (11:00~12:30) 「アドベンチャー・アクセラレーター」と呼ばれる継続的な対話型のプログラム。AT の分野における家族経営の会社(family business)の立上げ・経営における課題、また成功に導く要因は多岐に亘ることから、実際に family business で働く人からの知恵や、疑問やアイデア、アドバイスを、参加者同士で交換した。</p>
	<p>●分科会 THE COLLABORATIVE & SUSTAINABLE FUTURE OF ASIA-PACIFIC ADVENTURE TOURISM (13:30~15:00) デスティネーションの意思決定者や経営者、マーケティング担当者を対象としたセッション。アジア太平洋地域(APAC)地域における持続可能な観光戦略や今行われている地域間協力の検証を行うとともに、現在そして今後の APAC 地域を強化するための地域間協力の機会について議論した。</p>
	<p>●分科会 CLIMATE LEADERS WORKSHOP: REDUCING TRAVEL'S EMISSIONS THROUGH BUSINESS TRANSFORMATION AND TECHNOLOGY (13:30~15:00) 気候に関するリーダーズワークショップ。観光に必須である移動の脱炭素化に向けて、SAF(sustainable aviation fuel:持続可能な航空燃料)等の技術の専門家から学ぶとともに、将来的にゼロカーボンの旅行をいかに実現することが可能か、そのためにどのような協力が必要かを議論した。（招待者限り）</p>
	<p>●ラウンドテーブル ADVENTURE ACCELERATOR: NAVIGATING RISK & CRISIS MANAGEMENT (13:30~15:00) アドベンチャー・アクセラレータープログラム。2023 年 6 月に発生したタイタニック号ツアーの潜水艇沈没事故に際し、AT における安全性・リスク管理についての関心が高まったことを踏まえ、このセッションでは危機的局面における対応、リスクを軽減するための戦略等について議論した。</p>
	<p>●プレナリー KEYNOTE: FINDING INNER CHŌWA THROUGH REWILDING (15:30~16:30) 地球そのもの、また地域社会が多層的危機と闘っている現状において、内なる調和を自らの外部に投影するような修復的(restorative)な体験をいかにデザインするかについて講演を受けた。</p>

■オープニングセレモニー

12日夜、ATWS2023 参加者への歓迎の意を示すため、大倉山ジャンプ競技場で、実行委員会主催でオープニングセレモニーを開催した。

スキージャンプでオープニングが飾られたあと、MC である高田健右氏が登場、実行委員会会長の鈴木直道北海道知事が挨拶を行った。特設ステージでは、アイヌ古式舞踊と OKI DUB AINU BAND による北海道ステージ、JNT0 によるジャパンステージが行われた。立食buffetでは、道産食材を使用した和食等のメニューと北海道産のビールやワイン、日本酒が提供された。北海道・札幌らしい口けション、北海道と日本を象徴するステージ、おもてなしにふさわしい料理と飲み物で、参加者の印象に残るオープニングセレモニーを演出した。途中から激しい雨が降り出したが、参加者は笑顔を絶やさずオープニングセレモニーを楽しんでいた。

日 時：9月12日（火）18:00～21:00（開場 17:00 閉会 20:30）

場 所：大倉山ジャンプ競技場（札幌市中央区宮の森 1274 番地）

参加者：ATWS2023 参加者、トップパートナー、実行委員会関係者等 約 800 名



～スケジュール～

17:00 開場

ウェルカムドリンク・軽食提供
リフト・ミュージアム開放
芸妓ステージ（17:30～17:45）

18:00 オープニング

オープニングムービー
スキージャンプ
MC トーク
挨拶（会長 鈴木直道北海道知事）

18:15 北海道ステージ

様似民族文化保存会
OKI DUB AINU BAND
マレウレウ

18:30 食事・歓談

芸妓・様似民族文化保存会
写真撮影

19:30 ジャパンステージ（JNT0）

太鼓芸能集団 鼓童

20:30 閉会

21:00 閉場

●会場・ステージの様子



©Hassen/ATTA

さっぽろ名妓連によるステージ（ミュージアム棟1階）



スキージャンプ後、ステージで選手を紹介



様似民族文化保存会によるアイヌ古式舞踊



OKI バンド、マレウレウによるライブ ©Hassen/ATTA



JNTO ジャパンステージ（太鼓集団 鼓童による演奏）



会場の様子

●食事の様子



- ・北海道産小麦で作ったカンパニユサンドウィッチ
- ・白糠酪恵舎のチーズ盛り合わせとコンディマン添え
- ・握り寿司（生鮭・ホタテ・花咲ガニ・みょうが・焼き椎茸・パプリカ）
- ・巻物寿司 ・野菜のロースト ・ジンギスカン
- ・北海道産和牛と山わさび ・ザンギ ・野菜の餃子
- ・芋餅甘ダレ添え ・かぼちゃの煮物 ・ベジタブルミートボール
- ・くるみの飴炊き ・五目野菜のライスパーパー巻 ・ラタトゥユ
- ・マカロン ・わらび餅 ・北海道産クリームチーズを使ったテリーヌ
- ・竹炭クロケット ・ミックスナッツ
- ・サッポロビールクラシック、コーン茶、炭酸水（サッポロビール）
- ・ワイン（nikihills、北海道ワイン） ・道産日本酒



9月13日（水）

ツアーオペレーター同士の商談会であるマーケットプレイスが行われるとともに、分科会、ラウンドテーブルディスカッションが実施された。また、様々な文化体験や屋外プログラムも開催され、参加者が北海道・日本を体験する機会が提供された。

9月13日タイムテーブル

時 間	会 場	種 別	内 容
07:00~08:45	Room204	その他	ATCF MEMBER BREAKFAST MEETING
08:00~08:30	テラス	文化体験	EARLY MORNING KARATE
09:00~12:00	大ホール A	マーケットプレイス	MARKETPLACE MORNING SESSION
	Room107	分科会	REWILDING THE WORLD & OURSELVES
	さっぽろ 大地公園	屋外プログラム	LONG GUIDED BICYCLE RIDE WITH SPECIALIZED
10:00~11:00	ロビー	文化体験・休憩	MATCHA TEA DEMONSTRATION
10:00~12:00	屋外	ウォーキングツアー	GUIDED CITY TOUR
11:00~12:00	Room102	文化体験	ART WORKSHOP: SHODO CALLIGRAPHY
12:00~13:30	中ホール	食事	LUNCH
13:00~15:00	屋外	文化体験	GUIDED ZEN MEDITATION EXPERIENCE AT ZUIRYUJI TEMPLE
13:30~16:30	大ホール A	マーケットプレイス	MARKETPLACE AFTERNOON SESSION
	Room204	分科会	DESTINATION INSIGHTS WORKSHOP
13:30~14:30	Room107	分科会	WELLNESS PHOTOGRAPHY WORKSHOP: ONSENS AND RYOKANS
15:00~16:30	Room206	ラウンドテーブル	ADVENTURE ACCELERATOR: DIGITAL NOMADS & REMOTE CULTURE
15:30~16:30	Room101	文化体験	ART WORKSHOP: MUKKURI (AINU MOUTH HARP)
16:30~17:00	ロビー	休憩	NETWORKING BREAK
17:00~18:00	大ホール B	プレナリー	KEYNOTE: ADVENTURE INNOVATION CHALLENGE WITH RESET TOURISM FUND

■マーケットプレイス

世界中のインバウンドツアーオペレーターや宿泊施設が参加し、潜在的なパートナーとのつながりや商談、ブランドのプロモーションを行うための集中的な場が提供された。世界中のバイヤー（アウトバウンド・ツアー・オペレーター、ホールセラー、トラベル・アドバイザー等）が参加し、MORNING SESSION（9:00～12:00）とAFTERNOON SESSION（13:30～16:30）の二部制で、質の高いツアー商品の紹介や商品開発に関するディスカッションが行われた（事前予約制）。

北海道ラウンジ出展旅行会社のうち8社がマーケットプレイスに参加し、63回の商談を海外バイヤーと行った。8社からは、合計で17社のバイヤーとのやりとりが継続している旨の回答があった（令和5年（2023年）12月時点）。



©Hassen/ATTA



©Hassen/ATTA



参加企業は午前・午後に分かれて1区分12分間の商談を実施

■プレナリー・各テーマ別分科会・ラウンドテーブル

9月13日に開催されたプレナリー・テーマ別分科会・ラウンドテーブルの詳細は以下のとおり。

	<p>●分科会 REWILDING THE WORLD & OURSELVES (09:00~12:00) 前日の基調講演者であるブバック・ハギギ氏と、夫で著名な自然保護活動家のアラン・ワトソン・フェザーストン氏による再野生化(rewilding)の実践的な取組を学び、いかに再野生化のプロジェクトを立ち上げ、個人的なビジョンを実現するかについてのワークショップが開催された。</p>
	<p>●分科会 DESTINATION INSIGHTS WORKSHOP (13:30~16:30) 世界的なデスティネーションの意思決定権を持つリーダーを対象としたワークショップ。ATTAがファシリテーターを務め、具体事例の共有、観光の復興に向けた革新的・創造的な解決法についての議論、将来に向けた継続的な対話の場の構築を行う。(招待者限り)</p>
	<p>●分科会 WELLNESS PHOTOGRAPHY WORKSHOP: ONSENS AND RYOKANS (13:30~14:30) 写真家・作家であるマーク・エドワード・ハリス氏による、1000年以上にわたり伝統的に温泉を提供してきた日本の旅館をテーマとした写真のワークショップ。参加者は、芸術表現としての写真とウェルネス・ツーリズムの2つの観点から、日本のイメージについて学ぶとともに、文化に配慮しながら写真を効果的に使用するヒントを学んだ。</p>
	<p>●ラウンドテーブル ADVENTURE ACCELERATOR: DIGITAL NOMADS & REMOTE CULTURE (15:00~16:30) アドベンチャー・アクセレータープログラム。デジタル・ノマド(特にZ世代)はコロナ以降増加しており、このニッチな仕事はAT市場だけでなく、ATの雇用主にとっても大きなチャンスとなる。このセッションでは、雇用主とリモートワーカーが、デジタルノマドやリモートワーク文化の拡大を強化・支援するための視点やアイデアを交換した。</p>
	<p>●プレナリー KEYNOTE: ADVENTURE INNOVATION CHALLENGE WITH RESET TOURISM FUND (17:00~18:30) 大手企業等の出資による財団・UnTours Foundationは、観光に持続可能性・公平性・コミュニティへの関心を求める業界関係者と、現場の小規模ビジネスとの間をつなぐことを目的としている。このキーノートでは、最終選考参加者3名が、UnTours Foundationによる出資の獲得に向けてプレゼンテーションを行うピッチコンテスト、「第1回アドベンチャー・イノベーション・チャレンジ」が開催された。</p>

9月14日（木）

最終日も引き続き基調講演、分科会、ラウンドテーブルディスカッションが実施されるとともに、メディアとの商談会であるメディアコネクトが午前・午後ともに開催され、活発なネットワークキングが展開された。

その後、会議の締めくくりとしてクロージングセッション・ハンドオフを行うとともに、別れを惜しむ参加者たちがクロージングカクテルアワーに参加して会議を振り返った。

9月14日タイムテーブル

時 間	会 場	種 別	内 容
08:00~08:30	Room102	文化体験	EARLY MORNING KARATE ※
09:00~10:00	大ホール B	プレナリー	KEYNOTE CAMPFIRE CHAT: ALIGNING BUSINESS WITH SUSTAINABILITY
10:00~10:30	ロビー	休憩	NETWORKING BREAK
10:30~12:30	特別会議室	メディアコネクト	MEDIA CONNECT
10:30~12:00	小ホール	分科会	COMMUNITIES FIRST: INVESTING IN INDIGENOUS AND COMMUNITY TOURISM
	Room107	分科会	AMBASSADORS MEETUP
	Room204	分科会	INNOVATION WORKSHOP: UNLEASHING THE POWER OF HUMAN-CENTERED TOOLS & TECHNOLOGIES
	Room206	ラウンドテーブル	ADVENTURE ACCELERATOR: ADVENTURE TRAVEL GUIDE STANDARD
10:30~12:30	特別会議室	メディアコネクト	MEDIA CONNECT
	円山公園	文化体験	GUIDED VISIT TO HOKKAIDO SHIRINE & MARUYAMA PARK
11:00~12:00	Room102	文化体験	ART WORKSHOP: SHODO CALLIGRAPHY
12:30~13:30	中ホール	食事	LUNCH
13:30~14:30	Room102	文化体験	ART WORKSHOP: SHODO CALLIGRAPHY
13:30~15:30	特別会議室	メディアコネクト	MEDIA CONNECT
13:30~15:00	小ホール	分科会	COMMUNITIES FIRST: INVESTING IN INDIGENOUS AND COMMUNITY TOURISM
	Room204	分科会	INNOVATION WORKSHOP: UNLEASHING THE POWER OF HUMAN-CENTERED TOOLS & TECHNOLOGIES
	Room206	ラウンドテーブル	ADVENTURE ACCELERATOR: CYCLING TOURISM
	Room108	分科会	SUSTAINABILITY & CLIMATE ACTION FOR JAPANESE SUPPLIERS
	さっぽろ 大地公園	屋外プログラム	SHORT GUIDED BICYCLE RIDE WITH SPECIALIZED ※
15:30~16:00	ロビー	休憩	NETWORKING BREAK

時 間	会 場	種 別	内 容
16:00~16:45	大ホール B	プレナリー	KEYNOTE: THE LAND OF WA
16:45~17:15	大ホール B	プレナリー	CLOSING REMARKS & SUMMIT HANDOFF
17:30~19:00	大ホール A	パーティ	CLOSING COCKTAIL HOUR
21:00~23:00	Reviera Sapporo	パーティ	SUMMIT AFTER-PARTY

※天候の影響により「EARLY MORNING KARATE」は当初予定のテラスではなく屋内（ROOM102）で実施し、「SHORT GUIDED BICYCLE RIDE WITH SPECIALIZED」は中止となった。

■メディアコネクト

ATWS2023 の登録メディアが参加する事前予約不要の商談会として、午前（10:30~12:30）・午後（13:30~15:30）の2回開催された。参加者は目的のメディアのテーブルを探したうえで、1メディア6分の面談時間で商談を行った。北海道ラウンジ出展者からも旅行会社4社、地域団体7団体が参加し、北海道のPRを行った。



©Hassen/ATTA



©Hassen/ATTA

■プレナリー・各テーマ別分科会・ラウンドテーブル

9月14日に開催されたプレナリー・テーマ別分科会・ラウンドテーブルの詳細は以下のとおり。



- プレナリー
KEYNOTE CAMPFIRE CHAT: ALIGNING BUSINESS WITH SUSTAINABILITY
(09:00~10:00)
ATTA の シャノン・ストーウェル CEO と、世界最大の B corp 認証*旅行社であるイントレピット社の共同設立者兼会長であるダレル・ウェイド氏による、ビジネスと持続可能性の調和をテーマとした対談が行われた。
*B corp 認証：アメリカの非営利団体による環境や社会に配慮した企業に与えられる国際認証制度



- 分科会
COMMUNITIES FIRST: INVESTING IN INDIGENOUS AND COMMUNITY TOURISM (10:30~12:30/13:30~15:30)
ATWS2022 における「ゲストが望む物ではなく、デスティネーションが必要とするものを売れ」という行動の変化を呼びかける基調講演を念頭に、重視する価値を「成長」から「長期的な持続可能性」に移行させつつある先住民ツーリズムや地域の活性化を目指すコミュニティツーリズムの取り組みをテーマとしたパネルディスカッションが行われた。

	<p>●分科会 AMBASSADORS MEETUP (10:30~12:30) ATTA アンバサダーのみを対象とした分科会。ATTA スタッフも同席し、ネットワーキング・情報交換・ディスカッションを行った。</p>
	<p>●分科会 INNOVATION WORKSHOP: UNLEASHING THE POWER OF HUMAN-CENTERED TOOLS & TECHNOLOGIES (10:30~12:30/13:30~15:30) サプライチェーン全体の旅行事業者とサービスプロバイダーが協力し、サプライチェーン全体の旅行会社・サービスプロバイダー向けのワークショップ。テクノロジーそれ自体の活用だけでなく、人間本位の価値観と組み合わせ、人のためのテクノロジーの可能性を引き出しながら、テクノロジーデザインの方法について議論した。</p>
	<p>●ラウンドテーブル ADVENTURE ACCELERATOR: ADVENTURE TRAVEL GUIDE STANDARD (10:30~12:30) ガイドの責任が世界中のデスティネーションにとって重要事項となる中、ガイドの評価の基準となるアドベンチャートラベル・ガイドスタンダード(ATGS)のこれまでとこれからについて、カジュアルなディスカッションがアドベンチャー・アクセレータープログラムとして行われた。</p>
	<p>●ラウンドテーブル ADVENTURE ACCELERATOR: CYCLING TOURISM (13:30~15:00) サイクリングはアジアやオセアニアでも日常生活に取り入れられており、サイクルツーリズムは長年 AT の要素にもなっている。サイクリング・プロバイダーと愛好家が、サイクルツーリズムについて、アドベンチャー・アクセレータープログラムとして意見交換を行った。</p>
	<p>●分科会 SUSTAINABILITY & CLIMATE ACTION FOR JAPANESE SUPPLIERS (13:30~15:00) 日本のサプライヤー向けに、日本のサステナブル・ツーリズムがどのように発展してきたかについて日本の観光事業者がパネルディスカッションを行った。(日本語で実施)</p>
	<p>●プレナリー KEYNOTE: THE LAND OF WA (16:00~16:45) ATWS2023 最後の基調講演として、36 年間西日本を拠点に活動しているベストセラー作家のピコ・アイアー氏が、日本で執筆した日本入門ガイド等 3 冊の本を元に、「和」(harmony)がどのように人々を結びつけ、故郷を元気づけるかについて講演した。</p>
	<p>●プレナリー CLOSING REMARKS & SUMMIT HANDOFF (16:45~17:15) ATWS2023 の閉会にあたり、ATTA が挨拶を行い、また ATTA と実行委員会が今後も北海道・日本の AT の推進に取り組む方針を発表するとともに、2024 年の第 20 回 ATWS の開催地がパナマであると発表した。最後に実行委員会からパナマ代表団への引継ぎ式が行われた。</p>

■クロージングセッション・ハンドオフ

クロージングセッションでは、ATTA のシャノン・ストーウェル CEO と実行委員会の小金澤健司筆頭副会長が揃って登壇し、サミットの成功を祝い、互いに感謝しつつ、ATTA と北海道の関係はこれで終わりではなく、北海道の AT の振興やプロモーションに向けて今後も協力関係は続いていくと挨拶した。

引き続き、ATTA から次回 ATWS2024 の開催地がパナマと発表され、パナマ代表によるプレゼンテーションが実施された。日本からパナマへの引継ぎ式では、秋辺日出男氏（阿寒アイヌ工芸協同組合専務理事）が、自ら製作したフクロウの木彫り像をパナマの代表へ贈り、パナマからは小金澤筆頭副会長へ民芸品が記念の品として手渡されたのち、日本・パナマ双方の代表団が壇上で記念撮影をして閉幕となった。



©Hassen/ATTA

ATTA シャノン・ストーウェル CEO と
小金澤筆頭副会長



©Hassen/ATTA

秋辺氏からパナマ代表に記念品を贈呈

■クロージングカクテルアワー

打ち解けた雰囲気のカクテルパーティーとして、軽食と飲み物を大ホールに用意して開催した。参加者は乾杯したり記念撮影をしたり、会期を振り返りながら思い思いに過ごした。



北海道ラウンジ参加団体

○ツアーオペレーター

株式会社ジャルパック	東武トップツアーズ株式会社
株式会社北海道宝島旅行社	近畿日本ツーリスト株式会社
名鉄観光サービス株式会社	株式会社ノーススタートラベル
一般社団法人大雪カムイミンタラ DMO	阿寒アドベンチャーツーリズム株式会社
ANA X 株式会社	株式会社JTB

○市町村・DMO等

釧路市	知床ねむろ観光連盟
一般社団法人稚内観光協会	富良野美瑛広域観光推進協議会
旭川市	一般社団法人小清水町観光協会 一般社団法人知床しゃり
新ひだか町	帯広市
遠軽町観光振興協議会	後志観光連盟
音更町	東川町

Japan Lounge 参加団体

東北	一般社団法人東北観光振興機構、株式会社庄交コーポレーション、一般社団法人 DEGAM 鶴岡ツーリズムビューロー、新潟県、一般社団法人佐渡観光交流機構、株式会社インアウトバウンド仙台・松島、株式会社みちのりトラベル東北
中央日本	一般社団法人長野県観光機構、奥ジャパン株式会社、株式会社ハイマウントアソシエ、安曇野市、公益社団法人静岡県観光協会、株式会社美ら地球
関西	Adventure Tourism Kyoto、公益財団法人大阪観光局
四国	一般社団法人四国ツーリズム創造機構
瀬戸内	広島アドベンチャーツーリズム協議会
山陰	鳥取県
九州	宮崎県、一般社団法人長崎県観光連盟、一般社団法人平戸観光協会、一般社団法人豊の国千年ロマン観光圏、株式会社 JTB 福岡支店
沖縄	一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー、沖縄県
その他	環境省

ii 北海道・日本のアピール

■ランチ・軽食

9月12日から14日までの3日間、札幌コンベンションセンターでは毎日ランチとコーヒーブレイク等の軽食を提供した。ヴィーガンや食事に配慮が必要な方も楽しめるよう、パートナー企業の協力も得て、工夫しながら、日ごとにコンセプトを決め北海道・日本らしいメニューを提供した。また、ピクトグラムを用いて、アレルギー表示もわかりやすく行った。

○主なランチ・コーヒーブレイクメニュー

	ランチ コンセプト	ランチ	キッチンカー	コーヒーブレイク ・軽食
12日 (火)	基本の日本食	・おにぎり(塩・わかめ・鮭・ツナマヨ) ・若鳥の照り焼き茸ソテー添え ・鯖の塩焼き ・そば ・茄子田楽 ・味噌汁 ・木綿豆腐のサラダ仕立て ・苺大福 ・抹茶・ショコラケーキ	・ソフトクリーム ・メロンパン	・バームクーヘン ・チョコ ・歌舞伎揚げ ・バナナ
13日 (水)	B級グルメ	・おにぎり(ごま塩・昆布・ツナマヨ・鮭) ・焼き鳥(鶏・豚) ・ポークあり焼きそば ・道産大根の大豆ミートそぼろ ・北海道産酒の豆と蓮根仕立て ・温野菜 ・北海道産コーンスープ ・みたらし団子 ・抹茶・ショコラケーキ	・ソフトクリーム ・たこ焼き	(朝食) ・パン 5種 ・ヨーグルト ・バナナ ・どら焼き
14日 (木)	ザ・北海道の食	・太巻き・細巻き ・若鳥のザンギ ・道産鮭のちゃんちゃん焼き ・スープカレー ・大豆ミートのザンギ ・厚揚げのステーキ風 ・5種のサラダ ・味噌汁 ・桜もち ・メロン ・ヴィーガンアイス	・ソフトクリーム ・たい焼き	・おはぎ・きなこ餅 ・メロンパン ・たい焼き ・せんべい ・ヴィーガンアイス
各日共通		・レーズンパン、豆腐パン、バゲット、チーズ (終日提供) ・レモン水、炭酸水、コーヒー、紅茶、緑茶		・クッキー、チョコレート ・グルテンフリードーナツ ・グルテンフリーカステラ



メニュー表示例

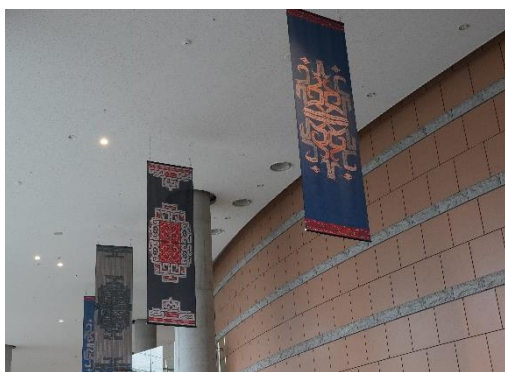


■会場内の装飾

会場内はサステナビリティに配慮したシンプルな装飾としつつ、アイヌ文様のタペストリーや、北海道が貸出を行っている「アイヌ文化トランク」の品々を展示し、参加者がアイヌ文化に触れ、学ぶ機会を創出した。

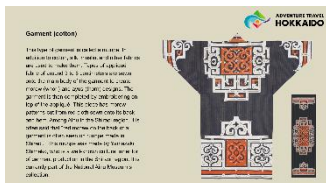
タペストリー

国立アイヌ民族博物館所蔵の衣服の文様をモチーフに3種のタペストリーを制作・展示した。



シンボルタワー

会場内にシンボルタワーとして展示スペースを設け、「アイヌ文化トランク」の衣服・工芸品を展示した。シンボルタワーに設置したモニターでは、アイヌ文化の紹介、タペストリーの文様の説明、DOAの様子を紹介を行った。



モニター説明例

■ミニ講座・パフォーマンス・ミニツアー

実行委員会では、日本や北海道の文化を知ってもらうために、ミニ講座等を企画し運営した。事前申込制としたところ、講座は全て満員となり、キャンセル待ちの参加者もいた。

書道ミニ講座

講師：水間 臥猪

12日 10:00～11:00、13:30～14:30

13日 11:00～12:00

14日 11:00～12:00、13:30～14:30 計5回実施（計41名参加）



水間先生から、墨のすり方、文字の書き方を教わる。
講座の時間以外は、参加者が自由に水書を体験。



廊下に作品を展示

空手

講師：一般社団法人北海道空手道協会代表理事 宮地 政樹

13日 8:00～8:30（15名参加）

14日 8:00～8:30（12名参加）

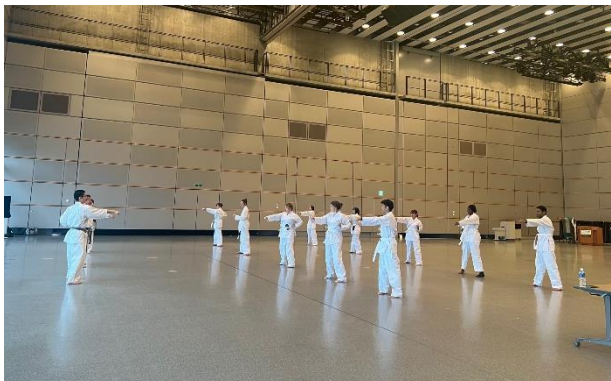
<13日の様子>

参加者は、全員道着に着替え、型や組み手を体験し、最後は板割に挑戦した。



<14日の様子>

雨天のため、屋内の会場で13日と同じ内容を実施。



禅体験

通訳ガイド：大山 幸彦

13日 13:00～15:00 (20名参加)

瑞龍寺座禅道場で、座禅や本堂見学を行ったほか、和尚による講話を拝聴した。



ムックリ演奏体験講座

講師：国立アイヌ民族博物館 八幡 巴絵、(通訳) マーク・ウィンチェスター

13日 15:30～16:30 (19名参加)

講師からムックリについて説明を受けた後、各自練習した。



茶道パフォーマンス

協力：札幌国際プラザ日本文化体験ボランティア

12日・13日・14日 終日（計110名参加）

エントランス内に立礼式の茶道を体験してもらう場を設けた。

12日には橋本みぎわ氏が箏演奏を行った。



橋本みぎわ氏による箏演奏



食事イベント（餅つき実演）

14日 12:45～13:15

餅つきの実演を行い、日本の食文化を伝えた。



札幌シティウォークツアー

通訳ガイド：馬上 千恵

13日 10:00～12:00（10名参加）

時計台、札幌市役所展望回廊、大通公園、二条市場、狸小路など、札幌市内を散策。



自転車ツアー

実施：スペシャライズド・ジャパン合同会社（トップパートナー）

13日 9:00～12:00（10名参加）

札幌コンベンションセンターから札幌恵庭自転車道路を通り、北海道ボールパーク内にあるスペシャライズド・ジャパンの北海道エクスペリエンスセンターまで、往復約40Kmをサイクリング。（12日、14日は雨天のため中止）



北海道神宮参拝

通訳ガイド：馬上 千恵、藤井 雅代

14日 10:30～12:30（12名参加）

バスで北海道神宮に移動し、参拝の仕方の説明を受け参拝、祈祷を受けた。降雨のため、予定していた円山公園散策は中止となった。



iii 会場外における参加者歓迎の取組

■ ウェルカム飲食店

ATWS2023 及びポストサミットアドベンチャー（釧路地区）への参加者を歓迎するため、インバウンド対応に積極的に取組む意向のある飲食事業者を、「ウェルカム飲食店」として登録した。

参加者に対しては「ウェルカム飲食店」の一覧を PR し、ATWS2023 会期中の来店を促すとともに、会期終了後も AT 旅行者の継続的な来店機会の増加に繋げることを目指した。

具体的には、以下の要件を満たす札幌市内及び釧路市内の飲食事業者を公募し、専用ウェブサイトに掲載してアピールを行った。

- ・ 英語のウェブサイトを保有
- ・ メニューの英語化
- ・ 北海道産の食材を使った独自性のある料理・飲み物を提供
- ・ クレジットカード決済対応
- ・ 英語での対応可能又はポータブル翻訳機やアプリを保有

募集の結果、札幌地区で 103 店、釧路地区で 27 店の計 130 店舗が登録した。

周知方法は以下のとおり。

札幌地区

ATWS チェックイン時に、以下のウェルカム飲食店の概要が掲載されたウェブサイトの URL（二次元コード）を掲載したカードを配付。

日本語：<https://www.sapporo.travel/atws-restaurant/>

英語：<https://www.sapporo.travel/en/atws-restaurant/>



釧路地区

ポストサミットアドベンチャー開催当日に、ウェルカム飲食店の概要をリーフレットにて周知したほか、以下のウェブサイトに掲載。

日本語：<https://ja.kushiro-lakeakan.com/adventure-travel-ja/>

英語：<https://en.kushiro-lakeakan.com/adventure-travel-en/>



④会期後に行った取組（ポストサミット・アドベンチャー）

実行委員会独自事業として、本大会後に行うエクスカッションであるポストサミットアドベンチャーを催行した。これは、9月15日～18日の4日間、道内4地域（釧路、十勝、北宗谷、上川）において、自治体や観光団体等の地域の関係者が中心となってコースを立案し、催行した。

ATWS2023に参加した旅行会社・メディアから希望者を募り、1コース8名（4地域計32名）が参加した。

開催までの流れ

令和5年（2023年） 3月	道内4地域において実施計画策定
4月	ATTAを通じ、ATWS2023参加バイヤー・メディアに参加者募集開始 ※当月中に定員に達し募集ストップ。
5月～7月	テストツアー開催、ツアー後行程を精査
9月12日～14日	前日ブリーフィング（札幌コンベンションセンター）
9月15日～18日	本行程開催

（ア）釧路地域

ツアータイトル	Explore the unspoiled nature, abundant wildlife and the heartbeat of earth - Hiking and ainu culture amid fascinating volcanic and wetland scenery
主要地域・内容	阿寒湖温泉（エコミュージアムセンター、雌阿寒岳トレッキング）、弟子屈（川湯ビジターセンター、アトサヌプリトレッキング、釧路川源流カヌー）、釧路（温根内ビジターセンター、湿原散策、岸壁炉ばた、猛禽類医学研究所、和商市場）
宿泊施設	阿寒テラス（2泊）、ANA クラウンプラザホテル釧路
催行事業者	株式会社JTB



釧路川源流カヌー



アトサヌプリトレッキング

(イ) 十勝地域

ツアータイトル	Horses, farms and Ainu culture: A 4-day glimpse into life in Tokachi - Experience Tokachi's rich culture and warm sunshine through cycling
主要地域・内容	帯広（さかい珈琲店帯広本店、HOTEL NUPUKA - 馬車 BAR サプライズ、北の屋台、帯広百年記念館、旧双葉幼稚園にてアイヌ古式舞踊見学、帯広競馬場）、鹿追（神田日勝記念館）、音更（東土狩神社、よつ葉乳業十勝主管工場）
宿泊施設	北海道ホテル（3泊）
催行事業者	株式会社日本旅行北海道



帯広市：馬車BAR



帯広市：旧双葉幼稚園
(帯広カムイトウウポボ保存会との交流)

(ウ) 北宗谷地域

ツアータイトル	Japan's Northernmost National Park. Encounter Magnificent Nature, People, and Life in Harmony with the Bountiful Sea - Four Days in Rishiri, Rebun, and Wakkanai
主要地域・内容	利尻島（絶景ブルーラインサイクリングツアー、昆布加工体験）、礼文島（トレッキング）、稚内（北方記念館、北の防波堤ドーム、宗谷岬ほか市内バスツアー） ※雨天により利尻島の SUP とカヤック、稚内の宗谷丘陵サイクリングは中止・代替案に振替
宿泊施設	利尻富士観光ホテル、花れぶん、サフィールホテル稚内
催行事業者	株式会社北海道宝島旅行社



礼文島：ゴロタ岬



稚内市：宗谷岬

(エ) 上川地域

ツアータイトル	Experience the Blessings of Nature and Life in the Mountains A Hiking and Cycling Exploration of Daisetsuzan
主要地域・内容	上川町（フラテッロ・ディ・ミクニ、大雪山写真ミュージアム、高原沼巡りコース ハイキング）、旭川・東川（デザインセンターでクラフト体験、川村カ子トアイヌ記念館、サイクリング - 忠別ダム、青木農園、高砂酒造）
宿泊施設	ホテル大雪、アートホテル旭川（2泊）
催行事業者	株式会社北海道宝島旅行社



大雪山：高原沼



旭川デザインセンター
(クラフト体験)

(オ) 参加者からの主な声

【釧路】

- ・雌阿寒岳の景色は素晴らしく、おすすめできる山だった
- ・登山のペースが速すぎた（遅すぎた、との声もあり）※参加メディア属性によりペースが異なった
- ・源流の水がすごく綺麗で、誰でも楽しめる（釧路川源流カヌー）

【十勝】

- ・世界でここだけの競馬場。もっと活かすべき（ばんえい競馬場）
- ・距離の近さが良い、彼らの文化をより知りたくなった（アイヌ舞踊）
- ・より生産者の声が聞ける・農場体験できる場があれば良い

【北宗谷】

- ・熊などの危険を感じず自然を楽しめることが素晴らしい（利尻礼文）
- ・昆布の体験は興味深かった。会場の雰囲気も学校のように良い
- ・ベジタリアン向けに、豆腐等の豆料理があると良い（タンパク質）

【上川】

- ・写真家や農家、酒蔵など地域の方との交流を通じストーリーを感じた
- ・地元の農家に訪問できた等、地域と交流できる実感があった
- ・国立公園でのハイキングの時間をもう少し増やしてほしい

⑤開催に際して留意した事項—サステナビリティへの配慮

ATWS の開催に向けて、ATTA においてイベントサステナビリティガイドが定められている。これに則って ATWS2023 を開催するべく、ATTA と実行委員会は事前に必要な事項について調整し、アドベンチャーや会場運営で配慮を行うとともに、参加者に対して協力を求めた。

i アドベンチャー

- ・移動の際やサポートカーにウォーターサーバーを準備し、マイボトルの持参を呼びかけた。
- ・紙素材の弁当箱でランチを提供し、プラスチックの使用を削減した。
- ・行程の一部を自転車や公共交通機関で移動した。
- ・ツアー中は、ガイドの音量や参加者の服装など、野生動物を驚かせない配慮をした。
- ・紙の資料を配付せず、アンケートもオンラインで実施した。

ii 会場運営

- ・簡素な会場・ブースとするため、リユース可能なリース備品を利用した。また、北海道らしさを表現するため、リユース可能なアイヌ文様のタペストリーを作成し使用した。
- ・ステージ装飾では、照明の効果的な使用やリサイクル可能な段ボール等を使用し、廃棄物を削減した。
- ・参加者のネームホルダーは、株式会社カネカの協賛により、生分解性バイオポリマー製のものとした。
- ・運営マニュアルをデジタル化し、印刷物を削減した。
- ・ATTA 及び実行委員会が事前に行った説明会で、ラウンジやマーケットプレイス出展者へ、タブレットや PC による説明を推奨し、印刷物の会場への持込を最小限にとどめた。
- ・参加者へ IC カード (Kitaca) を配布し、公共交通機関での移動を促した。

iii 食事

- ・食事の提供量はメニューにより決定し、フードロスの減少に努めた。ランチのデザートに残りがある場合、可能なものは、コーヒースタンドで提供した。
- ・地産地消を意識し、北海道の食材を重点的に使用したメニュー構成にした。
- ・札幌コンベンションセンター及び大倉山ではウォーターサーバーを設置し、参加者のマイボトル持参を呼びかけた。
- ・食器は陶器やガラス製のものを使用したほか、カトラリーは株式会社カネカから生分解性バイオポリマー製のカトラリーを、株式会社サッポロビールからアルミカップとカップ洗浄機をそれぞれ協賛として受け、使い捨て物品の使用を減らした。



再生段ボールを活用したステージ装飾



生分解性バイオポリマー製カトラリーとその説明

iv オータムフェストにおける取組

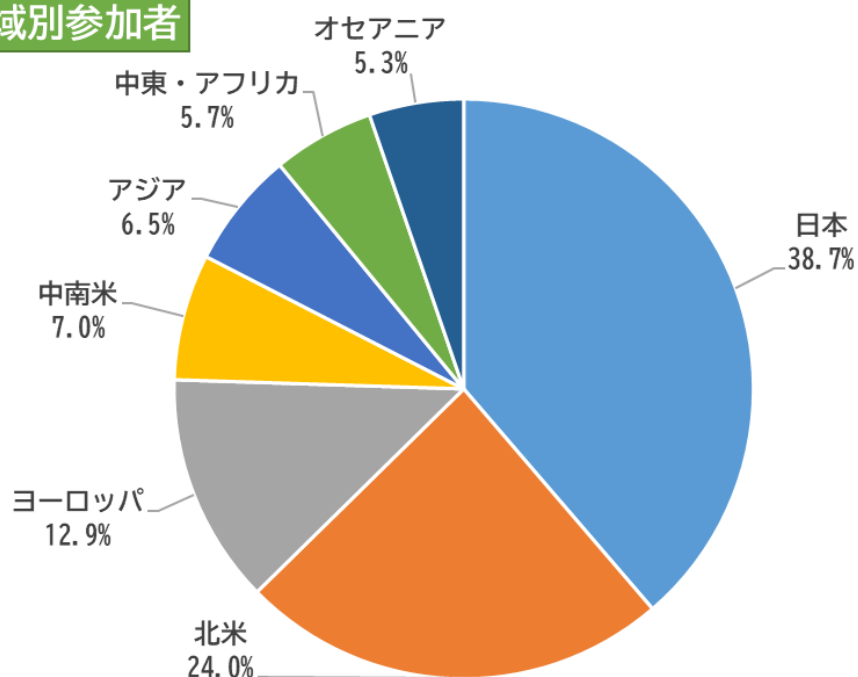
ATWS 開催期間中に大通公園で開催されたさっぽろオータムフェスト（②9月11日（火）の「ウェルカムレセプション」を参照）では、令和5年度（2023年度）から、使い捨てプラスチックの削減のため、会場で利用する食器は紙・木材などの素材か、洗浄し再利用するリターナブル食器に限ることとしたほか、コンポストの導入やカーボンオフセットを行うなど、環境に配慮した取組が行われた。

4. ATWS2023 への評価

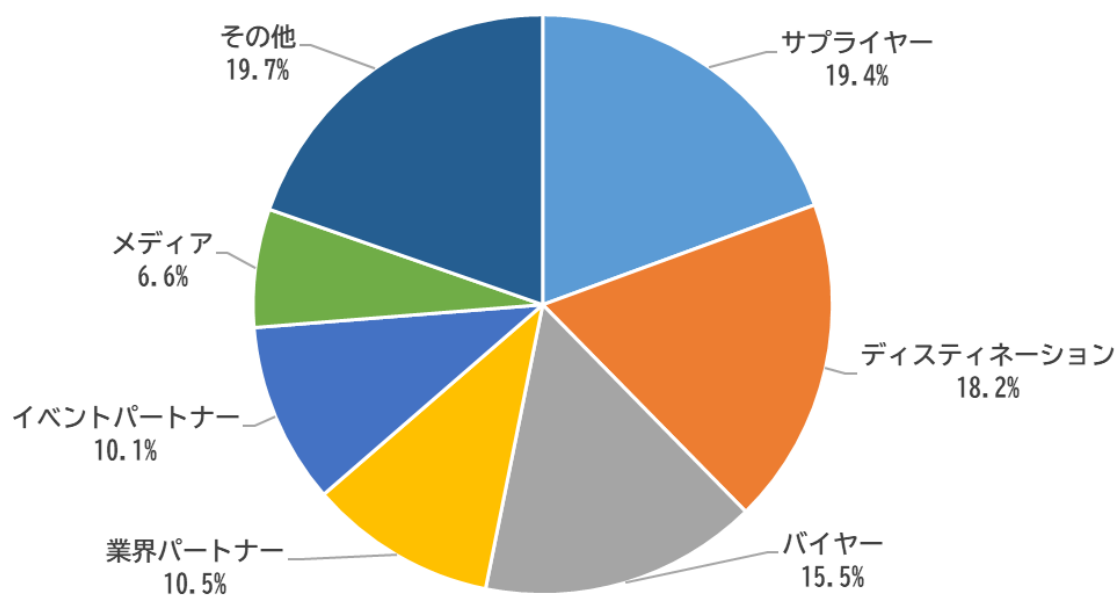
(1) はじめに

ATWS2023 には、64 の国と地域から 773 名が参加した。以下、これらの参加者や大会関係者を対象に実施したアンケートの結果から ATWS2023 の評価を分析する。

地域別参加者



業種別参加者



※ATTA 提供データより

(2) ATTA FINAL REPORT

ATWS2023 閉会后、ATTA は参加者から得たアンケート結果等を集約し、10 月末に「FINAL REPORT」として ATTA のウェブサイト（右二次元コード）上で公開した。

本レポートの冒頭では、ATWS2023 開催に関わった北海道・日本への感謝が示されるとともに、本サミットが ATTA にとって大成功であったこと、本サミットをベースとして ATTA と北海道・日本の協力関係がさらに深まることを期待するコメントが示されている。

本レポートで示された主要指標は次のとおり。



ATTA FINAL REPORT

①主要評価・指標

項目	評価点	備考
全体満足度	4.5	5 点満点
総インプレッション数	850 万回	年間のソーシャルメディア等による AT 関係者への発信数
登録バイヤー・メディア 応募者数	347 名	バイヤー枠：80 名 メディア枠：50 名
PSA 総合評価	4.5	5 点満点
DOA 総合評価	4.0	5 点満点

②参加者の日本への印象等

項目	評価点	備考
今回サミット参加に価値を感じた人の割合	97%	
アドベンチャートラベル目的地としての日本の評価	4.7	5 点満点
日本を顧客や友人に非常に強く推薦する割合	77%	推薦しないとする回答は 3 %のみ
サミット後、日本への好感度が増した参加者の割合	63%	好感度が下がったとする回答は 2 %のみ

③PSA 及び DOA

※各項目は5点満点

項目	評価点	
	PSA	DOA
全体として、PSA は良い経験となった	4.52	4.08
本ツアーで、地域についての知識が増えた	4.64	4.15
このツアーオペレーターを他の人に勧めたい	4.40	3.74
陸上交通サービスは期待通りだった	4.62	4.19
宿泊施設は期待通りだった	4.30	
ガイドは質の高い情報を提供してくれた	4.57	4.00
ガイドの語学力は期待通りだった	4.63	3.98
ツアーの難易度は期待通りだった	4.21	3.71
安全性とリスクの情報の説明を受けた	4.52	4.14
食事の質は期待どおりだった	4.65	4.09
ツアー開始前に、必要な詳細情報を受け取った	4.62	4.21

④北海道の持続可能性への取組

※各項目は5点満点

項目	評価点
気候変動への対応	4.06
多様な研修と雇用の提供	4.53
地元の起業家の支援	4.43
観光客が地域社会を改善する機会	4.12
文化財の保護	4.39
地域の文化への敬意	4.50
繊細な自然環境の保護	4.32
野生動物の保護とアニマルウェルフェア	4.38
エネルギーの節約	4.08
水質の保全	4.12
排水と固形廃棄物の処理	4.58
環境負荷の低い交通手段	4.31

⑤食事

※各項目は5点満点

項目	評価点	備考
ウェルカムレセプション (9月11日)	3.54	札幌テレビ塔
ランチ (9月12日～14日)	4.34	札幌コンベンションセンター
オープニングセレモニー (9月12日)	4.43	大倉山ジャンプ競技場
抹茶デモンストレーション (9月13日)	4.45	札幌コンベンションセンター
コーヒースタンド (9月12日～14日)	4.22	札幌コンベンションセンター

⑥バイヤー向けアンケートによる今後の需要予測

ATTAによるアンケートに回答したバイヤー80社のうち、83%が「今後、北海道を新たな旅のプランに組み込むことを計画している」とした上で、平均3.1件のプランを新たに組み込むと回答している。また、当該バイヤー80社による今後3年間の日本への送客見込みは約2万人^{※1}、これらの旅行者による旅行支出は7,720万ドル^{※2}と推計されている。

※1 2024年3,030人、2025年5,191人、2026年12,481人

※2 1人当たりの旅行支出を平均3,728ドルとして推計



We want to extend our sincere gratitude to all the people and organizations in Hokkaido and around Japan for working with the ATTA to pull together an important and powerful event. It is all the more a sweet success since we were all interrupted for two years by the pandemic. We couldn't have asked for a better partner in Japan, especially knowing how many people and organizations were involved. This event brought the ATTA friends and colleagues, our one-of-a-kind adventure community to experience the nature, the culture, the food and the hospitality of Hokkaido and of Japan while also enjoying and benefiting from ATTA's expertise in organizing events and business opportunities.

The event was a great success for the ATTA and we hope you feel the same for you. We look forward to building another level of collaboration between ATTA, Hokkaido and Japan based on the success.

Arigato!

Best regards,
Shannon, Gabi, Wes, Hannah
and the entire ATTA Team

(3) PSA・DOA 参加者アンケート調査

① アンケート調査のねらい・実施概要

ATWS2023 を活用し、ATWS2023 後の北海道内での AT 定着及びさらなる発展を目的として調査を実施した。

PSA 参加者向け調査
【目的】 実施した PSA ツアーの内容に対する評価から課題を抽出し、改善内容を整理し、商品化のための磨き上げに結びつける 【設問例】 各テーマ別(下記)の満足度調査(5段階評価・自由記載) PSA 全体／スルーガイド／各アクティビティ／各宿泊施設／各食事箇所／サステナブル対応／テーマ・ストーリー性／販売価格／プロモーション意向

DOA 参加者向け調査
【目的】 実施した DOA ツアーの内容に対する評価から課題を抽出し、改善内容を整理し、商品化のための磨き上げに結びつける 【設問例】 各テーマ別(下記)の満足度調査(5段階評価・自由記載) DOA 全体／スルーガイド／各アクティビティ／各食事箇所／サステナブル対応／プロモーション意向

	PSA 参加者アンケート調査	DOA 参加者アンケート調査
期 間	令和 5 年(2023 年) 9 月 5 日(火)～10 日(日)	令和 5 年(2023 年) 9 月 11 日(月)
コース数	15 ※道内コースのみ	31
方 法	WEB アンケート(参加者に二次元コードを提供)	
回答数	95 件	282 件

②調査内容

i PSA 参加者 アンケート設問

調査項目	
設問テーマ	設問内容・回答内容
PSA 全体の満足度	参加した PSA は全体的に満足できるものでしたか？ ●選択回答(とても満足／満足／普通／不満／とても不満)
スルーガイドの満足度	PSA のスルーガイドは満足できるものでしたか？ ●選択回答(とても満足／満足／普通／不満／とても不満) ●自由記入(任意コメント)
アクティビティの満足度 (実施内容別)	アクティビティ(ガイド案内技術含む)は満足できるものでしたか？ ●選択回答(とても満足／満足／普通／不満／とても不満) ●自由記入(任意コメント)
宿泊施設の満足度 (宿泊日別)	宿泊施設は満足できるものでしたか？ ●選択回答(とても満足／満足／普通／不満／とても不満) ●自由記入(任意コメント)
昼食の満足度 (提供日別)	食事箇所(昼食)は満足できるものでしたか？ ●選択回答(とても満足／満足／普通／不満／とても不満) ●自由記入(任意コメント)
夕食の満足度 (提供日別)	食事箇所(夕食)は満足できるものでしたか？ ●選択回答(とても満足／満足／普通／不満／とても不満) ●自由記入(任意コメント)
サステナブル取組への印象	ツアー全体にサステナブルに対する取り組みが感じられましたか？ ●選択回答(とても感じた／感じた／普通／あまり感じない／感じない) ●自由記入(任意コメント)
ツアーのストーリーの理解度	ツアーのテーマやストーリーが理解できましたか？ ●選択回答(とても理解できた／理解した／普通／あまり理解できなかった／理解できない) ●自由記入(任意コメント)
印象に残ったこと	このツアーで一番印象に残ったことをお答えください。 ●自由記入(任意コメント)
今後販売に必要な取組について	今後販売(プロモーション)する上で必要な取組について記入してください。 ●自由記入(任意コメント)

ii DOA 参加者 アンケート設問

調査項目	
設問テーマ	設問内容・回答内容
DOA 全体の満足度	参加した DOA は全体的に満足できるものでしたか？ ●選択回答(とても満足／満足／普通／不満／とても不満)
スルーガイドの満足度	DOA のスルーガイドは満足できるものでしたか？ ●選択回答(とても満足／満足／普通／不満／とても不満) ●自由記入(任意コメント)
アクティビティの満足度	一日を通してアクティビティの印象をお聞かせください。 ●選択回答(とても満足／満足／普通／不満／とても不満) ●自由記入(任意コメント)
昼食の満足度	食事箇所(昼食)は満足できるものでしたか？ ●選択回答(とても満足／満足／普通／不満／とても不満) ●自由記入(任意コメント)
サステナブル取組への印象	ツアー全体にサステナブルに対する取り組みが感じられましたか？ ●選択回答(とても感じた／感じた／普通／あまり感じない／感じない) ●自由記入(任意コメント)
印象に残ったこと	このツアーで一番印象に残ったことをお答えください。 ●自由記入(任意コメント)
販売／プロモーション意向	この DOA を販売またはプロモーションしたいと思いますか？ ●選択回答(とても思う／思う／普通／あまり思わない／思わない) ●自由記入(任意コメント)
適正価格	あなたがこのツアーに有料で参加する場合、適正と思う価格を教えてください。 ●自由記入(任意価格)
今後販売に必要な取組について	今後販売(プロモーション)する上で必要な取組について記入してください。 ●自由記入(任意コメント)
※以下はツアーオペレーター(アウトバウンド)対象	
日本との連携の有無	現在、日本国内において、コミュニケーションがとれるツアーオペレーターはいますか？ ●選択回答(いる／いない)
連携先の数 (前問で「いる」回答者のみ)	「いる」と回答した方、どの地域に何社いますか？ ●自由記入(任意コメント)

今後探す意向 (前問で「いる」回答者のみ)	「いない」と回答した方、今後日本のツアーオペレーターを探したいと思うか？ ●選択回答(思う／思わない／まだ考えていない)
ツアーオペレーターに求めること	ツアーオペレーターに求めることは何ですか？ ●3つまでの複数回答 ①新しいツアーの企画 ②新ネタ提案力 ③手配力 ④現地サポート ⑤英語力 ⑥レスポンスの速さ ⑦全国の商品を取り扱っている ⑧その他(理由:自由記入)

③結果概要

テーマ	評価(各コースの回答結果のまとめ)
ツアー全体	北海道の自然・アクティビティの体験、スルーガイドの対応、提供された食事や宿泊(PSA)、テーマ、ストーリーに対して概ね満足度の高い評価を得た。
スルーガイド	英語力、知識の豊富さ、フレンドリーな対応で計画性のあるツアーを実施した。多くは、丁寧なガイディングが好評だったが、参加者からは地域の歴史や文化の背景など、さらに踏み込んだ説明や解説も求められている。
アクティビティ	体験するアクティビティに対しては全体的に満足度の高い結果だったが、アクティビティ体験までの準備、体験内容と地域の関わり、ツアーのストーリーとの整合性など、アクティビティ活動を取りまく背景説明の充実も問われた。
宿泊 ※PSAのみ	各地域の状況を踏まえた施設を選択し、概ね高い評価を得た。
食事(昼食・夕食) ※DOAは昼食のみ	宿泊施設が提供する料理、訪問先地域の居酒屋、地域オリジナルの弁当、各ツアーで趣向を凝らした食事等、全体的に好評だった。
サステナブル	他の設問と比較して、概ね低評価な回答となった。プラスチックを使用した包装、ペットボトルの飲料や、アイドリング等の車両の使い方など、対応方法については改善の余地がある。今後に向け、サステナビリティへの対応については取組ができていない対応もしっかりと説明することを含め、AT個客へのスタンダードな対応として推進していくことが求められる。
テーマ・ストーリー	一定程度の理解を示したが、評価としては十分とは言えなかった。ツアーで何を訴求するのか、歴史、文化、地域の人々の営みなどツアーを多面的に捉え、どれだけストーリーに奥行きを持たせることができるかが、これからの磨き上げが期待される。

(4) ラウンジ来訪者アンケート調査

① アンケート調査のねらい・実施概要

ATWS2023 において国内 AT コンテンツ情報を発信する機会を利用し、参加者の興味関心、日本のアクティビティ等への評価、今後に向けた課題、今後の取組についての意見等を抽出し、今後の AT 取組を発展させていくことを目的として、以下のとおり調査を実施した。

	ラウンジ来訪者アンケート調査
期 間	令和 5 年（2023 年）9 月 12 日（火）～14 日（木）
コース数	Japan Lounge ブース内
方 法	WEB アンケート（参加者に二次元コードを提供）
回答数	225 件

② 調査内容

調査項目	
設問テーマ	設問内容・回答内容
参加者属性	あなたの業種を教えてください。 ●選択回答(バイヤー、メディア、サプライヤー、デスティネーション等)
	どちらの国・地域から参加しましたか？ ●選択回答
興味ある分野	日本でのアドベンチャートラベルに対して、あなたの興味に最も近いものはどれですか？(複数回答) ●選択回答(ハイキング&ウォーキング/ネイチャーツアー/地域の人々との交流/伝統文化体験等、選択肢 28 項目)
日本のアクティビティへの印象・評価	日本のアクティビティにはどんな印象を持ちましたか？どのように評価しますか？/前問の理由を教えてください。 ●選択回答(大変良かった/良かった/普通/悪かった/大変悪かった) ●自由記入(評価の理由:任意コメント)
日本への期待	日本でのアドベンチャートラベルのテーマやストーリーとして何を期待しますか？(複数回答 3 つまで) ●選択回答(特有の文化、素晴らしい景色、国立公園、地形の成り立ち、野生動物、火山、その他(任意コメント))
	日本でのアドベンチャートラベルでは、どのような食事を期待しますか？ ●自由記入(任意コメント)

調査項目	
設問テーマ	設問内容・回答内容
日本における商品(コース)の課題	<p>日本におけるアドベンチャートラベル商品(コース)の課題はなんですか？(複数回答 3 つまで)</p> <p>●選択回答(ガイドの英語レベルが低い／距離が遠い／情報が不足している／価格が高い／商品が不足している／課題はない／災害の懸念がある／その他(任意コメント))</p>
必要なサポート	<p>アドベンチャートラベルで日本を訪れる観光客を増やすためには、どのようなサポートが重要だと思いますか？(複数回答 3 つまで)</p> <p>●選択回答(FAMトリップ／ツアーオペレーターの紹介／一般観光情報の提供／社員研修／宿泊施設や移動手段の情報提供／共同広告や経費のサポート／セミナーや商談のオーガナイズ／サポート不要／その他(任意コメント))</p>
Japan Lounge で印象に残った・興味を持った地域	<p>Japan Lounge を訪れて、印象に残った地域、興味を持った地域はどこですか？(複数回答)</p> <p>●選択回答(北海道／東北^①(青森・岩手・宮城・福島)／東北^②(新潟・山形)／中日本^①(長野)／中日本^②(静岡・岐阜・愛知)／関西(京都・大阪)／瀬戸内(広島)／山陰(鳥取)／四国(愛媛・香川・高知・徳島)／九州(福岡・長崎・大分・熊本・宮崎・鹿児島)／国立公園／該当なし)</p>
関わってみたい地域	<p>今後、日本でのアドベンチャートラベルで関わってみたい地域はどこですか？(複数回答)</p> <p>●選択回答(北海道／東北／関東(東京・東京近郊)／中日本／関西／瀬戸内／山陰／四国／九州／沖縄／該当なし)</p>
印象に残ったツアーオペレーター	<p>Japan Lounge を訪問して、印象に残った、または興味を持ったツアーオペレーターを教えてください。</p> <p>●自由記入(任意コメント)</p>
Japan Lounge での成果	<p>Japan Lounge でどのような成果が得られましたか。当てはまるものをお選びください。(複数回答)</p> <p>●選択回答(日本のデスティネーションを新しく知ることができた／日本のデスティネーションへの理解を深めることができた／日本とのビジネスの可能性が高まった／日本のツアーオペレーターと具体的な商談ができた／日本のデスティネーションと具体的な商談ができた／その他(任意コメント))</p>

調査項目	
設問テーマ	設問内容・回答内容
Japan Lounge の満足度	<p>Japan Lounge の総合的な満足度はいかがですか？</p> <p>●選択回答(とても満足／やや満足／ふつう／不満／とても不満)</p> <p>●自由記入(理由について任意コメント)</p>
今後の取組や情報提供等へのご意見ご感想	<p>Japan Lounge の取組や情報提供、でこういうものがあるとよかったと思うことはありましたか。その他 Japan Lounge に対するご意見やご感想などありましたらお聞かせください。</p> <p>●自由記入(任意コメント)</p>

③結果概要

テーマ	回答概要
参加者属性	「バイヤー：ツアーオペレーター(アウトバウンド)、DMC」が全体の 21.3%を占めた。次いで「デスティネーション(DMO 等)」(19.6%)、「サプライヤー：ツアーオペレーター(インバウンド)、DMC」(18.2%)だった。参加国・地域は、アメリカ(49 名)、日本(33 名)、パナマ・イギリス(各 12 名)の順となった。
興味ある分野	「ハイキング＆ウォーキング」が最も多く、全体の 61.8%が回答した。次いで、「ネイチャーツアー」(55.1%)、「地域の人々との交流」(49.3%)、「伝統文化体験」(46.7%)の順となった。
日本のアクティビティへの印象・評価	「大変良かった」への回答が最も多く、「良かった」の回答とあわせて全体の 96.9%を占めた。コメントにおいても、日本の文化の独自性やフレンドリーさ、食事などに高い評価が得られている。
日本への期待	「特有の文化」に全体の 85.8%が回答し、突出した結果となった。次いで、「素晴らしい景色」(31.6%)、「国立公園」(29.8%)、「地形の成り立ち」(28.4%)となった。食事については、日本ならではの伝統料理・郷土料理を期待するコメントが多かった。
日本における商品(コース)の課題	「ガイドの英語レベルが低い」(46.7%)、「距離が遠い」(40.0%)、「情報が不足している」(32.9%)の順となった。
必要なサポート	「FAMトリップ」(53.8%)が最も多く、「ツアーオペレーターの紹介」(42.2%)、「一般観光情報の提供」(29.3%)の順となった。
Japan Lounge で印象に残った・興味を持った地域	「北海道」に対して全体の 74.2%が回答し、他地域を圧倒する結果となった。次いで「沖縄」(44.4%)、「国立公園」(36.0%)の順となった。

関わってみたい地域	「北海道」(65.8%)、「沖縄」(60.9%)が突出する結果となった。
印象に残ったツアーオペレーター	(順不同、敬称略)Adventure Hokkaido、コドー合同会社、東武トップツアーズ、沖縄アドベンチャートラベル、日本旅行、沖縄観光コンベンションビューロー、阿寒アドベンチャーツーリズム株式会社、奥ジャパン、北海道宝島旅行社、四国ツアーズ、JTB
Japan Lounge での成果	「日本のデスティネーションを新しく知ることができた」が最も多く、83.6%が回答した。商談については、「日本のツアーオペレーターとの具体的な商談ができた」(12.4%)、「日本のデスティネーションと具体的な商談ができた」(12.0%)という結果だった。

(5) ラウンジ出展者アンケート調査

①調査のねらい・概要

ATWS2023 を活用し、出展した事業者や地域団体から参加結果や感想、AT に取り組む際に感じている課題等を抽出することで、ATWS2023 後の北海道内におけるさらなる AT の推進を目的として、以下のとおり調査を実施した。

期 間	令和 5 年(2023 年)9 月 15 日(金)～10 月 6 日(金)
方 法	アンケート票に記入形式
回答数	ツアーオペレーター10 社/デスティネーション 12 団体

②出展ツアーオペレーター向け調査

i 調査対象 (出展ツアーオペレーター)

株式会社ジャルパック	東武トップツアーズ株式会社
株式会社北海道宝島旅行社	近畿日本ツーリスト株式会社
名鉄観光サービス株式会社	株式会社ノーススタートラベル
一般社団法人大雪カムイミンタラ DMO	阿寒アドベンチャーツーリズム株式会社
ANA X 株式会社	株式会社JTB

※順不同、敬称略

ii 調査内容

調査項目	
設問テーマ	設問内容・回答内容
参加者属性	ATWS の参加は何回目ですか？ ●選択回答(初めて/2回目/3回目以上/5回目以上)
	ATWS で参加した内容をお答えください。(複数回答) ●選択回答(ネットワーキング/マーケットプレイス/メディアコネクト/基調講演・分科会/PSA・DOA)
参加した感想	ネットワーキングに参加した感想をお答えください。(※ラウンジ外活動) マーケットプレイスに参加した感想をお答えください。 メディアコネクトに参加した感想をお答えください。 基調講演・分科会に参加した感想をお答えください。

	<p>PSA に参加した感想をお答えください。</p> <p>DOA に参加した感想をお答えください。</p> <p>●上記各項目において選択回答のほか、任意コメント記入欄を設置 (大変満足／満足／想定通り／やや不満／不満／参加していない)</p>
PSA	<p>PSA の主催の有無</p> <p>●選択回答(主催した／主催していない)</p> <p>主催した PSA を通じて、次のビジネスにつながる効果はありましたか？</p> <p>●選択回答(大変効果があった／効果があった／あまり効果がなかった／効果がなかった)</p> <p>PSA 参加者に対して、Japan Lounge 内のツアーオペレーターデスクにて、更なる情報提供や商談を進めることができた人数を教えてください。</p> <p>●選択回答(5 名以上／3～4 名／1～2 名／なし)</p>
DOA	<p>DOA の主催の有無</p> <p>●選択回答(主催した／主催していない)</p> <p>主催した DOA を通じて、次のビジネスにつながる効果はありましたか？</p> <p>●選択回答(大変効果があった／効果があった／あまり効果がなかった／効果がなかった)</p> <p>DOA 参加者に対して、Japan Lounge 内のツアーオペレーターデスクにて、更なる情報提供や商談を進めることができた人数を教えてください。</p> <p>●選択回答(5 名以上／3～4 名／1～2 名／なし)</p>
Japan Lounge の活用	<p>Japan Lounge 内のツアーオペレーターデスクの活用についてお尋ねします。</p> <p>●選択回答(上手に活用できた／活用できた／想定通り／あまり活用できなかった／活用できなかった)</p> <p>Japan Lounge では何人(社)の方とコミュニケーションが取れましたか？</p> <p>●選択回答(15 名以下／16～29 名／30 名～49 名／50 名以上)</p> <p>印象に残った訪問者を5社お答えください。(自由記述)</p> <p>印象に残った訪問者との商談状況を教えてください。</p> <p>●選択回答(具体的な取引が発生する見込みである／具体的な話が進む見込みである／具体的な話を進めるまで至らなかったが取引の可能性はある／今後の取引の見込みは低い)</p> <p>ツアーオペレーターデスクで参考となった他のオペレーター名を教えてください。(自由記述)</p>
今後に向けて	<p>ATWS 後、皆様の企業でアドベンチャートラベルをどのように推進しようと思いますか？</p> <p>●選択回答(今まで以上に活動したい／今まで通りの活動でいい／地域事情もありあまり活動できない)</p>

課題等	<p>アドベンチャートラベルを推進していくにあたり課題となっていることは何ですか？(3つ選択)</p> <p>●選択回答(地域 DMO・観光協会との連携／手配・オペレーション／ガイド人材不足／コンテンツ開発／海外営業／人材不足／組織体制／投資資金／その他)</p> <p>アドベンチャートラベルを推進するにあたり必要と思われることについて教えてください。(自由記入)</p>
-----	---

iii 結果概要

テーマ	回答概要
参加者属性	参加回数は「初めて」が6社と、最も多かった。参加内容は「ネットワーキング」と「マーケットプレイス」への参加がともに8社と、最も多かった。
参加した感想	ネットワーキングについては「想定通り」が半数、マーケットプレイスは「大変満足」「満足」をあわせて 40.0%で、「想定通り」も 40%を占めた。メディアコネクト・基調講演・分科会は 60.0%が参加していないと回答、PSA も 90.0%、DOA も 60.0%は参加していない。
PSA	主催企業の8割から「大変効果があった」「効果があった」と回答があった一方で、参加者に対する Japan Lounge での商談人数は、「5名以上」は1社にとどまった。
DOA	主催企業の過半数から「大変効果があった」「効果があった」と回答があった。参加者に対する Japan Lounge での商談人数は「3～4名」が1社、「1～2名」が4社あった。
Japan Lounge の活用	「あまり活用できなかった」が過半数を、コミュニケーションを取った数は、15 名(社)以下が大半を占めた。訪問者との商談状況については、訪問者 5 社全体で見ると、「具体的な話を進めるまで至らなかったが取引の可能性はある」が 48.0%、「今後の取引の見込みは低い」が 24.0%を占めた。
今後に向けて	AT への取組について、「今まで以上に活動したい」が4社、「今までどおりの活動でいい」が4社となった。
課題等	1 番目の課題では「ガイド人材不足」が、2 番目の課題は「手配・オペレーション」、「ガイド人材不足」が最も多かった。課題全体では「ガイド人材不足」が 28.6%で最も多く、次いで「手配・オペレーション」が 17.9%だった。

③出展デスティネーション向け調査

i 調査対象（出展デスティネーション）

釧路市	知床ねむろ観光連盟
一般社団法人稚内観光協会	富良野美瑛広域観光推進協議会
旭川市	一般社団法人小清水町観光協会 一般社団法人知床しゃり
新ひだか町	帯広市
遠軽町観光振興協議会	後志観光連盟
音更町	東川町

※順不同、敬称略

ii 出展デスティネーション向け調査内容

調査項目	
設問テーマ	設問内容・回答内容
参加者属性	ATWS の参加は何回目ですか？ ●選択回答(初めて／2回目／3回目以上／5回目以上)
	ATWS で参加した内容をお答えください。(複数回答) ●選択回答(ネットワーキング／マーケットプレイス／メディアコネクト／基調講演・分科会／PSA・DOA)
参加した感想	ネットワーキングに参加した感想をお答えください。(※ラウンジ外活動) マーケットプレイスに参加した感想をお答えください。 メディアコネクトに参加した感想をお答えください。 基調講演・分科会に参加した感想をお答えください。 PSA に参加した感想をお答えください。 DOA に参加した感想をお答えください。 ●上記各項目において選択回答のほか、任意コメント記入欄を設置 (大変満足／満足／想定通り／やや不満／不満／参加していない)
Japan Lounge の活用	Japan Lounge 内のツアーオペレーターデスクの活用についてお尋ねします。 ●選択回答(上手に活用できた／活用できた／想定通り／あまり活用できなかった／活用できなかった) Japan Lounge では何人(社)の方とコミュニケーションが取れましたか？ ●選択回答(15 名以下／16～29 名／30 名～49 名／50 名以上)

	<p>印象に残った訪問者を5社お答えください。(自由記述)</p> <p>印象に残った訪問者と今後どのような活動を行いますか？</p> <p>●選択回答(ダイレクトコンタクトで商品化を検討／ツアーオペレーターと連携した商品化を検討／情報収集継続／こちらから連絡はしない)</p> <p>ラウンジ内で参考になるディスティネーションデスクはありましたか？</p> <p>●選択回答(大いにある／多少ある／あまりない／まったくない)</p> <p>参考となった他のディスティネーションデスクがあればお答えください。(任意記述)</p>
今後に向けて	<p>ATWS 後、皆様の企業でアドベンチャートラベルをどのように推進しようと思いますか？</p> <p>●選択回答(今まで以上に活動したい／今まで通りの活動でいい／地域事情もありあまり活動できない)</p>
ツアーオペレーターとの連携	<p>皆様のディスティネーションと連携しているツアーオペレーターについて教えてください。</p> <p>●選択回答(すでに連携している／連携に向けてコンタクトをとっている／わからない)</p> <p>すでに連携しているもしくは連携に向けてコンタクトをとっていると答えた方は社名をお答えください。(自由記述)</p>
課題等	<p>アドベンチャートラベルを推進していくにあたり課題となっていることは何ですか？(3つ選択)</p> <p>●選択回答(AT 理解不足／地域一体感の醸成／ツアーオペレーター不足／コンテンツ開発／ガイド人材不足／資金(予算)／その他)</p> <p>アドベンチャートラベルを推進するにあたり必要と思われることについて教えてください。(自由記入)</p>

iii 結果概要

テーマ	回答概要
参加者属性	1団体を除き初めての ATWS 参加となった。 「ネットワーキング」8団体、「メディアコネクト」、「基調講演・分科会」、「PSA・DOA」に、それぞれ7団体が参加した。
参加した感想	ネットワーキングについては「大変満足」1団体、「満足」「想定通り」が各3団体、「やや不満」1団体。メディアコネクトは「大変満足」1団体、「満足」2団体、「想定通り」3団体、「やや不満」1団体。基調講演・分科会は「満足」、「想定通り」とともに4団体となった。 PSA は2団体のみの参加（「大変満足」「想定通り」各1団体）、DOA は7団体参加（「大変満足」「満足」各3団体、「想定通り」1団体）した。
Japan Lounge の活用	「上手に活用できた」1団体、「活用できた」2団体のほか、割り当て時間の短さ・準備期間の短さ等から「想定通り」「あまり活用できなかった」も各3団体となった。ラウンジでの面談数は「16～29 名」「15 名以下」と回答があわせて過半数を占めるとともに、各訪問者に対し今後行う取組としては、「情報収集継続」の回答が7割以上となった。
今後に向けて	AT への取組については、「今まで以上に活動したい」とする回答が大多数（11 団体）を占めた。
ツアーオペレーターとの連携	「すでに連携している」と回答した団体が半数となっているが、「わからない」との回答も4団体からあった。
課題等	1 番目の課題では「ツアーオペレーター不足」が、2 番目の課題は「ガイド人材不足」、3 番目の課題では「コンテンツ開発」が最も多い結果となった。自由意見では、広域連携（北海道・日本全域での連携）が必要とする意見もあった。

5. ATWS2023 開催に際しての取組・得た協力

(1) 地域団体の参加—地域参加メニュー

ATWS2023 の開催効果を全道各地に波及させ、オール北海道で AT を推進し、本道観光の高付加価値化に繋げていくため、道内市町村・観光協会等の地域団体あてに地域参加メニュー（3 コース）を提示し参加を募集した。

各コースの概要は以下のとおり。

募集期間	コース① …… 令和4年(2022年)4月～6月
	コース②・③ … 令和4年(2022年)8月～12月

コース	主な受益内容	負担額
コース① (Post-SA コース)	<p>コース②に加えて下記の内容</p> <p>【令和5年度（2023年度）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ATWS2023 本大会後(9/15～9/18)に、バイヤー・メディア等を地域に招聘し「ポストサミットアドベンチャー事業」を実施 ▶ ATWS2023 本大会参加 ID 付与(1 団体あたり 1 ID) ※別途、参加人数分の ATWS2023 参加 ID が必要 (希望する団体には下記の内容も実施) ▶ 実行委員会への参加(事務局への参加も可) ▶ ATWS2022(ルガーノ・スイス)の視察団に参加(別途実費必要) 	11,000 千円
コース② (会場 PR コース)	<p>コース③に加えて下記の内容</p> <p>【令和5年度（2023年度）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ATWS2023 メイン会場である札幌コンベンションセンター内に設置する「北海道ラウンジ」における PR ※別途、参加人数分の ATWS2023 参加 ID が必要 ▶ ATWS2023 メイン会場内における映像による PR ※映像(動画・静止画等)の PR 素材は各団体で用意が必要 	300 千円
コース③ (ウェブサイト掲載コース)	<p>【令和4年度（2022年度）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ アドベンチャートラベル北海道ウェブサイト(ATWS2023 参加バイヤー・メディア向けページ)に、自治体の紹介内容掲載 (希望する団体には下記の内容も実施) ▶ AT カウンセリングの実施(地域課題の掘り起こし・助言等) ▶ AT セミナーの実施(自治体・観光協会等向けのセミナー) <p>【令和5年度（2023年度）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 開催結果、アンケート等のフィードバック 	100 千円

■参加団体

地域参加メニュー【コース①】「ポストサミットアドベンチャー招聘コース」の4団体をはじめ、全道各地の合計 37 団体が参加した。

コース	団体名
コース①	釧路市、帯広市、稚内市、旭川市 【計 4 団体(実行委員会加入順)】
コース②	後志観光連盟、新ひだか町、富良野美瑛広域観光推進協議会、東川町、小清水町・(一社)小清水町観光協会、遠軽町観光振興協議会、音更町、知床ねむろ観光連盟 【計 8 団体(振興局順)】
コース③	三笠ジオパーク推進協議会、(一社)たきかわ観光協会、千歳市、新篠津村観光協会、(一社)小樽観光協会、(一社)黒松内町観光協会、積丹町、壮瞥町、(一社)洞爺湖温泉観光協会、函館市、鹿部温泉観光協会、(一社)北海道江差観光みらい機構、奥尻町、道北観光連盟、利尻富士町、北見市、網走市・(一社)網走市観光協会、美幌町、(特非)津別観光協会、(一社)知床しゃり、大空町、鹿追町、足寄町、厚岸霧多布昆布森 国定公園連絡協議会、弟子屈町 【計 25 団体(振興局順)】

■取組内容

i ポストサミットアドベンチャー事業

実行委員会の独自事業として、ATWS2023 本大会後の 4 日間（9 月 15 日～18 日）、道内 4 地域（釧路、十勝、北宗谷、上川）において、ATWS2023 に参加した旅行会社・メディアを招聘し体験ツアーを実施した。
（詳細は 54 ページ参照）



Post Summit Adventure in Hokkaido

ii 北海道ラウンジにおける PR 活動

ATWS2023 メイン会場である札幌コンベンションセンター内に実行委員会が設置した「北海道ラウンジ」に地域参加メニュー【コース①・②】に参加の計 12 団体が出展し各地域の PR 活動を実施した。
（詳細は 45 ページ参照）



iii AT セミナーの開催（希望団体のみ）

地域参加メニューに参加いただいた道内市町村・観光協会等向けに「AT セミナー」を開催し、訪日インバウンド再開後における AT の取組や AT の基礎知識・AT ツアー具体例の紹介など、道内各地域の AT の認知度や理解度の向上に取り組んだ。

開催日時	令和 5 年(2023 年) 4 月 20 日（木） 13:30～15:30
開催方式	オンライン(Zoom)開催
参加者数	第 1 部 82 名、第 2 部 37 名

○プログラム

区 分		内 容	
第 1 部	講演①	題 目	訪日インバウンド再開後における AT の取組について
		講 師	(株)JTB グローバルマーケティング&トラベル 訪日ソリューション営業部 シニアプロデューサー 石山 直人 氏
	講演②	題 目	AT 基礎知識・AT ツアー具体例の紹介について
		講 師	(公社)北海道観光振興機構地域支援本部 AT 推進部 担当部長 柴田 佳郎 氏
第 2 部	説 明	題 目	ATWS2023 参加 ID 及び北海道ラウンジでの PR について
		説明員	実行委員会事務局コンベンション部

iv AT カウンセリングの実施（希望団体のみ）

地域参加メニューに参加いただいた道内市町村・観光協会等向けに「AT カウンセリング」を実施した。事前に記載いただいたカウンセリングシートに基づき、AT に係るコンテンツ開発や商品造成、ガイド人材育成等の道内各地域が抱える課題の現状を把握し、的確な助言等を行った。

実施時期	令和 5 年(2023 年) 1 月下旬～3 月上旬、7 月下旬
所要時間	1 団体あたり 30 分～1 時間程度
実施方式	オンライン(Zoom)により実施
実施団体	23 団体
カウンセラー	(公社)北海道観光振興機構地域支援本部 AT 推進部 統括部長及び担当部長 北海道経済部観光局観光振興課 主幹(AT 企画)及び主査(AT 企画)

(2) 企業・団体からの協賛（スポンサー）・協力

① パートナー企業の募集

ATWS2023 の開催に際して、実行委員会の取組に対し、企業・団体から、「パートナー企業」として協賛金や物品・役務・広報による支援・協力を受けた。

募集期間 令和4年(2022年)11月～令和5年(2023年)8月



トップパートナー【協賛金額 100 万円以上】

企業・団体名（五十音順）	協賛内容
株式会社A I R D O	<p>物品提供：ほたてスープ粉末(1,950 杯分)</p> <p>広報協力：機内誌『rapora』8月号見開き1ページ</p>
株式会社カネカ	<p>物品提供：カネカ生分解性バイオポリマー『Green Planet®』製カトラリー(1,500 セット)及びネームホルダー(1,200 枚)、ヨーグルト『わたしのチカラ® Q10 ヨーグルト』(104 個)</p>
株式会社コンサドーレ	<p>広報協力：ホームゲーム6試合における ATWS2023 イベント PR</p>
札幌コンベンションセンター	<p>広報協力：札幌コンベンションセンターのエントランスホールにディスプレイ(50 インチ、4 台)を設置して、ATWS2023 の PR 動画を放映 [2023/7/14-9/14]</p>
サッポロビール株式会社北海道本部	<p>物品提供：オープニングセレモニーにおける飲料(ビール、ソフトドリンク及びアルミカップ 800 人分)提供及び器材(ビールサーバー等)の貸与</p>

トップパートナー【協賛金額 100 万円以上】

企業・団体名（五十音順）	協賛内容
シーダースコミュニケーションズ株式会社	<u>役務提供</u> ：ATWS2023 ウェルカム飲食店及びイベント関連箇所のデジタルマップ『Gnome®』制作
株式会社 JTB	<u>金銭提供</u>
スペシャライズド・ジャパン合同会社	<u>役務提供</u> ：ATWS2023 会場での自社スポーツバイクによるガイドツアー、試乗会の開催
全日本空輸株式会社	<u>物品提供・役務提供</u> ：国際線航空券の提供(エコノミークラス往復2名分)、ネットワーキングブレイクにおける客室乗務員の派遣(2名)、紙コップ(2,160個)及び飴(10kg)の提供
ターナージャパン株式会社	<u>広報協力</u> ：北海道の AT 紹介番組(30分×2本)の『旅チャンネル』での放送[2023/9/2 及び 9/9] 及び YouTube の公式チャンネルでの配信[9/2-9/30]
大地みらい信用金庫	<u>物品提供</u> ：オープニングセレモニーにおける道東エリアの食材(玉冷ホタテ等)提供 <u>広報協力</u> ：店舗設置デジタルサイネージ、ATM、ウェブサイトを活用した PR[2023/8/15-9/14]
鶴雅ホールディングス株式会社	<u>役務提供</u> ：実行委員会事務局へのアドバイザー派遣、ATWS2023 メイン MC 出演料
Tastemade Japan 株式会社	<u>広報協力</u> ：ATWS2023 紹介映像の Tastemade Japan SNS アカウントでの配信[2023/8/9 及び 9/4]
トラベルボイス株式会社	<u>広報協力</u> ：広告枠(バナー掲載、イベント告知の記事広告、スポンサー枠へのロゴ掲載、専用ページの開設)の提供及び、ATWS2023 特集記事の掲載[2023 年 6 月～12 月]
NIKI Hills Winery	<u>物品提供・役務提供</u> ：オープニングセレモニーにおけるワイン『Hatsuyuki』(100本)提供、ソムリエ(2名)及びヘルプスタッフ(1名)派遣
日本航空株式会社	<u>物品提供・役務提供</u> ：ネットワーキングブレイクにおけるコーヒー(紙コップ付き)提供及びスタッフ派遣 <u>広報協力</u> ：国内線機内誌『SKYWARD』における AT ガイド紹介記事掲載(4ページ)及び ATWS2023 開催広告掲載(1ページ)、国際線ビデオプログラムにおける北海道の AT 紹介番組の放映(30～60分)[2023 年 8 月]

トップパートナー【協賛金額 100 万円以上】

企業・団体名（五十音順）	協賛内容
東日本高速道路株式会社	広報協力 ：フリーペーパー『Highway Walker』（東日本版 52 万部・北海道版 3.5 万部、計 55.5 万部発行）中面 1 ページに ATWS2023 イベント PR 広告を掲載 [2023 年 9 月号]
株式会社碧雲堂ホテル&リゾート	物品提供・役務提供 ：『ポルトムインターナショナル北海道』最上階ジュニアスイート 1 泊朝食付き 5 室、茶室体験 5 名 [2023/9/6]
株式会社北洋銀行	物品提供・役務提供 ：ATWS2023 イベントチェックイン会場及び ATWS2023 関連セミナー会場として『大通ビッセ』の提供 [2023/7/5、9/10 及び 12/20] 広報協力 ：主催観光商談会での首都圏の旅行会社・メディア等に対する北海道の AT 商材の提供 [8/31]、『大通ビッセ』での北海道の AT に関する情報発信（動画放映、写真パネル展の実施） [9/4-9/15]
北海道エアポート株式会社	物品提供・役務提供 ：臨時インフォメーションデスク設置スペースの貸与及び空港内案内所における対応強化 広報協力 ：空港内での ATWS2023 参加者を歓迎するポスター・バナー等の掲出、AT の機運醸成イベントの実施 [2023/9/8-20]
株式会社北海道銀行	広報協力 ：各店舗に設置のデジタルサイネージ『メディア Do』を活用した PR、道内外に設置の ATM を活用した PR [2023/6/14-9/14] 役務提供 ：ATWS2023 開催期間中、外貨両替プラザでの全通貨の両替手数料の 50%割引 [9/6-18]
北海道放送株式会社	広報協力 ：アドベンチャートラベルドキュメンタリー番組 (30 分×2 本) を制作し放送 [2022/10/5、12/29 及び 12/30]
北海道旅客鉄道株式会社	物品提供 ：交通系 IC カード『Kitaca』（800 枚）の購入費用の一部を協賛 広報協力 ：札幌駅東西改札口デジタルサイネージによる ATWS2023 開催 PR 画像放映 [2023/8/15-9/14]、車内雑誌『The JR Hokkaido』への広告協賛 [2023 年 8 月号]
楽天グループ株式会社	金銭提供

パートナー【協賛金額 50 万円以上】

企業・団体名（五十音順）	協賛内容
石屋製菓株式会社	物品提供：『白い恋人』（54 枚缶入包装×54 個+バラ 400 枚）、『アイガトー』（プレーン 5 個入×60 個+バラ 100 個）、『美冬』（12 個入×60 個）
さっぽろオータムフェスト実行委員会	物品提供：『2023 さっぽろオータムフェスト』1,000 円 クーポン券(800 枚)
有限会社 B' weeds	物品提供：ヴィーガンジェラート(2,000ml×6 種類×2 バッド)
株式会社ファイバーゲート	役務提供：イベント Wi-Fi ボックス提供

サポーター【協賛金額 10 万円以上】

企業・団体名（五十音順）	内容
株式会社イノヴェッグ	物品提供：米粉ドーナッツ(600 個)、米粉カステラ(200 個)
SOIL CHOCOLATE（株式会社エンクル）	物品提供：板チョコレート(10 枚入×100 箱)、オレンジ エット(10 本入×30 個)
釧路信用金庫	金銭提供
一般社団法人札幌観光協会	役務提供：『2023 さっぽろオータムフェスト』における ATWS2023 参加者に向けたイベント実施への協力・協賛
株式会社富良野自然農園	物品提供：富良野赤果肉メロン(秀品)(4～5 個入×10 箱)
北海道酒造組合	物品提供：PR 用日本酒及び送料(ATWS2022)、PR 資材の 提供・貸与(ATWS2023)
北海道ワイン株式会社	物品提供：GI Hokkaido 認定ワイン

その他【協賛金額 10 万円未満】

企業・団体名（五十音順）	内容
株式会社 Air Ale	金銭提供

トップパートナー発表会

ATWS2023 の開催にあたり、特に積極的に支援・協力しているトップパートナー企業の発表会を開催し、トップパートナー企業のメディアへの露出の機会を設けるとともに、ATWS2023 に向けた機運の醸成を図った。

第1回

開催日時	令和5年(2023年)6月6日(火) 13:30~15:30 ※令和5年度第1回 ATWS 北海道実行委員会総会後に開催
開催場所	ホテル札幌ガーデンパレス 2階 丹頂 (北海道札幌市中央区北1条西6丁目3-1)
参加企業	16社



第2回

開催日時	令和5年(2023年)9月4日(月) 14:30~15:30 ※北海道アドベンチャートラベルガイド認定証交付式と合同開催
開催場所	北海道庁本庁舎 3階 知事会議室 (北海道札幌市中央区北3条西6丁目)
参加企業	7社



②快適な滞在への協力（学生ボランティア・株式会社 JTB）

会場内での参加者へのサポート体制の充実を図るとともに、ATWS 開催の機会を捉え、今後の観光を担う人材に対し、AT の認知度を向上させ、また海外参加者との交流機会を創出するため、札幌市内の2大学（札幌国際大学・札幌大学）の協力を得て、両大学で観光・MICE 等に関連した分野を学ぶ学生からボランティアスタッフとしての参加を募った。

ボランティアスタッフは、事前の説明会で大会のコンセプトや参加者への関わり方について説明を受けた上で、新千歳空港における到着時対応（27 ページ参照）、大通ビッセでのチェックイン（28 ページ参照）における誘導を行ったほか、株式会社 JTB の協力で会場内に設置したサポートデスクにおいて、参加者の快適な滞在をサポートするべく相談対応を行った。

○内容

- ・新千歳空港における到着時対応
- ・チェックイン補助
（9/10 大通ビッセ）
- ・ミニ講座等の運営補助
- ・ランチ等会場内の誘導
- ・サポートデスク補助

○参加人数

- ・札幌国際大学観光ビジネス学科 12 名
- ・札幌大学地域共創学群 3 名



サポートデスクでの様子



書道講座で参加者を補助

③オープニングセレモニーへの協力（国税庁・札幌商工会議所）

国税庁の協力（道産酒の提供）

オープニングセレモニー（36 ページ参照）において、国税庁札幌国税局の協力を受けて、「SAKE TRUCK」（移動販売用の車）で道内 16 蔵の日本酒の提供を行い、参加者に道産酒を PR する機会とした。参加者は日本酒についての説明を聞いたり、日本酒を飲み比べたりして、日本酒を楽しんだ。



札幌商工会議所（さっぽろ名妓連）の協力

同じくオープニングセレモニーにおいて、札幌商工会議所の協力を受けて、さっぽろ名妓連による日本舞踊ステージを行い、最北の花街・札幌の文化を紹介する機会とした。屋外の特設ステージで実施予定だったが、雨天であったことからミュージアム棟内で披露することとした。ステージ以外の時間帯は、芸妓達が参加者と記念撮影を行うなど交流した。



©Hassen/ATTA

6. 総括

(1) ATWS2023 の成果

① 実行委員会による取組とその評価

これまで述べてきた通り、実行委員会は ATWS2023 の開催に向けて多角的に取り組んできた。あらためて、主な取組事項と評価を総覧する。

AT ツアーの充実

参加者が開催国で行われる AT ツアーである PSA・DOA を実際に体験できることは、ATWS の大きな特色の一つである。

実行委員会では、これらの AT ツアーを、参加者に北海道・日本の魅力を知ってもらうための重要な機会と位置付け、令和2年（2020年）からコースの選定・準備に取り組んだ。PSA 22 コース（道内 15 コース、道外 7 コース）・DOA 31 コースについて実踏を重ね、また専門家の助言を受けて磨き上げを行い、完成度を高めた。また、PSA・DOA に加え、ATWS2023 独自の取組として、実行委員会独自事業となるポストサミットアドベンチャーを 4 地域で造成・催行した。

時間を掛けて磨き上げを行ったことが奏功し、参加者からは、PSA は平均で 4.5 点、DOA は平均で 4.0 点（いずれも 5 点満点）と、過去の ATWS に比べても高い評価を得られた。

ネットワーキングの場の提供

全世界から AT 関係者が集まる ATWS は、海外の AT 関係者に北海道・日本の商品を売り込むチャンスであり、これまで海外への販路を持たなかった国内関係者にとって、世界の AT 市場の足掛かりを築くための有効な機会であった。

実行委員会は、ATWS2023 の主会場であった札幌コンベンションセンター内で「北海道ラウンジ」を出展した。隣接するブースで JNT0 が出展した「Japan Lounge」と連携し、国内の事業者が国内外の参加者とのネットワーキングを行い、また複数の地域が連携して日本全体の魅力をアピールする場としての一体のラウンジとして運営した。実行委員会からは道内事業者に、また JNT0 からは道外事業者に参加を募った。道内からは、旅行会社 10 社、地域観光団体 12 団体が出展・参加した。

このほか、国内の観光関係者に ATWS2023 への参加を案内し、商談の機会を設けた結果、札幌コンベンションセンター内で行われたマーケットプレイスやメディアコネクトに国内からも多くの参加を得られた。マーケットプレイス・メディアコネクトについての参加者からの評価は、概ね半数近くが商談・ネットワーキングの結果について「大変満足」又は「満足」、約 3 割が「想定どおり」となっており、全体の約 8 割が想定以上の成果を得られたという結果であった。

北海道・日本の魅力の紹介

以上に挙げた取組により、体験ツアーやネットワーキングを通じて、北海道・日本の AT デスティネーションとしての魅力をアピールするとともに、海外から多くの参加者が訪れる機会を

活かし、AT に限定されない北海道・日本の魅力の紹介にも取り組んだ。

具体的には、オープニングプレナリーの書道や琴の演奏、オープニングセレモニーのステージでのアイヌの方々によるパフォーマンスといった形で、独自の文化をアピールした。またメイン会場の札幌コンベンションセンター内では、アイヌの方々の伝統的な衣服や工芸品の展示、アイヌ文様のタペストリーによる装飾を通じ、他のパフォーマンスとも関連付けて参加者がアイヌ文化に理解を深める機会とした。またこのほか、茶道や書道、空手などを実際に体験できる講座や、札幌市内や寺社を案内するミニツアーを用意し、大会の中で気軽に参加できる形で、日本の文化への理解を深めるきっかけを創出した。

北海道・日本の大きな魅力の一つであり、参加者からも期待が高かったものが「食」である。オープニングセレモニーを含め、会期中の食事・軽食は、ヴィーガンの方などへの配慮も行いつつ、日本食をメインとしたメニューを提供し、参加者からも、メイン会場内の食事は 4.34 点、オープニングセレモニーでの食事は 4.43 点（いずれも 5 点満点）と、高い評価を得ることができた。

このほか、会場外の飲食も楽しんでもらうべく、「ウェルカム飲食店」の募集を行った。これは、ウェブサイトやメニューを含め英語での対応が可能であること、北海道産の食材を使った料理を提供していること等の条件を満たす飲食店を「ウェルカム飲食店」として登録するもので、最終的に計 130 店舗が登録し、期間中参加者に案内を行い好評を博した。

国内広報・機運醸成

海外に向けたアピールだけでなく、ATWS2023 の機会を活用し、国内に向けた、AT についての広報や AT 推進に向けた機運の醸成にも取り組んだ。ATWS2023 の開催にあたっては多くの企業から協賛を受けており、中でも特に前向きに協賛を行った企業である「トップパートナー」を「トップパートナー発表会」の場で発表することで注目度の向上に繋がった。

またこれに限らず、多くのパートナー企業が自ら有する媒体（一般向けのメディアだけでなく、機内誌・車内誌といったサービス利用者向けの媒体を含む）を活用し、AT に関する情報発信を行った。これまで国内でも十分に認知が進んでいなかった AT について、AT とは何か、何故 AT を推進することが望ましいのか、また AT デスティネーションとしての日本に寄せられる期待について、発信する機会を得た。これらの動きもあり、他の国内メディアでも AT や ATWS2023 について取り上げられる機会が増え、国内における AT の認知度向上に繋がった。

イベント全体の円滑な運営

イベント全体を円滑に運営するべく、参加者の移動（DOA 実施場所までの移動、宿泊場所から札幌コンベンションセンターまでの移動、オープニングセレモニーの会場である大倉山と市中の間の移動）の円滑化、会場の設営、会場内での食事・軽食の提供のオペレーション、オープニングセレモニーのステージの運営などについても ATTA や関係機関と細やかに連絡を取り合いながら準備を行った。

実行委員会は多くの機関から構成され、また対応すべき業務も多岐にわたったことから、業務ごとの WG を設け、それぞれの WG に実行委員会の参画機関から偏りなく人を配置することで、

WG 内・参画機関内それぞれで円滑に情報共有が行われる体制を構築した。また、定期的な ATTA と実行委員会のミーティング、WG 単位のミーティングに加えて、柔軟に実行委員会内の打合せの場を設けたほか、オブザーバー機関とも細かく連絡を取り合った。このことにより、過去に例のない規模の参画機関や関係機関が綿密に情報共有を行い、それぞれの機関の強みを活かしながら、連携して準備に取り組むことができた。

その結果、参加者からの総合満足度は 4.5 点、AT デスティネーションとしての日本の評価は 4.7 点（いずれも 5 点満点）、また親しい人に日本を勧めたいと答えた参加者は 97%と、過去の大会と比べても高い評価を獲得できた。

②ATWS2023 を開催したことによる効果

①で述べた成果のほか、ATWS2023 の開催により以下の効果を得られた。

誘客の促進

ATWS2023 では、公式行事であるマーケットプレイス・メディアコネクトに加えて、ラウンジでのネットワーキングの機会を設け、これらを活用して国内の旅行会社や地域観光団体が海外参加者とのネットワーキングを行った。マーケットプレイスには道内の旅行会社 8 社が参加し、計 63 件の商談を行うなど、効果的に海外バイヤーとの繋がりを得ることができた。

また、ATWS2023 に参加した海外バイヤー 80 者を対象としたアンケートの結果によれば、参加バイヤー 80 者のうち 83%が北海道における新たな旅行商品を取り扱うことを検討しており、平均して各バイヤー 3 件の旅行商品を造成することを予定していると答えた。これらのバイヤーが 2024 年から 2026 年の 3 年間で日本に送り出すことを想定している旅行者の数は約 2 万人に上る。

海外からの日本の AT の評価の収集

ラウンジでは、来訪者を対象にアンケートを実施した。現行の日本の AT への期待・評価や課題と感ずることについて、来訪者 225 名から聞き取った生の声をラウンジに参加した団体にフィードバックした。

海外メディアほか参加者からの発信による認知度向上

ATWS2023 の参加者のうち、半数以上が初めての日本への来訪となった。海外の AT 市場に対しては、北海道・日本の魅力をアピールする余地が多く残されているところ、上述のとおり、来訪した参加者からは北海道・日本に対し高い評価が寄せられた。ATWS2023 関係の主要な SNS における発信としては、Instagram でハッシュタグ「#ATWS2023」が付された投稿が約 800 件、また参加したメディアによる記事が 70 本以上発信されるなど、非常に高い露出効果を獲得することができた。

(2) 今後の AT 推進に向けた取組

①ATWS2023 を通じて見出された課題とその対応

ATWS2023 の参加者等に対して行った各種アンケートにより、今後のアドベンチャートラベル推進に向けた課題も明らかとなった。今後はこうした課題への対応が求められていくこととなる。

情報発信

Japan Lounge への来訪者に対するアンケートでは、日本の AT 推進における課題として「情報不足」を挙げる割合が高かった。また、今後必要な取組としても、「FAM トリップ」「ツアーオペレーターの紹介」など、海外旅行会社・メディア向け情報提供を求める意見が多くなっている。

このため、ATWS2023 開催後、特に注目が高くなっている機会を捉えて、引き続き、北海道・日本の認知度向上に向けた魅力発信を行うことが必要である。

商品造成

PSA・DOA 等のエクスカージョンの参加者に対するアンケートでは、体験内容とツアーストーリーとの整合性について課題があるとの指摘があった。ATWS2023 の参加者は、日本・北海道独自の文化体験を重視しており、また日本特有の文化を旅のストーリーに求める傾向があることから、これらの視点を踏まえた上で、ツアー商品の磨き上げや、今後獲得を目指す AT 旅行者層に向けた新たなツアー造成を進める必要がある。

ガイド人材の育成・強化

PSA・DOA 等のエクスカージョンの参加者からは、体験したツアーのガイドについて、説明の丁寧さ、対応の親切さなどにより、概ね満足度は高いと評価した。その一方で、地域の歴史や文化の背景など、さらに踏み込んだ説明・解説を求める意見があった。また、PSA、DOA の参加者だけでなく、Japan Lounge への来訪者からも、ガイド事業者の英語対応力の向上を求める声が多く上がった。さらに、国内の参加者からはガイド人材の不足を課題とする声も多く、ガイド人材の能力向上や人材確保に向けた取組が必要とされている。

サステナビリティへの配慮

ATTA が実施した参加者へのアンケートの結果によれば、北海道の持続可能性への取組についての評価は、ATWS2023 を通じて大きく向上した。その一方で、ツアーの参加者からはプラスチックを使用した包装、ペットボトルの飲料や、車両の使い方（アイドリング）などについて改善の余地がある旨の意見が多く出た。

今後に向け、サステナビリティへの配慮、また参加者への取組の見せ方について改善の余地がある。

販売に向けた体制の構築

ATWS2023 に向けて準備したエクスカージョンや、今後作るツアーについて、販売するための体制が十分に整っていないところがある。ATWS2023 に参加した道内のデスティネーションに対して行ったアンケートでは、最も大きな課題として「ツアーオペレーター不足」が挙げられている。また、同じく ATWS2023 に参加した道内関係のツアーオペレーターに対して行ったアンケートでは、最も大きな課題として「ガイド人材不足」が、それに次ぐ課題として「手配・オペレーション」が挙げられており、ツアーオペレーターの体制強化と、AT ツアー実施・運営に関わる関係者間の連携強化が重要である。

受入に向けた連携の促進

今後、北海道・日本への送客の需要はさらに大きくなることが期待されるが、機会損失を発生させることなくこの需要を取り込むためには受入態勢の強化が必要である。このため、道内の AT 関係者からは、道内における AT 商品のオーダーに対応するためのプラットフォームづくりを求める声が上がっている。また、ツアーオペレーターからはガイド不足が、地域の関係者からはツアーオペレーター不足が課題として挙げられており、これらの人材の育成や、関係者同士の連携促進が必要と考えられる。また、道内だけでなく、日本国内全域でのツアーオペレーター同士の連携を求める意見もあり、今後の対応が求められている。

②共同ステートメント

今後対応が必要な課題が多く残されているものの、AT デスティネーションとしての北海道・日本への期待は高い。ATWS2023 終了後の令和5年（2023年）9月20日、ATTA のシャノン・ストウエル CEO と実行委員会の鈴木直道会長との間で共同ステートメントを取りまとめ、北海道・日本の世界的な AT デスティネーションとしての地位の確立に向けて、今後も、実行委員会の構成機関と ATTA が共に取り組んでいくことなどを国内外に発信した。

September 20th, 2023

Joint Statement

The Adventure Travel Trade Association (ATTA) and the ATWS Hokkaido Executive Committee are pleased to announce the success of ATWS2023, a sold out event and Asia's first on-site Adventure Travel World Summit.

And while both organizations gained much from the virtual ATWS2021, the in person event, ATWS2023, provided delegates with an opportunity to experience the beauty of nature, delicious food, diverse cultures, and the “Chowa(Harmony)” of these elements in Hokkaido and across Japan. As well, delegates made lasting relationships for future economic opportunities in adventure tourism for Hokkaido.

The ATWS Hokkaido Executive Committee, on behalf of relevant parties in Hokkaido and Japan, would like to thank ATTA for their efforts in organizing this Summit, and ATTA would like to thank Hokkaido and Japan for being such wonderful hosts. We also thank all the delegates who attended the Summit as well as all the staff who supported ATWS2023.

The ATTA and the ATWS Hokkaido Executive Committee are once again convinced that Hokkaido, Japan is a promising destination for Adventure Tourism. We also reaffirmed that the Asian market is promising and, in the current context of growing interest in tourism sustainability, Adventure Tourism, with its emphasis on local connections and environmental considerations, will increasingly become a global representative of sustainable tourism.

ATTA hopes to use ATWS2023, the first ATWS to be held in Asia, as an opportunity to continue to promote cooperation with relevants in Hokkaido and Japan and the development of initiatives across Asia. In addition, the ATWS Hokkaido Executive Committee and relevants in Hokkaido and Japan are committed to the establishment of a world-class Adventure Tourism destination so that more adventure travelers who will visit Japan in the future can experience and be satisfied by in-depth tours filled with intellectual curiosity and the hospitality that only Japan can offer. We will continue to work hard to establish Japan as a world-class Adventure Tourism destination utilizing ATTA's expertise and resources. The ATTA and members of the ATWS Hokkaido Executive Committee will build a road-map for the future of Adventure Tourism in Hokkaido and Japan with Japan Tourism Agency and Japan National Tourism Organization.

Furthermore, we are determined to continue to work together for the development of the global Adventure Tourism globally. The ATWS Hokkaido Executive Committee and relevants in Hokkaido and Japan will work closely with ATTA on how to maximize the value for the whole country and make Japan a top Adventure Destination and one of the leading destinations in Asia-Pacific.

Shannon Stowell
CEO of Adventure Travel Trade Association

Naomichi Suzuki
President of ATWS Hokkaido Executive Committee

2023 年 9 月 20 日

共同ステートメント（和訳）

我々、アドベンチャートラベルトレードアソシエーション（ ATTA と アドベンチャートラベル・ワールドサミット北海道実行委員会（ATWS 北海道実行委員会）は、アジア初の実地開催となり、また参加者チケットが完売したアドベンチャートラベル・ワールドサミット北海道・日本（ATWS2023）が成功したことを喜ばしく思う。

バーチャル開催であった ATWS2021 によっても我々は多くのものを得たが、実地開催することができたこの ATWS2023 は、参加者に、北海道・日本の美しい自然、美味しい食、様々な文化、そしてそれらが織りなす「調和」を体験する機会を提供できた。同様に、参加者は、北海道のアドベンチャーツーリズム（AT）における今後のビジネスチャンスに向け、持続的な関係を築いた。

ATWS 北海道実行委員会として、北海道・日本を代表し、本サミットの開催にご尽力いただいた ATTA に対して感謝するとともに、ATTA として、素晴らしいホストだった北海道・日本に対して感謝する。また、本サミットに参加されたすべての参加者、本サミットを支えた全てのスタッフに感謝する。

我々、ATTA と ATWS 北海道実行委員会は、北海道・日本が AT の有望なデスティネーションだと改めて実感した。また、我々はアジアマーケットが有望であること、観光の持続可能性への関心が高まりつつある現下の状況において、地域とのつながりと環境への配慮を重視する AT は、持続可能な観光を代表するものとして、今後ますますその存在が世界で大きくなることを再認識した。

ATTA は、アジア初の実地開催となった本サミットを契機として、引き続き北海道・日本の関係者との連携、アジアにおける取組の展開を進めていきたいと考えている。また、ATWS 北海道実行委員会をはじめとする北海道・日本の関係者は、本サミットを契機に今後日本に訪れるであろうより多くのアドベンチャートラベラーが、日本ならではのおもてなしとともに知的好奇心に満ちたより深いツアーを体験し、満足できるよう、ATTA の専門知識とリソースも活用しながら、世界的な AT デスティネーションとしての地位の確立に向け、精励していきたいと思う。ATTA と ATWS 北海道実行委員会の構成員は、これからの北海道・日本における AT の推進に向けた道のりを、観光庁・JNTO と共に描いていく。

さらに、今後ますますの世界的な AT の発展に向けて、我々は、引き続き協力して取り組んでいくことを決意する。ATWS 北海道実行委員会と北海道・日本の関係者は、ATTA と密に連携しながら、日本全体の価値を最大化するべく、そして日本を優れた AT デスティネーションとして、またアジア太平洋地域を先導する地域のひとつとして確立するべく、取り組んでまいりたい。

アドベンチャートラベルトレードアソシエーション
CEO シャノン ストーウェル

アドベンチャートラベル・ワールドサミット北海道実行委員会
会長 鈴木直道

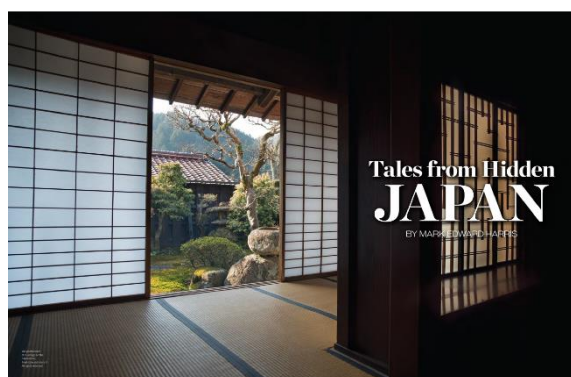
7. その他資料



(1) ATWS2023 期間中の報道

著作権法上の関係で、PDF送付版、ウェブ掲載版では、
報道紙面の掲載は省略しています。

(2) オフィシャルメディアによる発信

希望者の中から 50 名が選ばれた ATWS2023 のオフィシャルメディアは、本大会、PSA、DOA、ポストサミットアドベンチャーの様子をはじめ、日本滞在中の経験を Instagram などのソーシャルメディアにてリアルタイムで発信し続けた。さらに帰国後は、自身のウェブサイトやアドベンチャーあるいはアウトドア関連のウェブ媒体・紙媒体等に記事を掲載。滞在中から帰国後の発信までを総合すると、単発のメディアトリップより遥かに高い露出効果が得られた。



A travel obsessed mom and a nature obsessed son exploring at home in Southern California as well as throughout the world looking for adventure, nature and a little luxury too!

Rebun And Rishiri Islands: Japan's Unbelievably Unique Northernmost Islands

September 25, 2023 by [Karlton Owen](#)

Sharing is caring!

Do busy intersections, white faced geishes and red torii gates flood your mind when you think of a trip to Japan? That is the common thought of the country, however, there is so much more to discover in Japan when you get off the beaten path a little. In the far northwest of Japan lie two islands that are waiting to be discovered.

Rebun and Rishiri Islands are well known to many Japanese as being beautiful nature escapes, but

Recent Posts

- Where to Find Snow Near Los Angeles That Kids Will Love
- Hidden Gems in Ireland: 20 Surprisingly Unique Places You Will Love In Ireland (Off The Beaten Path)
- Kilmany Castle Estate: The Best Irish Castle & Hotel for Everyone
- 10+ Helpful Japan Travel Tips To Know BEFORE You Go
- Rebun And Rishiri Islands: Japan's Unbelievably Unique Northernmost Islands




A travel obsessed mom and a nature obsessed son exploring at home in Southern California as well as throughout the world looking for adventure, nature and a little luxury too!

35+ Helpful Japan Travel Tips To Know BEFORE You Go

September 27, 2023 by [Karlton Owen](#)

Sharing is caring!

Japan is a remarkable country filled with so much history, natural beauty and modern touches. I've just returned from my second trip to Japan and was reminded of so many things I had forgotten about the country! Traveling in Japan is an amazing and enriching experience, however it is also a country filled with traditions and unique ways of operating that visitors may not be used to. Below I share the best Japan travel tips to help you make the most of your trip.

Disclosure: Some of the links in this post are affiliate links, meaning at no additional cost to you, I will earn a commission if you click through and make a purchase.

Jump to a Heading Below

Recent Posts


- Where to Find Snow Near Los Angeles That Kids Will Love
- Hidden Gems in Ireland: 20 Surprisingly Unique Places You Will Love In Ireland (Off The Beaten Path)
- Kilmany Castle Estate: The Best Irish Castle & Hotel for Everyone
- 35+ Helpful Japan Travel Tips To Know BEFORE You Go
- Rebun And Rishiri Islands: Japan's Unbelievably Unique Northernmost Islands

Home / Travel / Adventure Travel

Key Takeaways From ATTA's First Asia-based World Summit in Hokkaido, Japan

Sep 28, 2023

[Adventure Travel Sustainability](#)




The Adventure Travel Trade Association held its latest Adventure Travel World Summit in Hokkaido, Japan.

Credit: 2023 [westry/j/stock.adobe.com](#)

After a two-year delay due to the pandemic, the [Adventure Travel Trade Association \(ATTA\)](#) hosted its 19th [Adventure Travel World Summit \(ATWS\)](#) in Japan from Sept. 11-14. Japan is the first Asian country to host the ATWS, which took place in [Hokkaido](#) — the northernmost of Japan's main

Ads by Google



Shannon Stowell, CEO of the ATTA

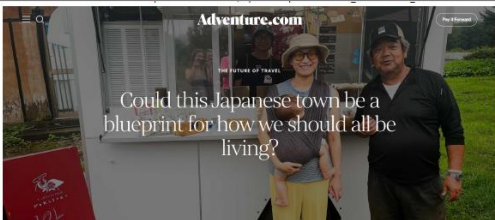
Credit: 2023 [Zoe Baillargeon](#)

"It's up to us to show how tourism can be done right," said [Shannon Stowell](#), CEO of the ATTA, in his welcome speech. "It's an opportunity to stand out from messy mass travel and show how adventure travel is respectful of local communities."

Here are some of the key takeaways from the ATTA World Summit.

AI Is Here to Stay

The growth of easily accessible and usable artificial intelligence (AI)



Adventure.com

Could this Japanese town be a blueprint for how we should all be living?

Phoebe Smith
September 9, 2023

Proudly B Corp certified since 2018.

In 2014, the Japanese government designated 11 settlements as "Future Cities"—challenging each to create a blueprint for sustainable communities for generations to come. A decade on, writer Phoebe Smith visits Shimokawa to learn what a FutureCity really could be—and is.

It's early in the morning when 50-year-old Chikako Nakatani walks to the biomass plant in the town of Shimokawa, in the far north of the island of Hokkaido, Japan. But she isn't here to work in the plant, which, for the past 10 years has been burning waste wood from the community-owned forestry industry, providing 68 percent of the heating and hot water for the town. Rather, she is there to forage a by-product of this initiative—the humble shiitake mushroom.

The heat created from the woody biomass plant not only heats water and powers boilers in a multitude of public buildings—including the hospital, school, childcare center, elderly care home, affordable housing and a public hot spring—but also warms an on-site greenhouse where each day tons of the edible fungus are produced. These mushrooms are often sold to suppliers around the prefecture. But many are misshapen or too small to make the cut for suppliers—resulting in few kilograms being thrown away every single day. That was until Nakatani moved here from Osaka in 2021 and started asking for unwanted mushrooms to use in her restaurant.

"I grew up in the third most densely populated city in the country," explains Nakatani as she dishes out food onto a row of 10 plates lined up along the bar in her restaurant, Takayaki Komachi. "But when I lost a close friend to stomach cancer, I needed to escape everything I knew." Coming to Shimokawa after a year in the Philippines—where she learned how to cook a variety of dishes using no meat or animal products, and ran cooking classes online during the pandemic—she saw an advert asking for someone to take over the main restaurant in town. A phone call later, and she arrived.

We were the first of the "Future Cities" in the country by chance, when a forest fire created recent transplant—38-year-old Asuka Asa, who moved here from Tokyo a couple of years earlier to get back into nature. "Take the smaller leaves off and squeeze as many as you can into the boiler!" she instructed as I learned the art of making my own essential oil products from what would have been waste wood.


There was a group of eight of us in the class, and we spent the afternoon laughing as we experimented with a range of scents and concoctions, feeling like wizards. But the real magic, Asa tells me, is Shimokawa itself.

"The fact that I can work here, make a living and get out into the forest whenever I want makes this the best place in Japan," she says. "My friends didn't understand why I would leave the city at first, but now they get it."

When one business thrives it helps promote another, who promotes another. One success benefits many more.

The following day, I enjoy a yoga class, taught by 34-year-old Harumi Tada, who is originally from Fukushima. After meeting her husband (a former Shimokawa resident) and surviving the earthquake and tsunami in 2011, they both decided to leave and start a family somewhere safer and quieter. She has since set up a forest pre-school, teaching adults and children how to play in nature and connect with their environment.

For lunch I take on a bento box—a classic Japanese pack lunch—made by a local man who, I'm told, came back to the town three years ago and set up his own company. All the vegetables featured inside it are grown locally for low food miles, and the bread provided is made in the town's bakery.



soultrekkers
September 20, 2023



Puffing vents, collapsed calderas, sulphur lakes and moss-covered forest... another beautiful day hiking in Hokkaido. Our route took us over Mt Moekan and past th...

experiencejordanadventures
September 20, 2023



Experience Jordan Adventures at the Adventure Travel World Summit in Hokkaido. Japan has been an incredible experience. This summit is unlike any other, as it u...

travellina.hu
September 19, 2023



A Daisetsuzan Nemzeti Park Japán északi szigetén, Hokkaidon a legnagyobb nemzeti park. Igazi érintetlen vadon, a túrázók, a szarvasok és a barnamedvők paradicsma...

explorewithlora
September 19, 2023



Canoeing down the Kushiro River was so much fun!

The river pretty much did the work for us, and our expert guide made some impressive maneuvers. It was incred...


himalayanhightreks
September 19, 2023



Daisetsuzan National Park, Hokkaido.

ATWS Day of Adventure

laurawaters_writer
September 18, 2023



Wandering around the mountain to see some of the 1000+ fumaroles of Moekan, the sulphur can be pretty overwhelming at times. Thanks to the wind, those moments a...

(3) 各種規程

アドベンチャートラベル・ワールドサミット北海道実行委員会規約

(名称)

第1条 本会は、「アドベンチャートラベル・ワールドサミット北海道実行委員会」(以下「実行委員会」という。)と称し、英文名称を「ATWS Hokkaido Executive Committee」とする。

(目的)

第2条 実行委員会は、アドベンチャートラベルが北海道に定着し、発展するよう、A T T A (アドベンチャートラベル・トレードアソシエーション) が北海道で開催するアドベンチャートラベル・ワールドサミット(以下「ATWS」という。)を官民一体となって成功させ、開催地として必要な準備及び支援を行うことを目的とする。

(業務)

第3条 実行委員会は、前条の目的を達成するために、次に掲げる業務を行う。

- (1) ATWSの開催に係る会場等の準備に関すること。
- (2) ATWSの開催に係る運営等の支援及び協力並びに参加者の受入れに関すること。
- (3) ATWSに関連する広報及び啓発に関すること。
- (4) ATWSに関連する事業の企画及び実施に関すること。
- (5) 関係団体及び関係機関との連絡調整に関すること。
- (6) 前各号に掲げるもののほか、前条の目的を達成するために必要な事項に関すること。

(組織)

第4条 実行委員会は、別表1の委員(以下「委員」という。)をもって組織する。

(役員)

第5条 実行委員会に、次の役員を置く。

- (1) 会長 1名
- (2) 筆頭副会長 1名
- (3) 副会長 7名
- (4) 監事 2名

(役員の選任)

第6条 会長は、北海道知事をもって充てる。

2 筆頭副会長は、公益社団法人北海道観光振興機構会長をもって充てる。

3 副会長は、札幌市長、釧路市長、帯広市長、稚内市長、旭川市長、国土交通省北海道運輸局長及び経済産業省北海道経済産業局長をもって充てる。

4 監事は、北海道経済連合会会長及び北海道経済同友会代表幹事をもって充てる。

（役員の職務）

第7条 会長は、実行委員会を代表し、会務を総理する。

2 筆頭副会長は、会長を補佐し、会長が不在のときは、その職務を代理する。

3 副会長は、会長の職務を補佐する。

4 監事は、実行委員会の業務及び会計を監査する。

（顧問）

第8条 実行委員会に、顧問を置く。

2 顧問は、別表2に掲げる職にある者をもって充てる。

3 顧問は、実行委員会の運営に関し、必要に応じ、意見を述べるものとする。

（役員等の任期）

第9条 役員及び顧問の任期は、実行委員会の設立の日から解散の日までとする。

（会議の設置）

第10条 実行委員会に、次の会議を置く。

（1）総会

（2）幹事会

（総会）

第11条 総会は、全ての委員をもって組織する。

2 総会は、会長が招集する。

3 総会の議長は、会長又は会長があらかじめ指名した委員がこれに当たる。

4 総会は、次に掲げる事項を審議し、議決する。

（1）実行委員会の規約の制定及び改正に関すること。

（2）事業計画及び予算に関すること。

（3）事業報告及び決算に関すること。

（4）幹事会に委任する事項に関すること。

（5）実行委員会の解散に関すること。

（6）前各号に掲げるもののほか、実行委員会の運営に係る重要な事項に関すること。

5 総会は、委員の2分の1以上が出席しなければ、開くことができない。

6 総会の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数の場合は、議長の決するところによる。

7 やむを得ない理由により総会に出席することができない委員は、あらかじめ通知された事項について、書面又は代理人をもって議決権を行使することができる。

8 前項の規定により議決権を行使した者は、総会に出席したものとみなす。

9 第5項から前項までの規定にかかわらず、次の各号のいずれかに該当するときは、会長は、第4項各号に掲げる事項について書面により委員の意見を徴することができる。この場合において、全ての委員（会長を除く。）の2分の1以上が当該事項について同意したときは、当該同意をもって総会の決議があったものとみなす。

（1） 緊急を要する場合であって、総会を招集する時間的余裕がないと認められるとき。

（2） 災害の発生、感染症のまん延等より総会を招集することが困難と認められるとき。

10 会長は、必要に応じ、総会に委員以外の者に出席させ、意見を求めることができる。

（幹事会）

第12条 幹事会は、次に掲げる事項を審議し、決定する。

（1） 総会に付議すべき事項に関すること。

（2） 総会から委任された事項に関すること。

（3） 前2号に掲げるもののほか、実行委員会の運営に関し必要な事項（前条第4項各号に掲げる事項を除く。）に関すること。

2 幹事会は、別表3の幹事（以下「幹事」という。）をもって構成する。

3 幹事長は、北海道経済部観光局アドベンチャートラベル担当局長をもって充て、幹事会の会務を総理する。

4 幹事会は、幹事長が招集する。

5 幹事会は、幹事の2分の1以上が出席しなければ、開くことができない。

6 幹事会の議事は、出席した幹事の過半数をもって決し、可否同数の場合は、幹事長の決するところによる。

7 やむを得ない理由により幹事会に出席することができない幹事は、あらかじめ通知された事項について、書面又は代理人をもって議決権を行使することができる。

8 前項の規定により議決権を行使した者は、幹事会に出席したものとみなす。

9 第5項から前項までの規定にかかわらず、次の各号のいずれかに該当するときは、幹事長は、第1項各号に掲げる事項について書面により幹事の意見を徴することができる。この場合において、全ての幹事（幹事長を除く。）の2分の1以上が当該事項について同意したときは、当該同意をもって幹事会の決議があったものとみなす。

（1） 緊急を要する場合であって、幹事会を招集する時間的余裕がないと認められるとき。

（2） 災害の発生、感染症のまん延等より幹事会を招集することが困難と認められるとき。

10 幹事会は、必要に応じ、幹事会に幹事以外の者に出席させ、意見を求めることができる。

（専決処分）

第13条 会長は、緊急を要するため、第11条第2項の規定による総会の招集及び同条第9項の規定による表決をする時間的余裕がないときは、その議決すべき事項を専決処分することができる。

2 会長は、前項の規定により専決処分したときは、これを次回開催する総会において報告し、その承認を得なければならない。

（経費）

第14条 実行委員会の経費は、負担金、寄附金及びその他の収入をもって充てる。

（会計年度）

第15条 実行委員会の会計年度は、毎年4月1日（初年度にあつては、実行委員会の設立の日）に始まり、翌年3月31日に終了する。ただし、第17条の規定により事業が終了したときは、この限りでない。

（事務局）

第16条 実行委員会の事務を処理するため、北海道経済部観光局に事務局を置く。

2 事務局に関し必要な事項は、会長が別に定める。

（事業の終了）

第17条 実行委員会の事業は、第3条各号に掲げる業務が終了した年度の決算について第11条第4項の規定による総会の議決を受けたときに終了する。

（剰余金等の処理）

第18条 実行委員会は、前条に規定する決算（以下「決算」という。）において剰余金が発生した場合には、総会の議決を経てこれを処分しなければならない。

2 実行委員会は、決算において欠損金が発生する見込みとなった場合には、総会の議決を経てこれを処理しなければならない。

（委任）

第19条 この規約に定めるもののほか、実行委員会の運営に関し必要な事項は、会長が別に定める。

附 則

この規約は、令和2年（2020年）4月17日から施行する。

附 則（令和3年（2021年）9月6日改正）

この規約は、令和3年（2021年）9月6日から施行する。

附 則（令和4年（2022年）5月24日改正）

この規約は、令和4年（2022年）5月24日から施行する。

附 則（令和4年（2022年）9月20日改正）

この規約は、令和4年（2022年）9月20日から施行する。

附 則（令和4年（2022年）11月15日改正）

この規約は、令和4年（2022年）11月15日から施行する。

附 則（令和5年（2023年）6月6日改正）

この規約は、令和5年（2023年）6月6日から施行する。

（別表1）

○委員

所 属	職 名	備 考
北海道	知事	会長
公益社団法人北海道観光振興機構	会長	筆頭副会長
札幌市	市長	副会長
釧路市	市長	副会長
帯広市	市長	副会長
稚内市	市長	副会長
旭川市	市長	副会長
国土交通省北海道運輸局	局長	副会長
経済産業省北海道経済産業局	局長	副会長
北海道経済連合会	会長	監事
北海道経済同友会	代表幹事	監事
一般社団法人北海道商工会議所連合会	会頭	
北海道商工会連合会	会長	
北海道アドベンチャートラベル協議会	会長	
一般社団法人北海道体験観光推進協議会	代表理事	
日本航空株式会社	執行役員 北海道支社長	
全日本空輸株式会社	札幌支店・支店長	
株式会社AIRDO	代表取締役社長	
北海道エアポート株式会社	代表取締役社長	
北海道旅客鉄道株式会社	代表取締役社長	
一般社団法人北海道バス協会	会長	
一般社団法人日本旅行業協会	北海道支部長	
一般社団法人全国旅行業協会	北海道支部長	

(別表2)

○顧問

所 属	職 名	備 考
観光庁	長官	
独立行政法人国際観光振興機構(JNTO)	理事長	
国土交通省北海道開発局	局長	
環境省北海道地方環境事務所	所長	
林野庁北海道森林管理局	局長	
国土交通省東京航空局	局長	

(別表3)

○幹事

所 属	職 名	備考
北海道	経済部観光局アドベンチャートラベル担当局長	幹事長
公益社団法人北海道観光振興機構	事務局長	
札幌市	経済観光局観光・MICE 推進部観光地域づくり担当部長	
釧路市	産業振興部観光振興担当部長	
帯広市	経済部観光交流室長	
稚内市	建設産業部長	
旭川市	観光スポーツ交流部長	
国土交通省北海道運輸局	観光部長	
経済産業省北海道経済産業局	総務企画部長	
北海道経済連合会	常務理事	
北海道経済同友会	専務理事事務局長	
一般社団法人北海道商工会議所連合会	常務理事	
北海道商工会連合会	専務理事	
北海道アドベンチャートラベル協議会	会長	
一般社団法人北海道体験観光推進協議会	専務理事	
日本航空株式会社	北海道支社事業部部長	
全日本空輸株式会社	札幌支店・支店長	
株式会社AIRDO	営業部長	
北海道エアポート株式会社	営業開発本部観光開発部部長	
北海道旅客鉄道株式会社	営業部インバウンドグループ課長	
一般社団法人北海道バス協会	常務理事	
一般社団法人日本旅行業協会	北海道事務局事務局長	
一般社団法人全国旅行業協会	北海道支部事務局長	

アドベンチャートラベル・ワールドサミット北海道実行委員会 事務局規程

第1章 総則

(趣旨)

第1条 この規程は、アドベンチャートラベル・ワールドサミット北海道実行委員会（以下、「実行委員会」という）規約第16条の規定に基づき、実行委員会事務局（以下、「事務局」という。）の組織及び運営に関し必要な事項を定める。

第2章 事務局

(事務局)

第2条 事務局は、北海道経済部観光局に置く。

(業務)

第3条 事務局は、実行委員会に関する事務を処理する。

(組織及び所掌事務)

第4条 事務局に別表第1に掲げる部及びグループを置き、それぞれ同表に掲げる事務を分掌する。

(職員)

第5条 事務局に次の職員を置く。

- (1) 事務局長
- (2) 事務局次長
- (3) コンベンション部長
- (4) アドベンチャートラベル推進（AT推進）部長
- (5) 事務局員
- (6) 事務局員（国際交流員）

2 前項の職員は、実行委員会会長（以下、「会長」という。）が、任命する。

3 事務局長は、予算の範囲内で、臨時職員を雇用することができる。

4 前項に定める臨時職員の取扱要領については、別に定める。

(職務)

第6条 事務局長は、会長の命を受け事務局の事務を統括し、事務局次長以下の職員を指揮監督する。

2 事務局次長は、事務局長を補佐し、事務局長に事故があるときまたは欠けたときは、その職務を代理する。

第3章 事務の決裁

(専決)

第7条 事務局長、コンベンション部長及びAT推進部長は、別表第2に掲げる事項を専決することが

できる。

（類推専決）

第8条 別表第2に掲げる専決事項以外の事務であっても、これらの事務に類すると認められる事項については、それぞれ適宜専決することができる。

（代決）

第9条 決裁権者が不在のときは、別表第3に掲げる区分に従い、同表に定める順序により、それぞれ同表に定める者が、その事項を代決することができる。

2 前項の規定により代決したものは、速やかに決裁権者の閲覧に供さなければならない。ただし、軽微な事項については、この限りではない。

第4章 文書

（記号及び番号）

第10条 文書には「ATWS」の記号及び会計年度による一連番号を付さなければならない。ただし、軽易な文書についてはこの限りではない。

（発信者名）

第11条 文書の発信者は、会長名を用いることとする。ただし、軽易な文書についてはこの限りではない。

（整理及び保管並びに保存）

第12条 完結文書は、事務局において編さんし、適切に保管及び保存しなければならない。

（文書事務）

第13条 前3条に規定するもののほか、文書の受領、作成、回議及び決裁、施行、利用並びに廃棄については、北海道文書管理規程（平成10年3月31日北海道訓令第7号。ただし、電子決裁に係る規定を除く。）を準用する。

第5章 公印

（公印）

第14条 事務局で使用する公印の名称、書体、寸法及び形状は、別表第4のとおりとする。

2 前項に定める公印の管理者は、事務局長とする。

第6章 財務

（予算編成）

第15条 事務局長は、毎会計年度の収入支出予算書を作成して、会長に提出しなければならない。

2 事務局長は、予算作成後に生じた理由により、既定の予算に追加その他変更する必要があるとき

は、補正予算を編成することができる。

（出納員）

第 16 条 事務局に出納員を置く。

2 出納員は、事務局長が指名する。

（金融機関）

第 17 条 現金の出納は、事務局長が別に指定する金融機関を通して行うものとする。

（財務規則）

第 18 条 財務に関しては、北海道財務規則及び関連規定を準用する。

（決算）

第 19 条 事務局長は、会計年度終了後、決算を速やかに調製し、証拠書類を添付して会長に提出しなければならない。

2 会長は、前項の決算書の提出を受けたときは、監事の監査に付するものとする。

第 7 章 雑則

（雑則）

第 20 条 この規程に定めるもののほか、事務局の運営に関しては、北海道の条例、規則、規定の例によるものとする。ただし、これによりがたい場合は、事務局長が別に定める。

附 則

この規定は、令和 2 年 4 月 17 日から施行する。

附 則（令和 3 年（2021 年）9 月 6 日改正）

この規程は、令和 3 年（2021 年）9 月 6 日から施行する。

附 則（令和 5 年（2023 年）7 月 25 日改正）

この規程は、令和 5 年（2023 年）7 月 25 日から施行する。

別表第1（第4条関係）

グループ	分掌事務
コンベンション部 総括グループ	(1) 事務局の総合調整に関すること (2) 諸規程の制定及び改廃に関すること (3) 人事・服務等に関すること (4) 予算の編成・執行、経理、出納及び決算に関すること (5) 総会及び幹事会の開催に関すること (6) 委員及び関係機関との連絡調整に関すること (7) V I P対応に関すること (8) 広報宣伝及びホームページに関すること
コンベンション部 事業推進グループ	(1) 会場運営に関すること (2) セミナー・ワークショップ等、プログラムに関すること (3) マーケットプレイス・メディアコネクトに関すること (4) 飲食・レセプション・エンターテインメントに関すること (5) 映像・音響・照明に関すること (6) 参加者及び関係者の移動に関すること (7) 参加者及び関係者の宿泊に関すること (8) スポンサーに関すること (9) ボランティアに関すること (10) サステナビリティに関すること
A T推進部 事業推進1・2グループ	(1) プレ・サミット・アドベンチャー（PSA）に関すること (2) デイ・オブ・アドベンチャー（DOA）に関すること (3) AT ツアーオペレーター育成に関すること (4) AT 関係諸機関との調整業務 (5) AT 関係機関（企業・自治体など）への育成支援業務
A T推進部 事業支援グループ	(1) ATTA との連絡調整に関すること (2) AT ツアーオペレーター制度設計に関すること (3) AT ツアーオペレーター契約に関すること (4) AT ツアーオペレーターの教育及び支援に関すること (5) 事業推進グループの支援に関すること (6) AT 推進部内の調整に関すること (7) 関係諸機関との窓口業務に関すること

別表第2（第7条関係）

1 事務局長 専決事項
(1) 事務局規程の改定並びに会計細則の決定及び改定に関する事
(2) 支出負担行為に関する事（2,000万円以上）
(3) 旅行及び外勤命令に関する事（事務局次長、コンベンション部長及びAT推進部長に限る）
(4) 総会及び幹事会の開催に関する事
(5) 重要な刊行物の発行に関する事（インターネットを介した情報発信を含む）
2 コンベンション部長 専決事項
(1) 支出負担行為に関する事（2,000万円未満に限る）
(2) 支出命令に関する事
(3) コンベンション部職員の旅行及び外勤命令に関する事
(4) 簡易な刊行物の発行に関する事（インターネットを介した情報発信を含む）
(5) 軽易な事項に係る照会の受理及び処理に関する事
3 AT推進部長 専決事項
(1) AT推進部職員の旅行及び外勤命令に関する事。
(2) 簡易な刊行物の発行に関する事（インターネットを介した情報発信を含む）
(3) 軽易な事項に係る照会の受理及び処理に関する事

別表第3（第8条関係）

決裁区分	代決することができる者	
	決裁権者が不在のとき	決裁権者及び左欄に掲げる者がともに不在で、かつ緊急でやむを得ないとき
会長の決裁事項	事務局長	事務局次長
事務局長の決裁事項	事務局次長	コンベンション部長

別表第4（第13条関係）

公印の種類	書体	形	寸法	個数
アドベンチャートラベル・ワールドサミット 北海道実行委員会会長之印	てん書体	正方形	24mm×24mm	1個
アドベンチャートラベル・ワールドサミット 北海道実行委員会事務局長之印	てん書体	正方形	21mm×21mm	1個

Adventure Travel World Summit2023

パートナー企業（協賛）募集要項

第1 趣旨

この要項は、Adventure Travel World Summit (ATWS) 2023（以下「ATWS2023」という。）の開催趣旨に賛同する企業や団体、個人（以下「企業等」という。）が、ATWS2023 に協賛する際の取扱いについて、必要な事項を定める。

第2 協賛

1 協賛区分

この要項において協賛とは、企業等がアドベンチャートラベル・ワールドサミット北海道実行委員会（以下「実行委員会」という。）に対して行う次に掲げる協賛行為をいう。

（1） 金銭提供

ATWS2023 の準備及び運営等に要する金銭（以下「協賛金」という。）の提供

（2） 物品提供

ATWS2023 の準備及び運営等に要する物品（以下「協賛品」という。）の提供

（3） 広報協力

ATWS2023 の広報及びPR活動への協力

（4） 役務提供

ATWS2023 の準備及び運営等に要する役務の提供

2 協賛単位

協賛金の提供については、原則として、1万円を1口とする。

3 協賛内容

協賛金以外の協賛の内容については、協賛を申し込もうとする企業等（以下「申込者」という。）と実行委員会とが協議し決定するものとする。

第3 申込受付期間

協賛の申込みを受け付ける期間は、令和4年11月1日から令和5年8月31日までとする。

第4 協賛の申込等

1 協賛金

申込者は、あらかじめ「Adventure Travel World Summit (ATWS) 2023 協賛申込書」(別記様式第1-1号。以下「申込書」という。)を実行委員会会長に提出するものとする。ただし、専用の振込用紙を使用する場合及び実行委員会会長が提出の必要がないものと認めた場合、申込書の提出を省略することができるものとする。

2 物品提供、広報協力及び役務提供

申込者は、あらかじめ「Adventure Travel World Summit (ATWS) 2023 協賛申込書」(別記様式第1-2号。以下「申込書」という。)を実行委員会会長に提出するものとする。ただし、実行委員会会長が提出の必要がないものと認めた場合、申込書の提出を省略することができるものとする。

3 申込書の受理

実行委員会会長は、第4の1及び2の申込書の提出があった場合であって、第11の1のいずれにも該当しないと認められるときは、速やかに申込書を受理するとともに、申込者が受理通知書の発行を希望する場合は、実行委員会は、速やかに「Adventure Travel World Summit (ATWS) 2023 協賛申込受理通知書」(別記様式第2号)により受理した旨を通知するものとする。

第5 協賛金の納付等

1 納付方法

協賛金の申込者は、原則として、実行委員会が指定する金融機関の口座への振込の方法により、令和5年8月31日までに協賛金を納付するものとする。

2 領収書

協賛金の領収書は、原則として、金融機関が発行する郵便振替払金受領書等で代えるものとする。ただし、申込者が領収書の発行を希望する場合は、実行委員会は協賛金受領後、速やかに実行委員会会長名の領収書を発行するものとする。

第6 協賛品の納入等

1 協賛品の納入

協賛品の申込者は、実行委員会が指定する方法(期日を含む)により、協賛品を納入するものとする。

2 協賛品受理

複数の申込者から同一若しくは同類の協賛品の申込があり、かつ、必要数以上となった場合には、原則として、申込順に受理するものとする。

3 受納書

実行委員会は、協賛品の申込者が受納書の発行を希望する場合は、協賛品受納後、速やかに実行委員会会長名の受納書を発行するものとする。

第7 広報協力

広報協力の申込者は、原則として、協賛内容の詳細について、事前に実行委員会と協議の上、広報の協力を行うものとする。

第8 役務提供

役務提供の申込者は、原則として、協賛内容の詳細について、事前に実行委員会と協議の上、役務の提供を行うものとする。

第9 協賛の特典等

1 協賛の特典

協賛を行った者（以下「協賛者」という。）のうち、協賛金の提供を行った者への特典は、別表1「協賛者特典一覧表」（以下「特典一覧」という。）のとおりとする。

また、物品提供、広報協力及び役務提供を行った協賛者への特典は、実行委員会が、協賛の内容から換算した金額に応じ、協賛金に準じた特典とする。実行委員会は、必要に応じ協賛者から、金額換算のために必要な資料提出を求めることとする。

2 複数協賛

企業等が複数回協賛した場合は、その合計金額に応じた特典とする。

3 特典の追加

実行委員会は、特典一覧のほか、必要に応じ、協賛者の特典を追加することができるものとする。

4 特典譲渡の禁止

企業等は、提供された特典を第三者に移転又は譲渡してはならない。

ただし、あらかじめ書面により実行委員会の承諾を得た場合は、この限りでない。

第10 協賛金及び協賛物品の使途

協賛は、その全てを ATWS 北海道実行委員会及び ATTA が開催する「Adventure Travel World Summit (ATWS) 2023」の開催（会期前後に行われるツアー等を含む）に向けた準備・運営のために活用する。

第11 協賛の不受理等

1 協賛の不受理

実行委員会会長は、申込者が次のいずれかに該当すると認められる場合は、協賛を受理しないものとする。

- (1) 特定の政治、思想、宗教等の活動のために、協賛による特典若しくは協賛の事実を利用する場合、

又はそのおそれがあるとき。

- (2) 役員等（協賛を申し出た企業等が個人である場合にはその者を、協賛を申し出た者が法人である場合にはその役員又はその支店若しくはこの申込をする事務所の代表者をいう。）が暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号。以下「暴対法」という。）第2条第6号に規定する暴力団員（以下「暴力団員」という。）であると認められるとき。
- (3) 暴対法第2条第2号に規定する暴力団（以下「暴力団」という。）又は暴力団員が経営に実質的に関与していると認められるとき。
- (4) 役員等が自己、若しくは第三者の不正の利益を図る目的又は第三者に損害を加える目的をもって、暴力団又は暴力団員を利用するなどしたと認められるとき。
- (5) 役員等が、暴力団又は暴力団員に対して資金等を供給し、又は便宜を供与するなど直接的あるいは積極的に暴力団の維持、運営に協力し、若しくは関与していると認められるとき。
- (6) 役員等が暴力団又は暴力団員と社会的に非難されるべき関係を有していると認められるとき。
- (7) 法令等及び公序良俗に反するとき、又はそのおそれがあるとき。
- (8) ATWS2023 の開催理念等の趣旨に反し、又は ATWS2023 の品位を損ない、あるいは ATWS2023 の正しい理解を妨げるおそれがあるとき。
- (9) その他実行委員会が不適当と判断するとき。

2 協賛の取消

実行委員会会長は、協賛者が、その後、第11の1のいずれかに該当するに至った場合又は該当することが判明した場合は、協賛を取り消すものとし、協賛者に対し、その旨を通知するとともに、原則として、協賛金及び協賛物品を返戻する。

3 不受理または取り消しにおける取扱

協賛を申し出た企業等は、第1項の規定による協賛申込の不受理または前項の規定による取り消しを受けた場合であっても、その損害の賠償を実行委員会に請求することができない。

第12 その他

この要項に定めるもののほか、協賛の取扱いに必要な事項は、実行委員会事務局長が別に定める。

附則

この要項は、令和4年11月1日から施行する。

【別表１】

	カテゴリー呼称	トップパートナー	パートナー	サポーター
	協賛区分	100 万円以上	50 万円以上	10 万円以上
1	ATWS2023 イベント名称・ロゴの使用権	○	○	○
2	会場内案内板での社名 or ロゴの掲出	○ (サイズ大)	○ (サイズ中)	○ (サイズ小)
3	ATWS2023 実行委員会ウェブページへの社名 or ロゴの掲載	○ (サイズ大)	○ (サイズ中)	○ (サイズ小)
4	ATWS2023 実行委員会ウェブページで企業のサステナブルな取組を紹介	○	○	○
5	開催報告書の送付	○	○	○
6	オープニングセレモニー及び基調講演の聴講	○ (2 人)	○ (1 人)	—
7	ディナーパーティへの参加	○ (1 人)	—	—
8	会場内での P R 動画放映	○	○	
9	ID カードへのロゴの掲載 (掲載企業数上限：3 社程度)	○	—	—
10	提供物品またはパートナー企業取扱商品の会場 P R スペースの設置 (会期中のうち、ATWS 北海道実行委員会が指定する期間)	○ (1 日間)	—	—

※ 上記特典内容については、ATWS2023 開催に向けた準備状況により変更になる場合があります。変更を要する場合は、変更後の特典内容は協議のうえ決定いたします。

※ 協賛金額が 1 万円以上 10 万円未満の場合は、1、3 及び 5 を特典内容とします。

※ その他、協賛企業様との個別協議により、本表により定めたものの以外の特典を設けることがあります。

別記様式第 1-1 号

(金銭提供)

Adventure Travel World Summit(ATWS)2023 協賛申込書

令和 年 月 日

アドベンチャートラベル・
ワールドサミット北海道実行委員会
会長 鈴木直道様

住所又は所在地
企業・団体等の名称
代表者名（職・氏名）

Adventure Travel World Summit(ATWS)2023 パートナー企業（協賛）募集要項第4の1に
基づき、以下のとおり申し込みます。

記

1 協賛内容 金銭提供

2 協賛の内容

金額	金	円	入金予定	年	月	日
----	---	---	------	---	---	---

3 連絡先

所属		担当者 職氏名	
電話		F A X	
メール			

別記様式第 1-2 号

(物品・広報・役務)

Adventure Travel World Summit(ATWS)2023 協賛申込書

令和 年 月 日

アドベンチャートラベル・
ワールドサミット北海道実行委員会
会長 鈴木直道様

住所又は所在地
企業・団体等の名称
代表者名(職・氏名)

Adventure Travel World Summit(ATWS)2023 パートナー企業(協賛)募集要項第4の2に基づき、以下のとおり申し込みます。

記

1 協賛内容 (該当するものを○で囲んでください)

物品提供 ・ 広報協力 ・ 役務提供

2 協賛の内容

(1) 物品提供

品名		数 量	
規格等		提供方法	提 供 ・ 貸 与
金額	円	納入予定	年 月 日

(2) 広報協力

内容	
金額	円 実施予定 年 月 日

(3) 役務提供

内容	
金額	円 実施予定 年 月 日

注) 上記(1)～(3)における協賛では、カタログ・仕様書等を添付してください。

3 連絡先

所属		担当者 職氏名	
電話		F A X	
メール			

(4) ロゴ

北海道 AT ロゴマーク (カラー・ポジ)

A



B



C



D



E



F



北海道 AT ロゴマーク（カラー・ネガ）

A



B



C



D



E



F



北海道 AT ロゴマーク使用規約

アドベンチャートラベル・ワールドサミット北海道実行委員会事務局

アドベンチャートラベル・ワールドサミット北海道実行委員会（以下「実行委員会」という。）が作成した「北海道 AT ロゴマーク」（以下「ロゴマーク」という。）の使用及び管理に関し、次のとおり使用規約を定める。

（目的）

第1条 ロゴマークは、北海道のアドベンチャートラベル（以下「AT」という。）を象徴するシンボルとして、制作物、媒体等に広く使用し、北海道 AT の認知度を高めるほか、北海道 AT に資する取組を推進することを目的とする。

（デザインの基準）

第2条 ロゴマークのデザインは、別添「北海道 AT ロゴマークデザインマニュアル」（以下、「マニュアル」という）に基づくものとし、使用に当たっては実行委員会が提供する画像データを使用し、ロゴマークの一部使用や変形、色等のデザインの変更は認めない。

なお、使用する媒体、商品、商品パッケージの大きさ等態様に応じ、マニュアルに示す文章（ロゴタイプ及びキャッチコピー）との組み合わせができるものとする。

（申請の事務）

第3条 ロゴマークの使用に関する事務は、実行委員会事務局（以下「事務局」という。）が行う。

（使用の申請）

第4条 ロゴマークの使用を希望する者は、「北海道 AT ロゴマーク使用承認申請書（様式第1号）」を、事務局に提出し、承認を受けなければならない。ただし、次の各号のいずれかに該当する場合は、この限りでない。

- （1） 実行委員会、実行委員会の構成員又は実行委員会の顧問となっている組織が AT の普及啓発を図ることを目的に使用する場合
- （2） 新聞、テレビ等の報道機関が報道を目的に使用する場合
- （3） その他事務局が申請を要しないと認めた場合

（使用基準）

第5条 事務局は、次の各号のいずれかに該当すると認められる場合は、使用を承認しない。

- （1） 北海道 AT のイメージを損ない、又は正しい理解の妨げとなるおそれがある場合
- （2） 使用者固有の商標であると誤解を与えると認められるおそれがある場合
- （3） 特定の政治、思想、宗教等の活動の目的に利用されるおそれがある場合
- （4） 特定の個人、団体等の売名、利益等のために利用されるおそれがある場合

- (5) 不当な利益を得るために利用されるおそれがある場合
- (6) 第2条に規定する、「北海道 AT ロゴマークデザインマニュアル」に反する使用のおそれがある場合
- (7) 法令や公序良俗に反するおそれがある場合
- (8) 実行委員会が実施する事業の妨げになるおそれがある場合
- (9) 前各号に掲げる事項のほか、第1条に規定する目的に反するおそれがある場合

(使用の範囲)

第6条 ロゴマークの使用は、次の範囲とし、北海道 AT の普及啓発に寄与するものとする。

- (1) 標識、看板、横断幕、のぼり旗、パネル、ポスター、パンフレット、チラシ、ホームページ、ポストカード、カレンダー、ステッカー、ピンバッジ、広報誌、封筒、名刺等の媒体及び制服、ユニフォーム等の服飾や用具等の物品等。
- (2) 北海道 AT の取組に賛同・応援する企業の商品または商品パッケージ。
- (3) その他、普及啓発が期待できる媒体等。

(使用承認)

第7条 事務局は、第4条の申請書を受理した場合、その内容を審査し、その使用が適当と認められる場合は、「北海道 AT ロゴマーク使用承認書（様式第2号）」により通知するものとする。

2 事務局は、審査の結果、不適当と認められる場合は、「北海道 AT ロゴマーク使用不承認通知書（様式第3号）」により通知するものとする。

(使用承認の期間)

第8条 使用承認の期間は、承認日から令和6年3月31日までとし、期間満了後に引き続き使用する場合は、再度申請しなければならない。また、使用を中止する場合は、使用者は速やかにその旨を届け出るものとする。

(遵守事項)

第9条 使用者は、使用承認された使用内容で使用するものとし、その使用内容に変更がある場合は、第4条の規定により使用承認の申請を行うものとする。

2 ロゴマークを商品または商品パッケージ等に使用する場合は、ロゴマークが商品名として消費者に誤認されないようなデザインとすること。

(使用料及び手数料)

第10条 ロゴマークの使用料及び手数料は、無償とする。

(商標登録等)

第11条 何人も、ロゴマーク並びにロゴマークを含む商標及び模様について、商標登録及び意匠登録をしてはならない。

（改善の指示）

第12条 事務局は、使用者が承認された使用内容を逸脱して使用していると認めた場合は、使用者に改善を指示することができる。

（承認の取り消し等）

第13条 事務局は、使用者が速やかに前条の改善に係る措置を講じない場合、使用承認を取り消し、使用を差し止めることができる。

（使用者の責務）

第14条 使用者は、信義に従い、誠実にこの使用規約を履行しなければならない。

2 実行委員会がロゴマーク使用者の事業の推奨や商品等の品質保証を示すものではなく、商品の表示・安全性に関する事項については、各種法律に基づき、使用者が全て責任を負うものとし、誤解を与えるような形態、方法にて使用してはならない。

3 ロゴマークの使用に起因する問題が生じた場合は、事務局は一切の責任を負わない。また、問題が発生した際は、使用者は速やかに事務局に報告するとともに、使用者の責任において対策を講じなければならない。

（経費等の負担）

第15条 実行委員会は、ロゴマークを使用した者に対し、その使用に係る製造等の経費または役務を負担しない。

（疑義等）

第16条 この使用規約に定めのない事項及びこの使用規約に関して生じた疑義については、事務局と使用者が協議して定めるものとする。

附則

第1条 本規約は令和5年（2023年）3月31日から施行する。

第2条 第4条に規定する使用申請は、令和5年（2023年）9月15日以降に受け付ける。

(5) 主要委託契約

令和4年度

委託名	受託者	契約日	内容
「令和4年度 ATWS2023 北海道 実施準備・運営支援事業」委託業務	さっぽろ MICE 戦略推進有限責任事業組合	R4. 8. 19	ATWS2023 北海道の実施計画書の作成、ATTA 幹部視察対応等
「令和4年度 ATWS2023 北海道 ポストサミットアドベンチャー運営計画等策定事業」委託業務	令和4年度 ATWS2023 北海道 ポストサミットアドベンチャー運営計画等策定事業受託コンソーシアム(代表社：株式会社 JTB 総合研究所)	R4. 8. 19	ポストサミットアドベンチャー(上川・北宗谷地域)に関わる運営計画策定、AT 商品造成、販売計画策定業務等
「令和4年度 ATWS 北海道 A T ロゴマーク制作事業」委託業務	株式会社 J R 北海道ソリューションズ	R5. 2. 20	北海道のアドベンチャートラベルを象徴するロゴマークの制作

令和5年度

委託名	受託者	契約日	内容
令和5年度 ATWS2023 北海道・日本ポストサミットアドベンチャー運営事業(上川地域)	株式会社北海道宝島旅行社	R5. 4. 3	上川地域の Post-SA 事業実施に向けた事前準備・Post-SA の運営等
令和5年度 ATWS2023 北海道・日本ポストサミットアドベンチャー運営事業(北宗谷地域)	株式会社北海道宝島旅行社	R5. 4. 3	北宗谷地域の Post-SA 事業実施に向けた事前準備・Post-SA の運営等
令和5年度 ATWS2023 北海道・日本ポストサミットアドベンチャー運営事業(十勝地域)	株式会社日本旅行北海道	R5. 4. 3	十勝地域の Post-SA 事業実施に向けた事前準備・Post-SA の運営等
令和5年度 ATWS2023 北海道・日本ポストサミットアドベンチャー運営事業(釧路地域)	株式会社 J T B	R5. 4. 26	釧路地域の Post-SA 事業実施に向けた事前準備・Post-SA の運営等
令和5年度 ATWS2023 参加者交通・宿泊等手配管理業務	ATWS2023 参加者交通・宿泊等手配管理事業受託コンソーシアム(代表社：株式会社 JTB)	R5. 5. 18	完全招待者の交通手段・宿泊の手配・旅程管理、シャトルバスの手配、DOA 発着場所運営管理、新千歳空港の参加者対応等
令和5年度 ATWS2023 大会等運営業務	JCS&MESH・令和5年度 ATWS2023 大会運営事業受託コンソーシアム(代表社：日本コンベンションサービス株式会社)	R5. 6. 15	大会運営準備・総合調整、会場運営、ウェルカムレセプション企画・運営等
令和5年度 ATWS2023 食事イベント企画運営業務	コングレ&MESH 令和5年度 ATWS2023 食事イベント受託コンソーシアム(代表社：株式会社コングレ)	R5. 6. 29	本会議中のランチ・コーヒーブレイクイベントの企画・運営等
令和5年度 ATWS2023 オープニングレセプション運営業務	ATWS2023 オープニングレセプション運営業務事業受託コンソーシアム(代表社：有限会社ズノーネットワークス)	R5. 6. 29	大倉山ジャンプ競技場で開催されるオープニングセレモニーの企画・運営・食事提供

(6) 関係ウェブサイト

■ アドベンチャートラベル・ワールドサミット北海道実行委員会

https://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kkd/ATWS_Executive_Committee.html



■ (公社) 北海道観光振興機構 AT サイト

<https://visit-hokkaido.jp/adventure-travel/>



■ アドベンチャートラベル・トレード・アソシエーション ATWS2023 ページ

<https://events.adventuretravel.biz/summit/hokkaido-2023>



■ ATWS2023 ダイジェスト動画再生リスト ((公社) 北海道観光振興機構)

https://youtube.com/playlist?list=PLakCwS7e5hdkUv9mweNiAfNrXLKGom29E&si=RwBexy4Ny_AQaZPR



ATWS 北海道実行委員会ウェブサイト



北海道観光振興機構 AT サイト

アドベンチャートラベル・ワールドサミット北海道・日本 開催の記録

令和6年(2024年)3月

発 行 アドベンチャートラベル・ワールドサミット北海道実行委員会
(北海道 経済部 観光局 観光振興課内)

連絡先 住所:〒060-8588 札幌市中央区北3条西6丁目
電話:011-206-6944



ADVENTURE TRAVEL
HOKKAIDO